

こども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童用） 結果（速報値）と平成30年調査結果の比較について

◆調査の目的

大阪市では、平成24年8月に制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、「大阪市こども・子育て支援計画（令和2年度～令和6年度）」を策定し、次代の大阪を担うすべてのこどもたちが、人権を尊重され、安全で安心な環境の中で、生きる力をはぐくみながらともに育ち合い、個性や創造性を発揮し、いきいきと自立して生きる社会、また、こどもを生み、育てることに安心と喜びを感じることをできる社会を実現することをめざし、総合的なこども・子育て支援施策を推進している。

令和7年度を始期とする、次期「（仮称）市町村こども計画」の策定に向け、その基礎資料とするため、子育て世帯等のニーズや意識を把握するための調査を実施するものである。

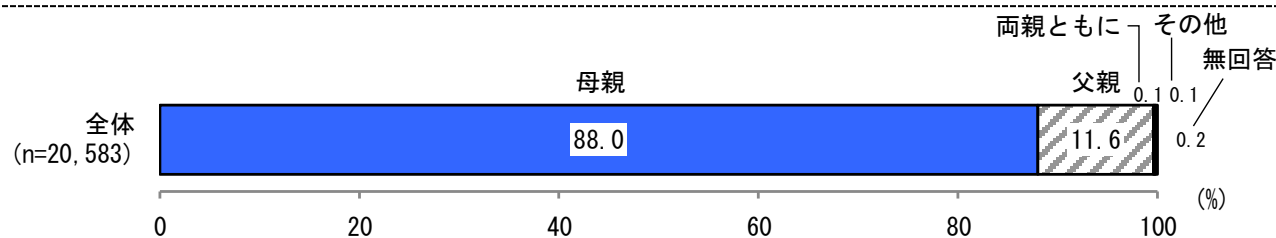
◆調査方法と回収状況

実施調査	大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査	前回（H30）
	就学前児童用	
対象者	市内に在住する就学前児童（0～5歳児）の保護者	左記と同じ
	住民基本台帳等から無作為抽出した48,000人 （ただし、きょうだいで抽出された家庭については、複数の調査票が届かないよう調整したため、調査票送付数については、 <u>46,693通</u> ）	左記と同じ （調査票送付数は <u>44,116通</u> ）
調査方法	調査対象者に調査票を郵送により配布し、 <u>郵送及びWEB併用</u> で回収	調査対象者に調査票を郵送により配布し、 <u>郵送により回収</u>
調査期間	令和5年11月30日～12月27日	平成30年11月30日～12月21日
回収状況	有効回答数 20,583人（有効回答率44.1%） ≪内訳≫ 郵送 9,893人（21.2%）WEB10,690人（22.9%）	有効回答数19,739人（有効回答率 44.7%）

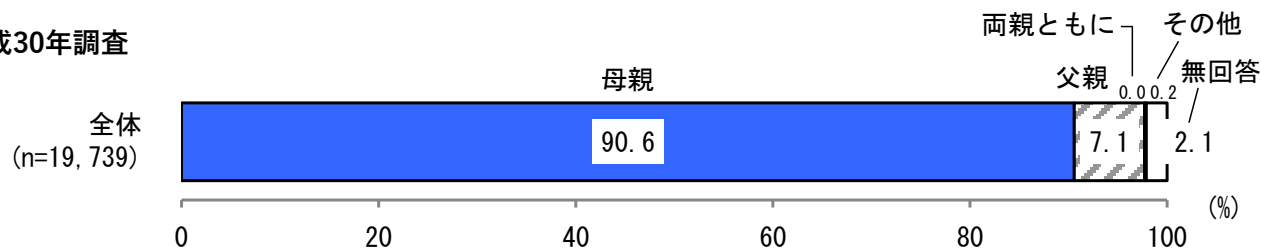
回答家庭のプロフィール

回答者【問2】

▶ 回答者のあて名のこどもからみた関係は、母親が88.0%、父親が11.6%となっている。
前回と比べ、父親の回答が4.5%増えている。

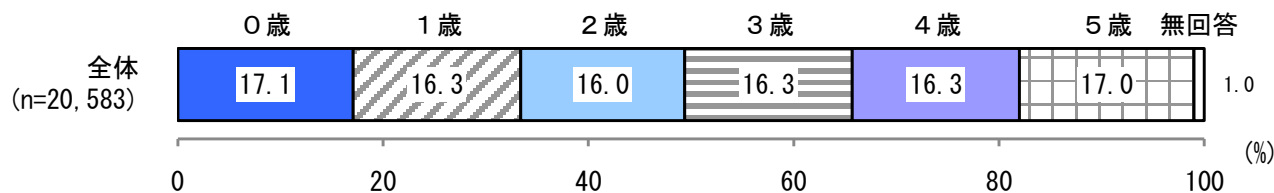


《参考》平成30年調査

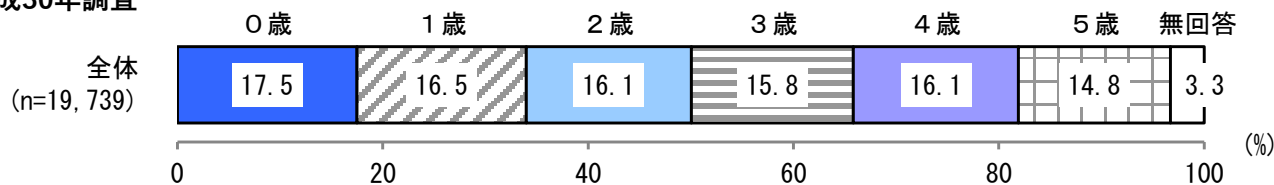


こどもの年齢【問3】

▶ あて名のこどもの年齢（令和5年4月1日時点）は、全体の回答数20,583件のうち、「0歳」が17.1%で前回と同様最も多いが、「0～2歳」では49.4%と前回より0.7%減っている。「3歳以上」は49.6%となっている。



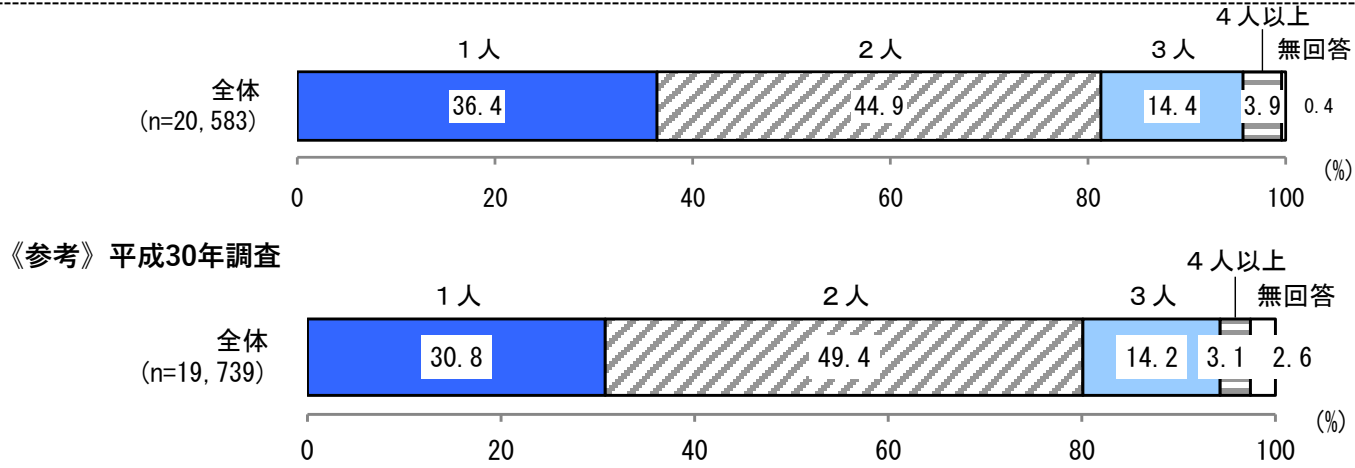
《参考》平成30年調査



回答家庭のプロフィール

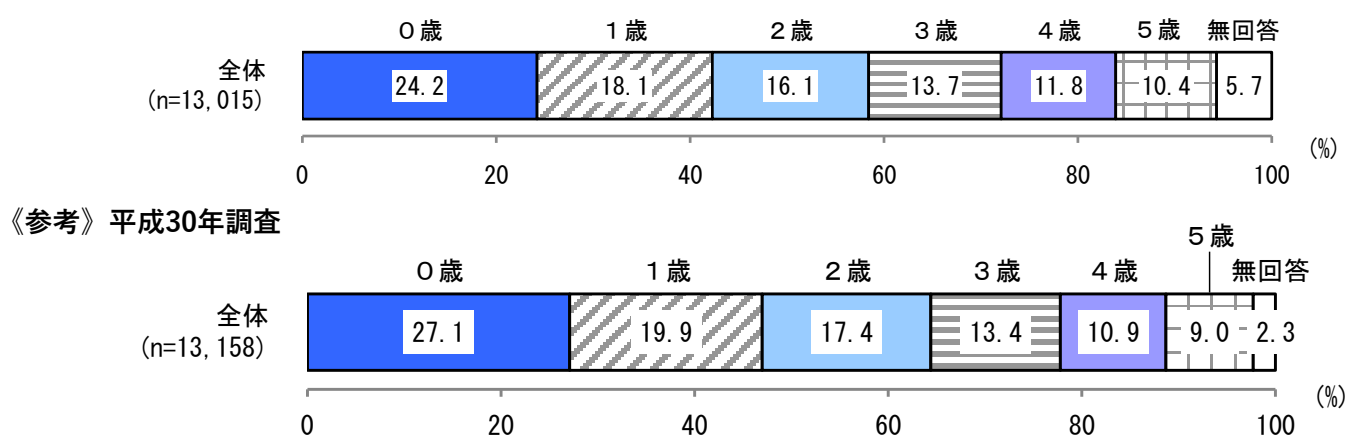
こどもの人数【問4】

▶ こどもの人数は、「2人」が44.9%で最も多く、次いで「1人」が36.4%となっている。
 前回と比べ、「1人」が5.6% 増え、「2人」が4.5%減っている。



末子の年齢【問4】

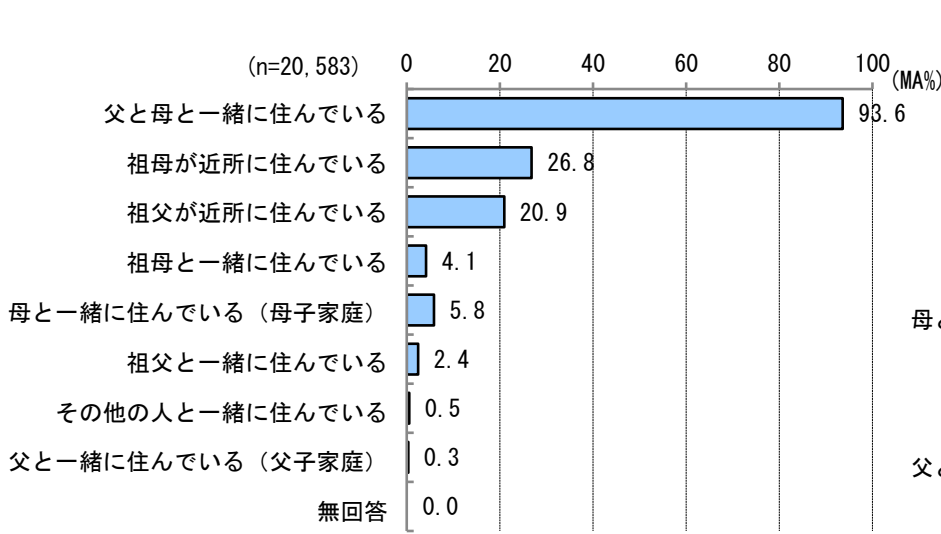
▶ 末子の年齢は、「0歳」が24.2%で最も多く、次いで「1歳」が18.1%となっている。
 前回と比べ、「0～2歳」で58.4%と前回より6.0%減っている。



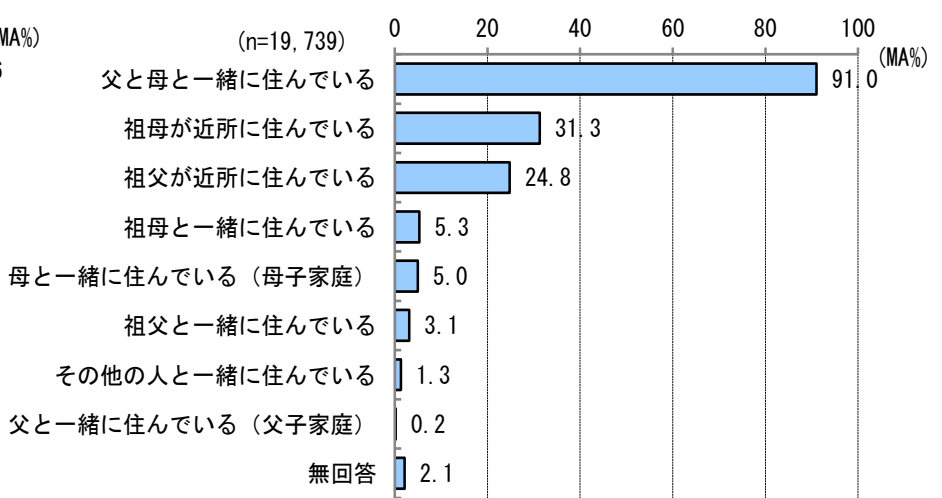
回答家庭のプロフィール

同居している人【問5】

▶ 家族との同居・近居の状況は、93.6%が父母と一緒に住んでおり、「祖母が近所に住んでいる」が26.8%、「祖父が近所に住んでいる」が20.9%となっている。前回と比べ、祖父母が近所に住んでいる割合が8.4%減っている。

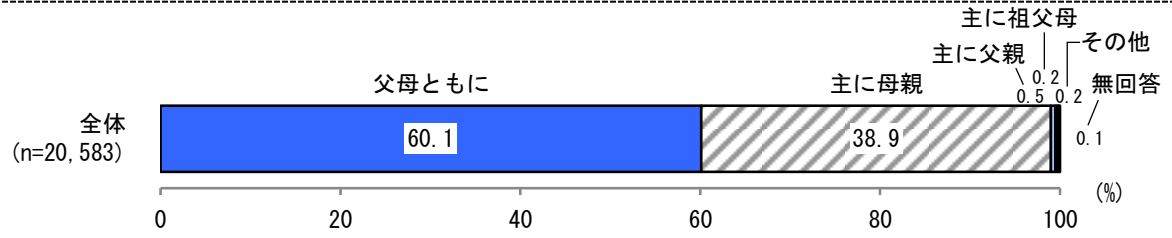


《参考》平成30年調査

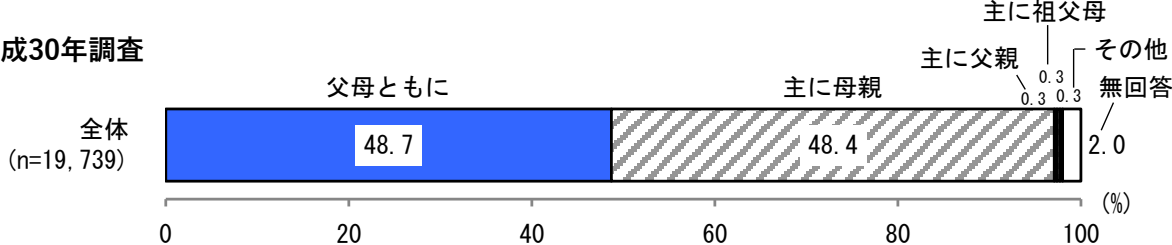


こどもの子育てや教育を主にしている人【問6】

▶ あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人は、「父母ともに」が60.1%で、前回より11.4%と大きく増えている。「主に母親」は38.9%と9.5%減っている。



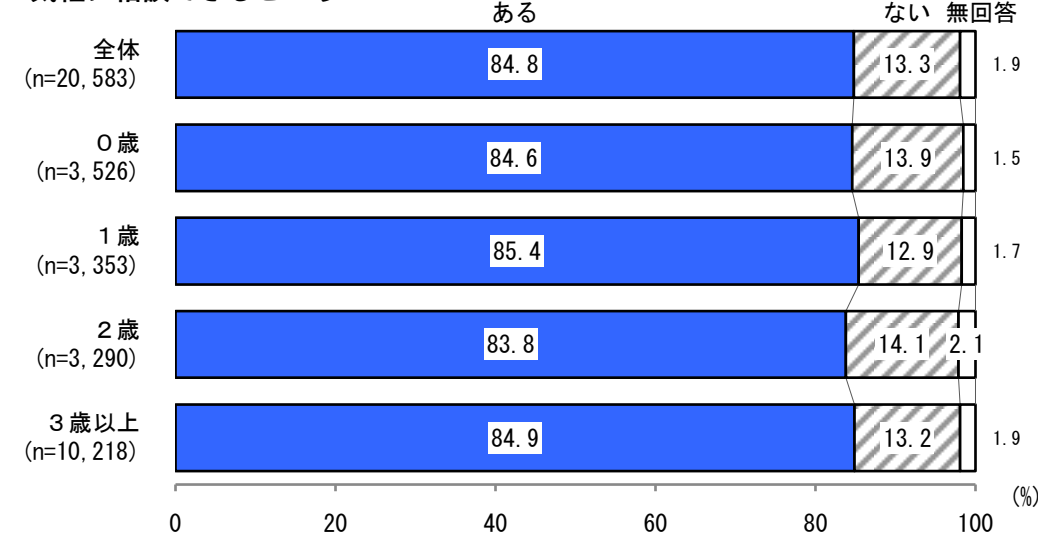
《参考》平成30年調査



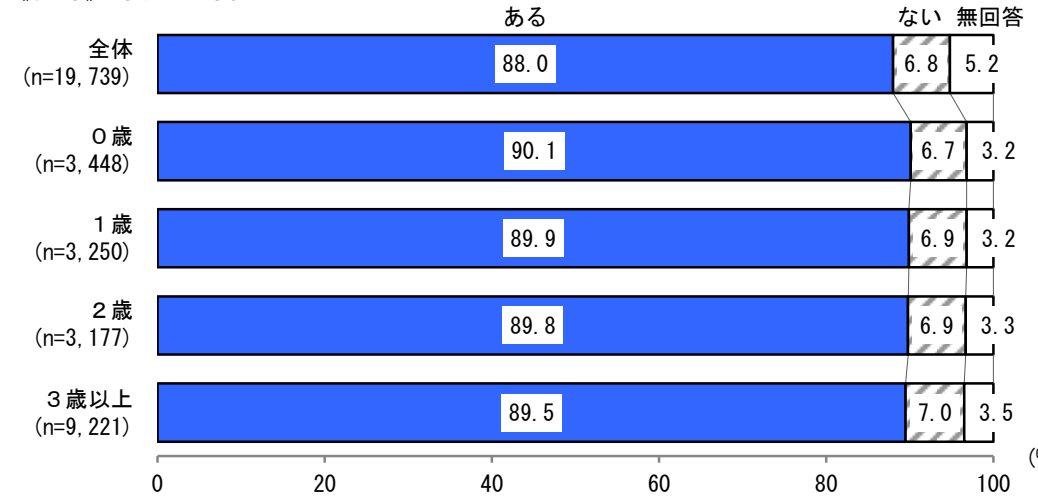
子育てや教育について気軽に相談できるところの有無【問8】 / 相談先【問8-1】

- ▶ 子育てや教育について気軽に相談できるところの有無については、全体で「ない」が13.3%と前回より6.5%増えている。
- ▶ 前回と比べ、全ての年齢で「ある」と回答した割合が減っており、全体では3.2%減っている。
- ▶ 相談先は「配偶者」が最も多く、次いで「親、親せき（同居している家族）」「友人や知人」の順に多い。

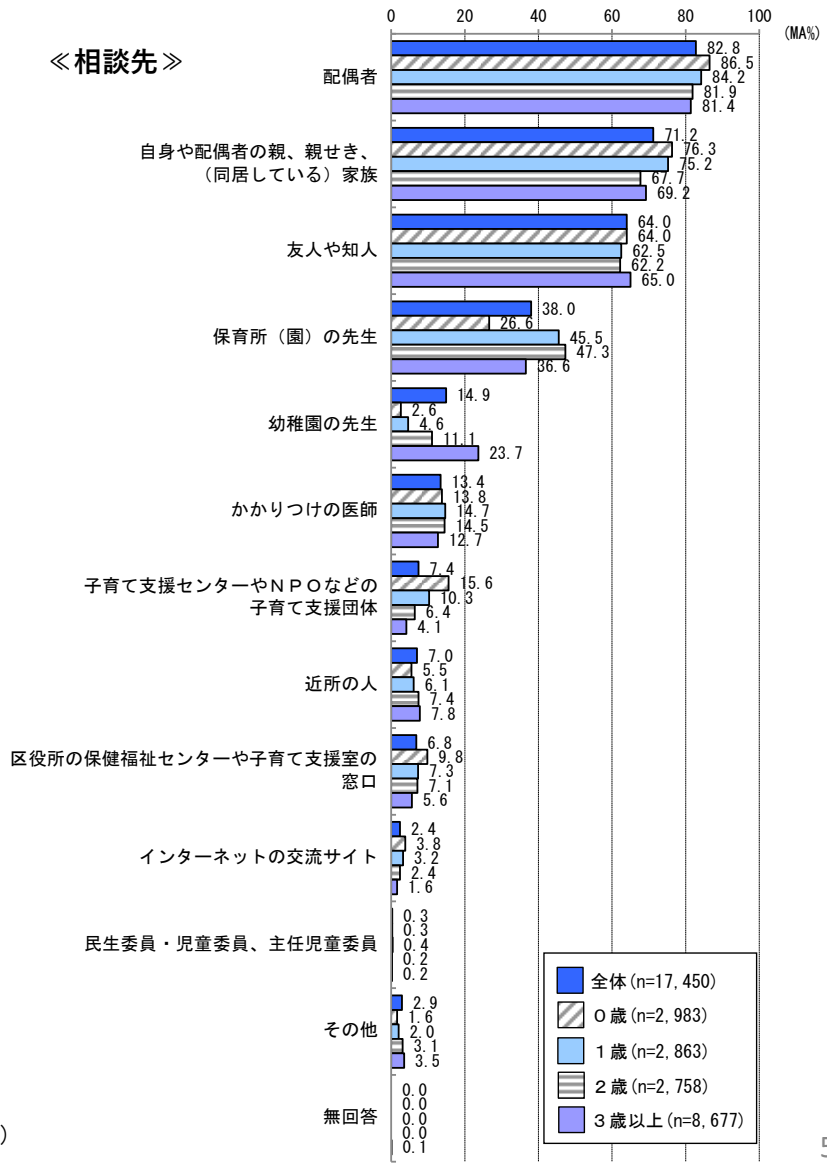
《気軽に相談できるところ》



《参考》平成30年調査

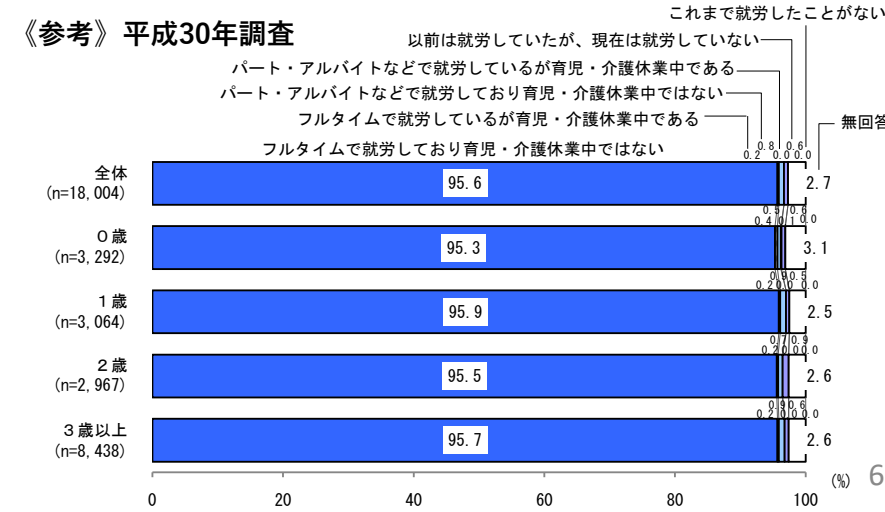
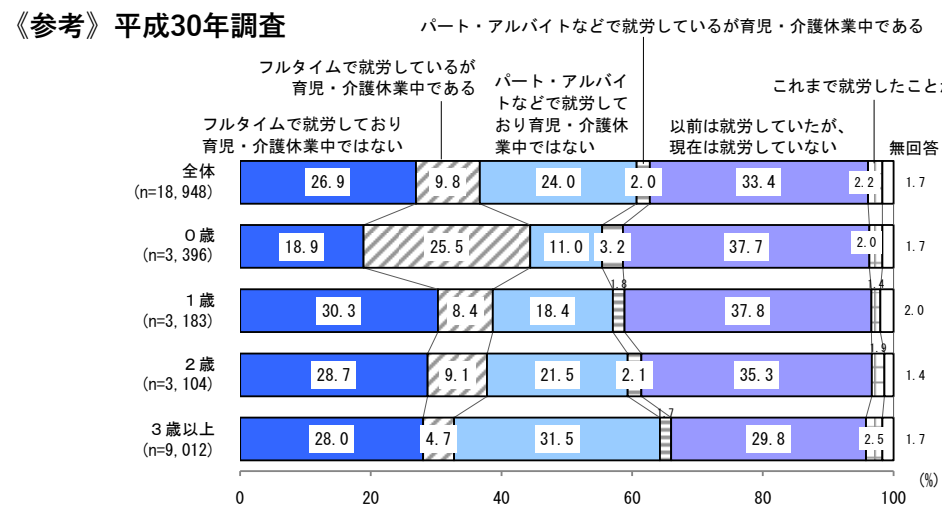
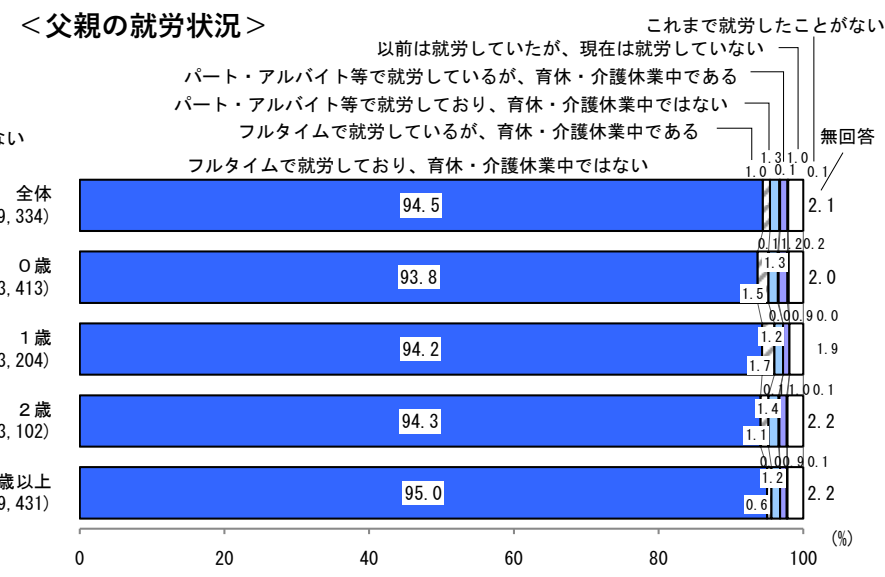
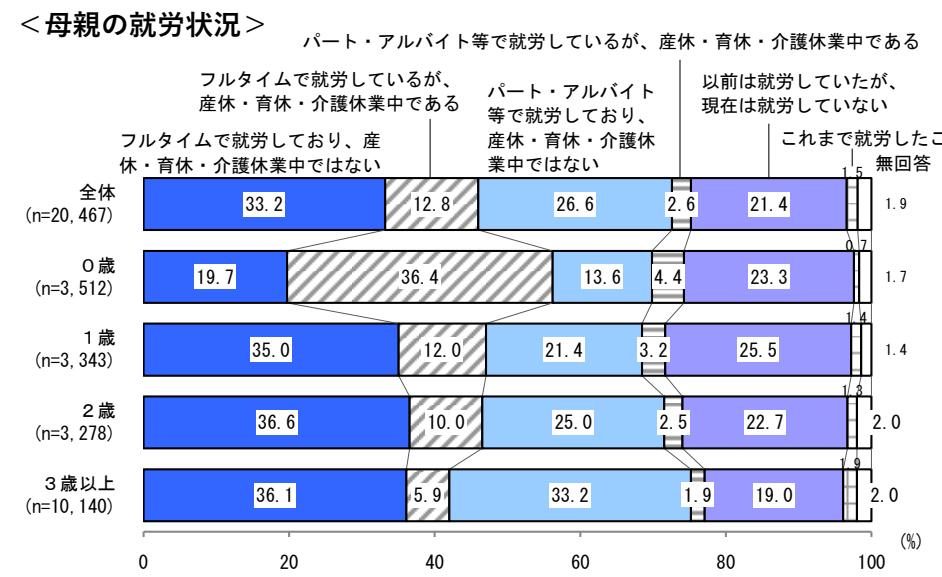


《相談先》



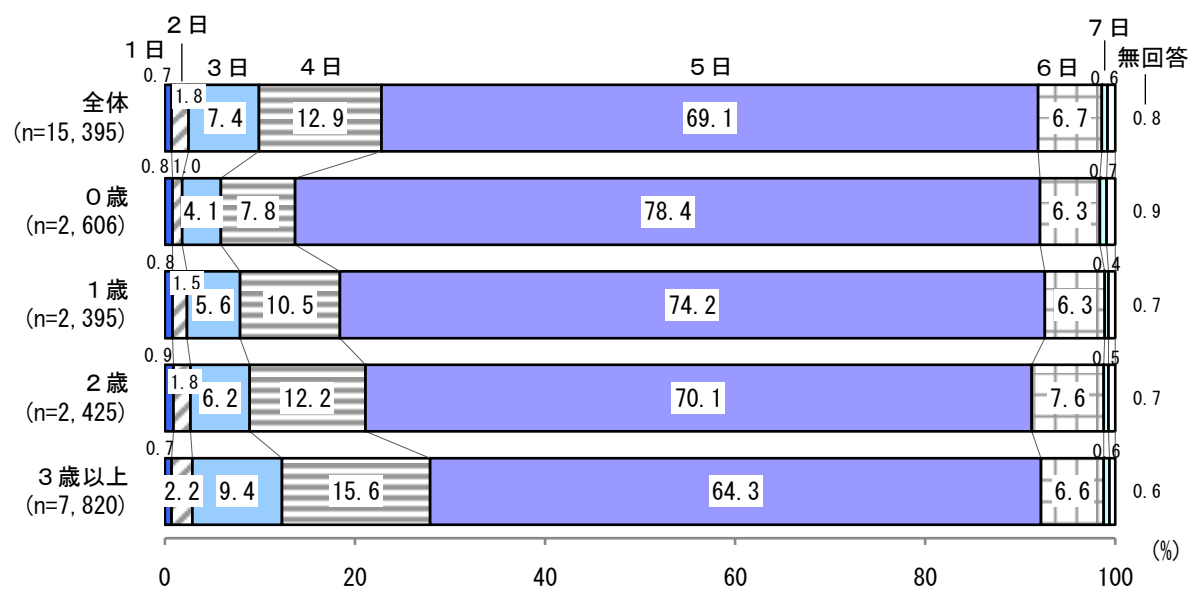
母親の就労状況【問9】

- 母親の現在の就労状況については、全体で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.6%となっている。
- 前回と比べ、フルタイム、パート・アルバイトなど就労（育児・介護休業中含む）している割合が増えている。（R5：75.2%、H30：62.7%）
- こどもの年齢別でみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」は0歳（36.4%）で最も多く、前回より10.9%増えている。

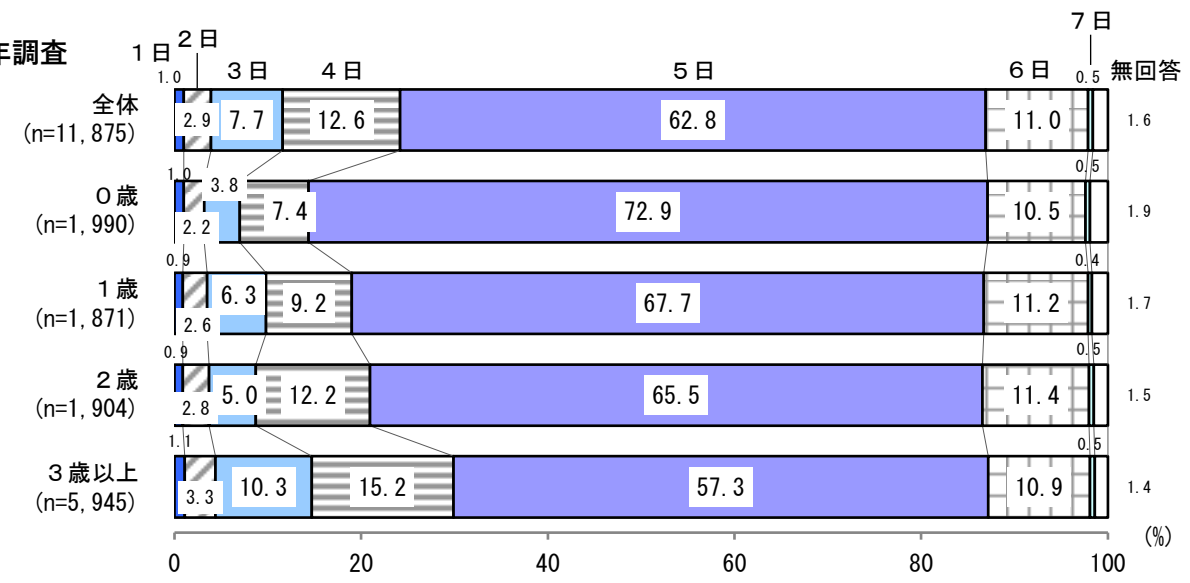


母親の週当たりの就労日数【問9 - 1 ①】

- ▶ 母親がフルタイムまたはパート・アルバイトなどで就労していると回答した人に、1週間あたりの就労日数についてたずねると、全体で「5日」が69.1%で最も多く、次いで「4日」が12.9%、「3日」が7.4%となっている。
- ▶ 前回と比べ、「6日」が4.3%減り、「5日」が6.3%増えている。

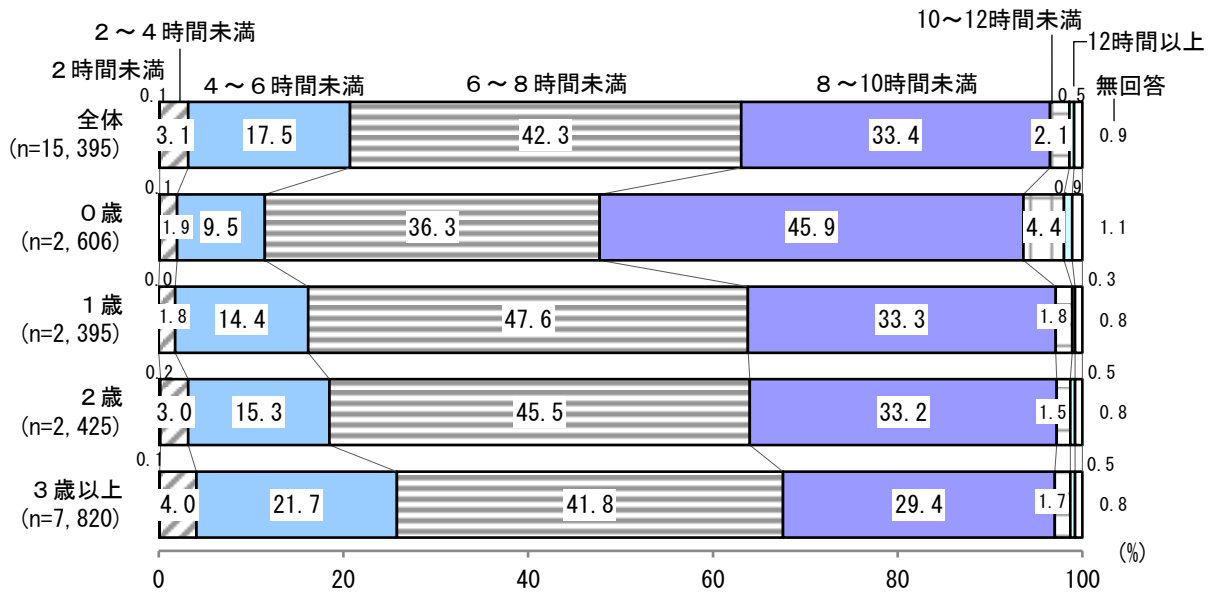


《参考》平成30年調査

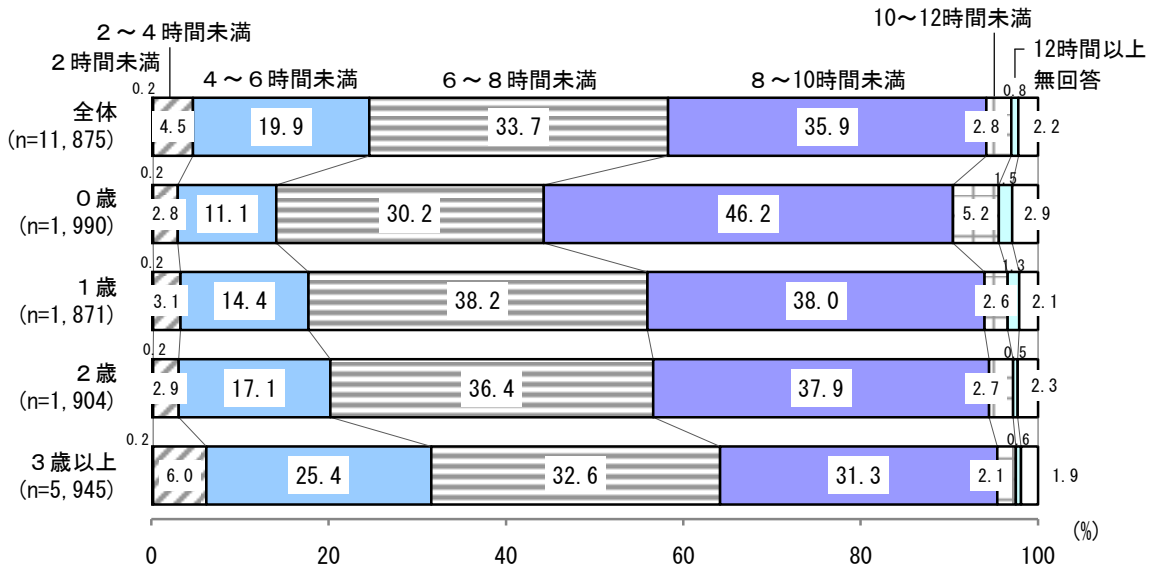


母親の1日あたりの就労時間【問9 - 1②】

- 母親の1日あたりの就労時間は、全体で「6～8時間未満」が42.3%で最も多く、次いで「8～10時間未満」が33.4%、「4～6時間未満」が17.5%となっている。
- 前回と比べ、「6時間～8時間未満」が8.6%増えている。
- こどもの年齢別で見ると、「8～10時間未満」は「0歳」で45.9%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。

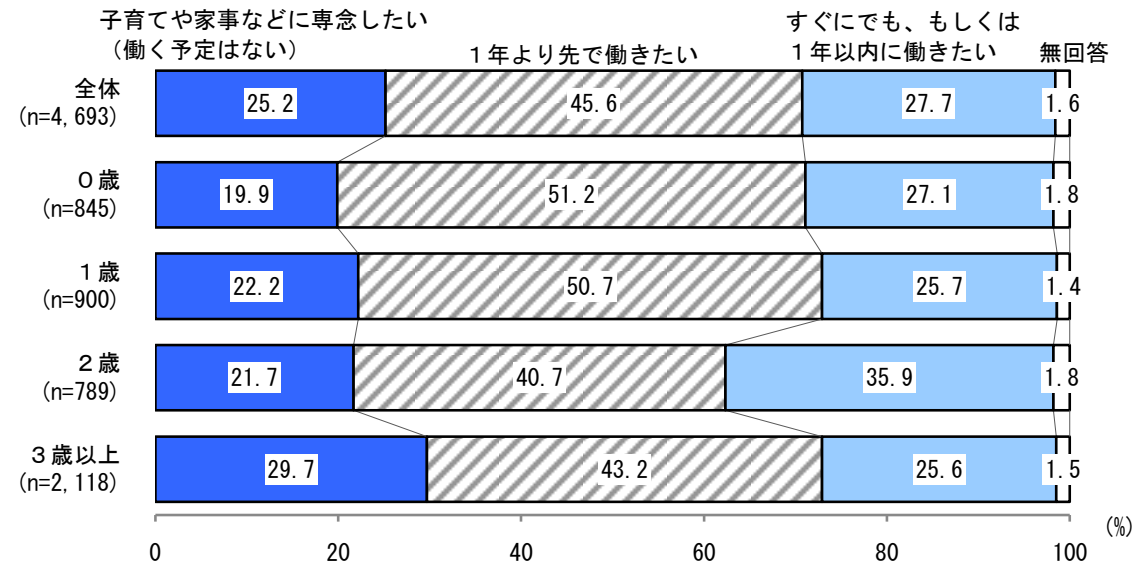


《参考》平成30年調査

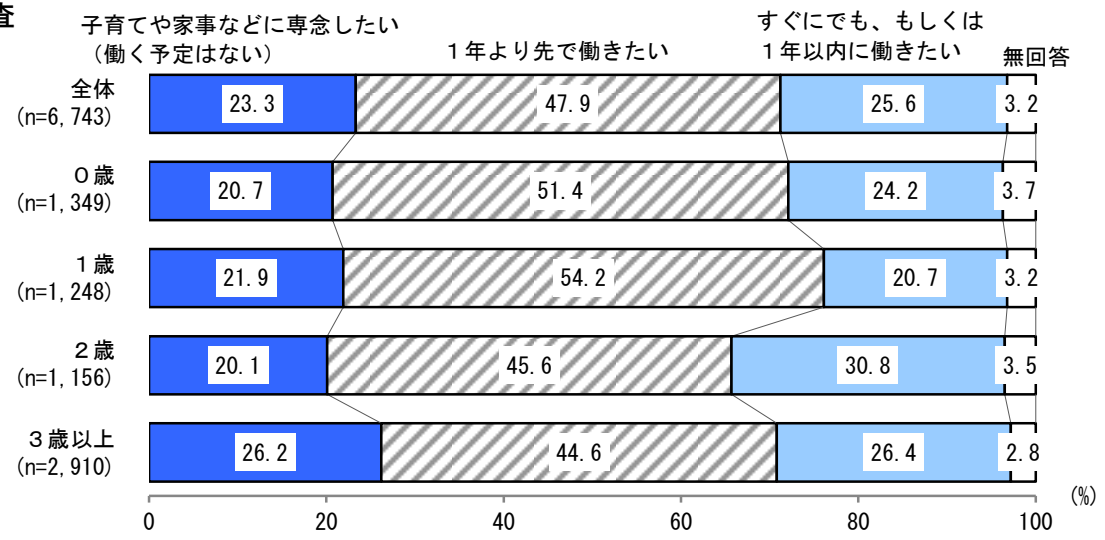


就労していない母親の就労希望【問11】

- 就労していない母親の就労希望は、全体で「1年より先で働きたい」が45.6%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が27.7%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が25.2%となっている
- 前回と比べ、全体で「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が2.1%増えており、特に「1歳」で5.0%、「2歳」では5.1%増えている。全体で「1年より先で働きたい」は2.3%減っている。

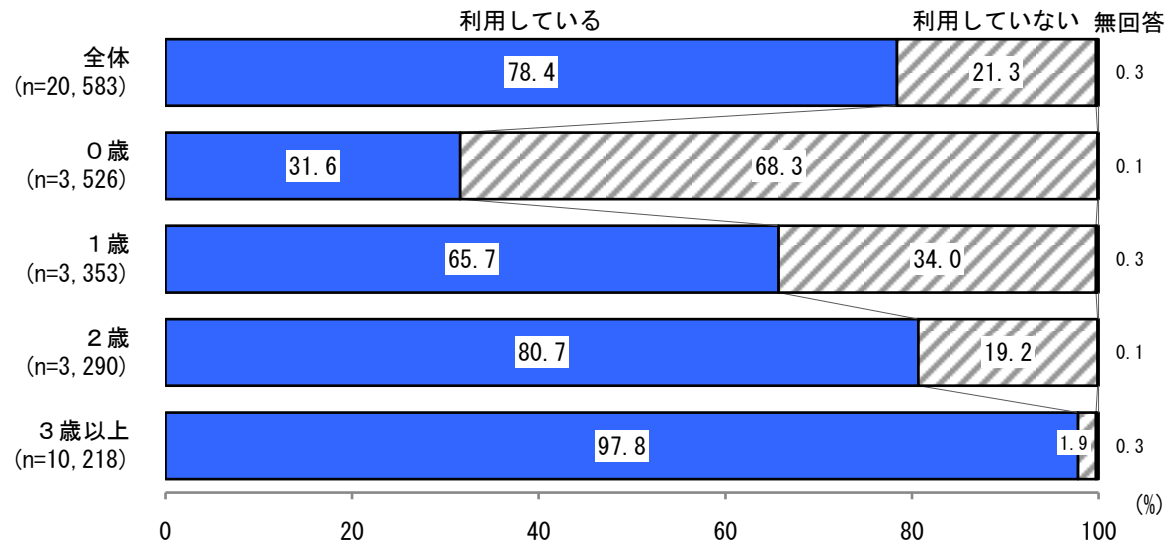


《参考》平成30年調査

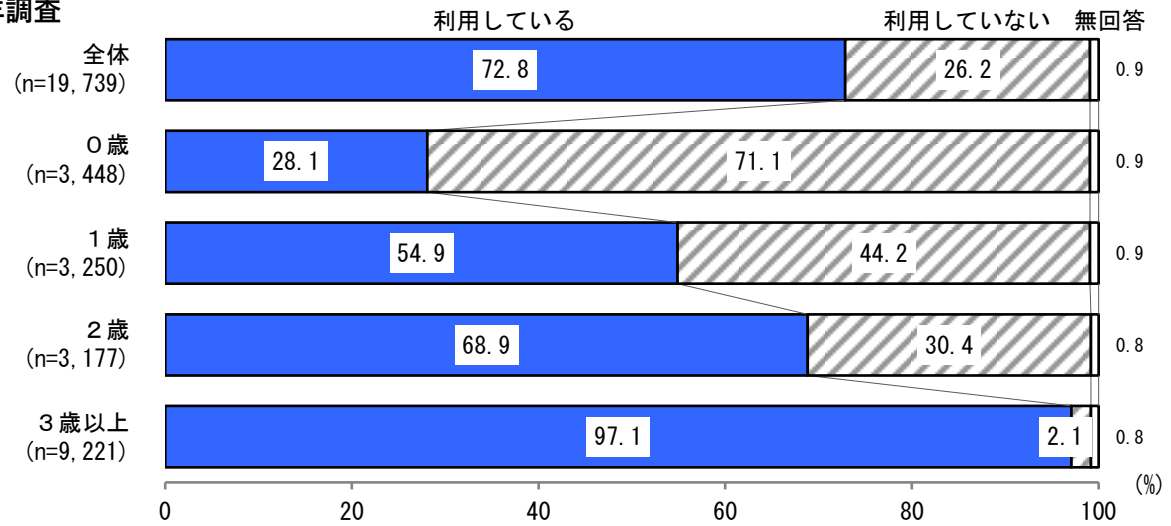


こどもを預かる施設やサービスの平日での定期的な利用状況【問12】

- 幼稚園や保育所、認定こども園などのこどもを預かる施設やサービスの平日での定期的な利用状況については、全体で「利用している」が78.4%となっている。
- 前回と比べ、「利用している」割合は、全体で5.6%増えており、0歳で3.5%、1歳で10.8%、2歳で11.8%増えている。
- こどもの年齢別で見ると、「利用している」は年齢が上がるほど高くなり、3歳以上で97.8%と高くなっている。

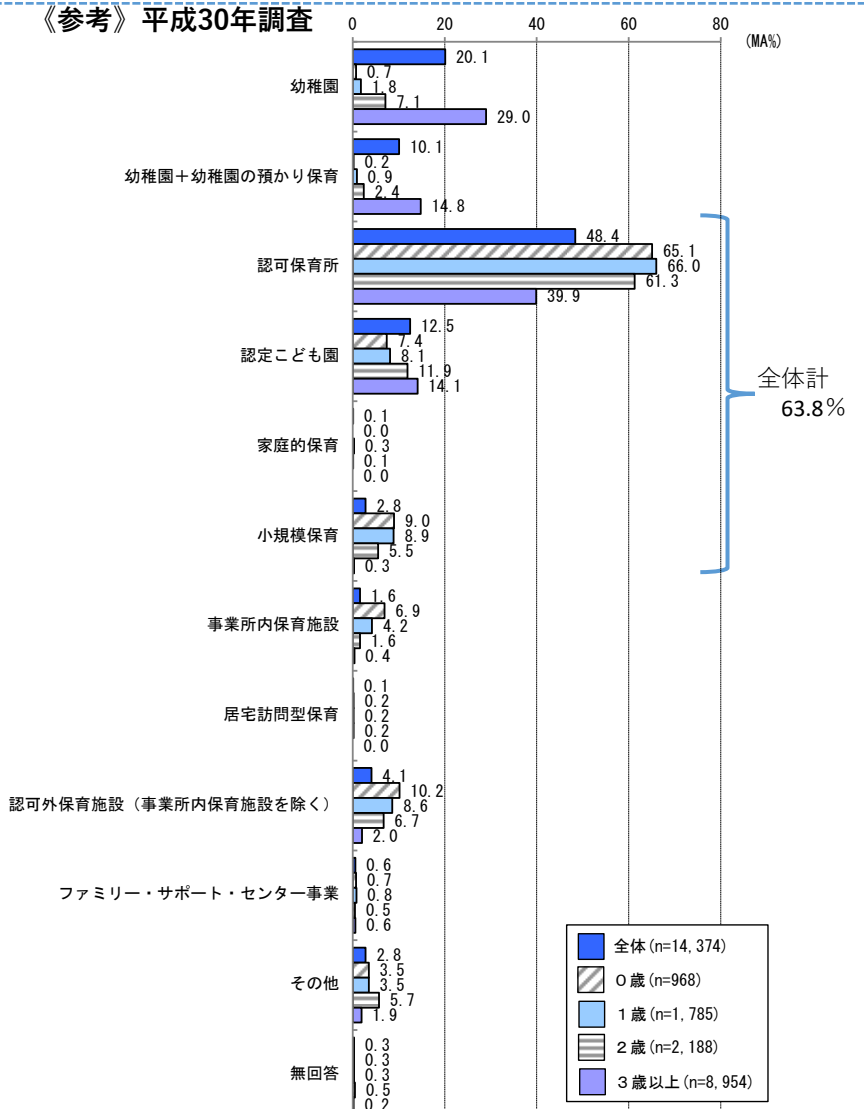
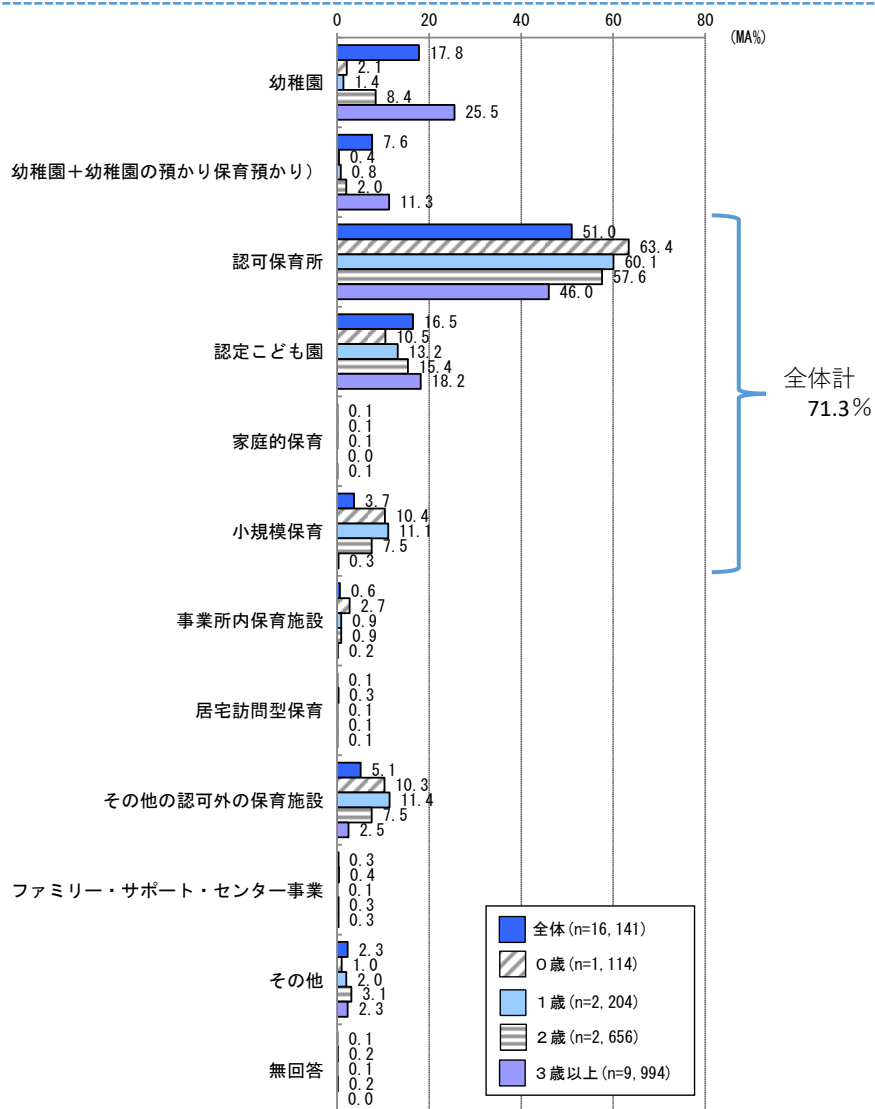


《参考》平成30年調査



平日に定期的にご利用しているこどもを預かる施設やサービス【問12-1①】 ※複数回答あり

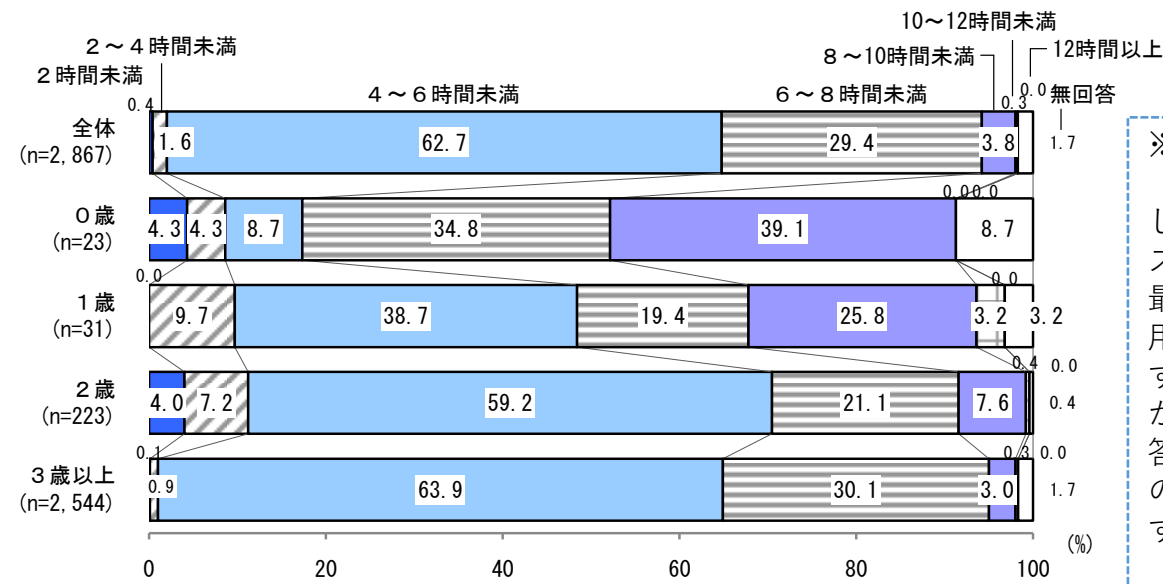
- ▶ 平日に定期的にご利用しているサービスは、全体で「認可保育所」が51.0%で最も多く、次いで「幼稚園」が17.8%、「認定こども園」が16.5%となっている。
- ▶ 前回の結果では、認可保育所、認定こども園、家庭的保育、小規模保育の合計が63.8%であるのに対し、今回は71.3%であり、前回と比べ、7.5%増えている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、いずれも「認可保育所」が最も多く、「0~2歳」50%を超えており、「幼稚園」では「3歳以上」で25%を超えているが、前回より3.5%減っている。



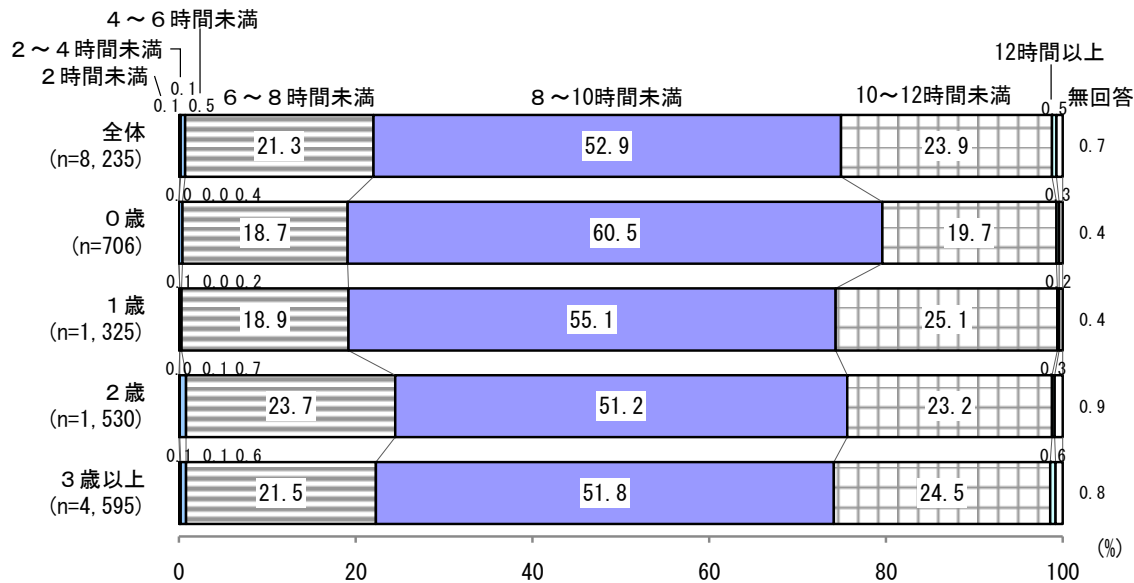
1日あたりの施設やサービス利用時間【問12-1②】 ※複数回答あり

- 1日あたりの施設やサービスの利用時間は、「幼稚園」では「4～6時間未満」で62.7%と最も多く、「認可保育所」では「8～10時間未満」で52.9%、42.9%と最も多くなっている。
- こどもの年齢別でみると、「認可保育所」の「0歳」の「8～10時間未満」で60.5%で最も高く、「認定子ども園」では年齢が上がるほど「8～10時間未満」の割合が低くなっている。

幼稚園



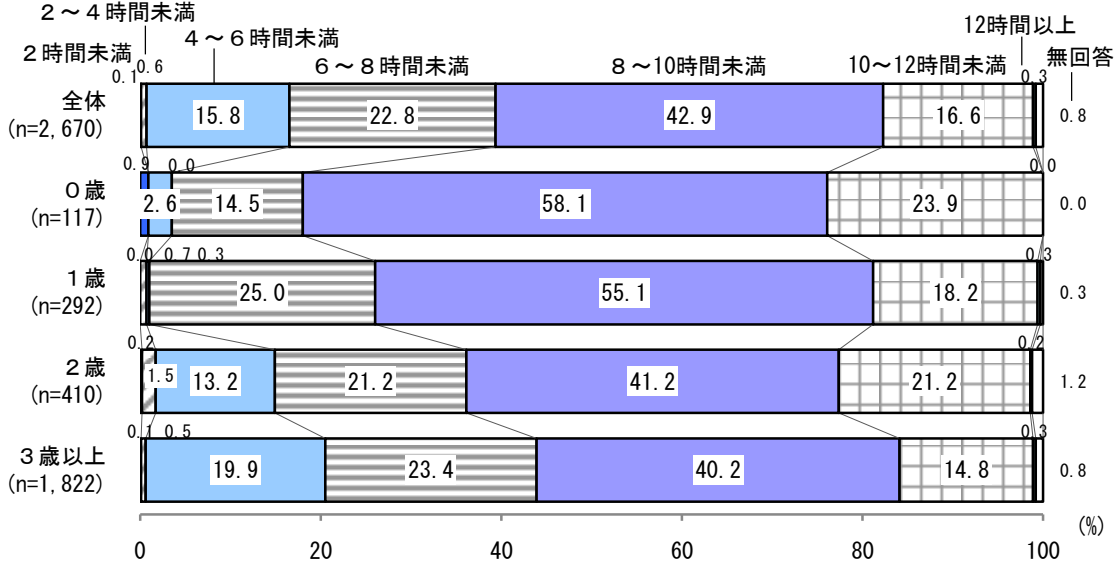
認可保育所



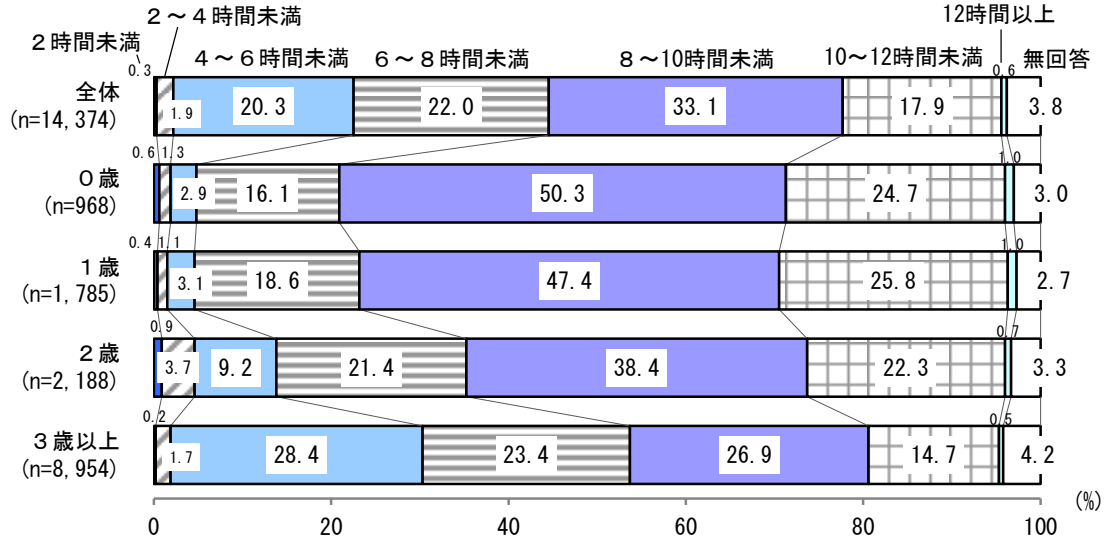
※注釈
 前回調査では、利用している施設やサービスを複数回答いただき、最も多いパターンの利用時間について、回答する方式になっていたが、今回調査は複数回答した施設やサービスの利用時間も全て回答する方式に変更した。そのため、前は全サービスの平均のみ集計できていたが、今回から各サービスの利用時間を集計することが可能となった。

1日あたりの施設やサービス利用時間【問12-1②】

認定こども園



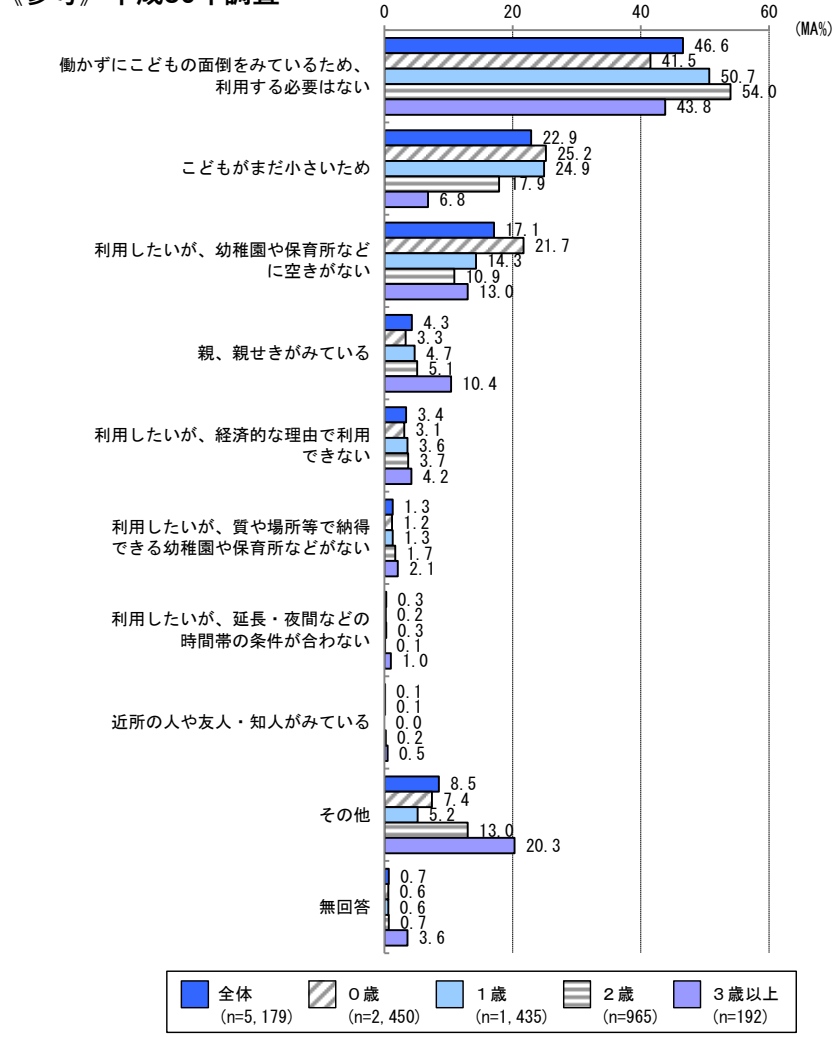
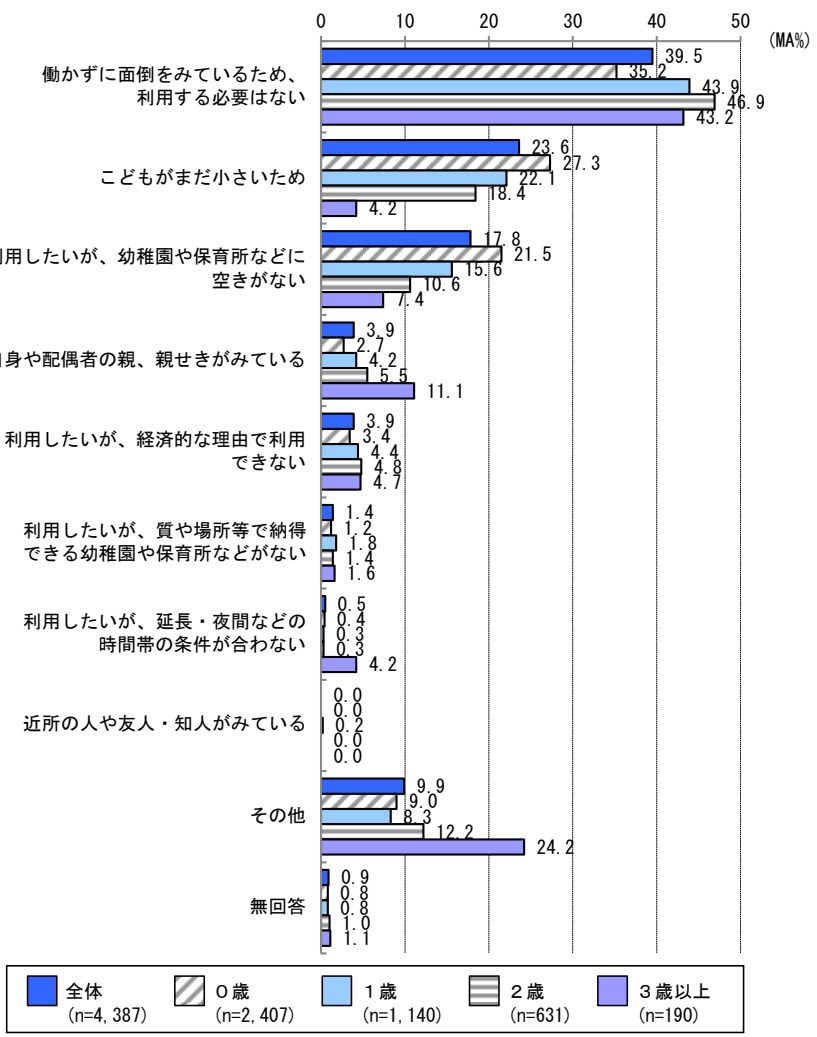
《参考》平成30年調査 全サービスの平均



平日に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していない最大の理由【問12-4】

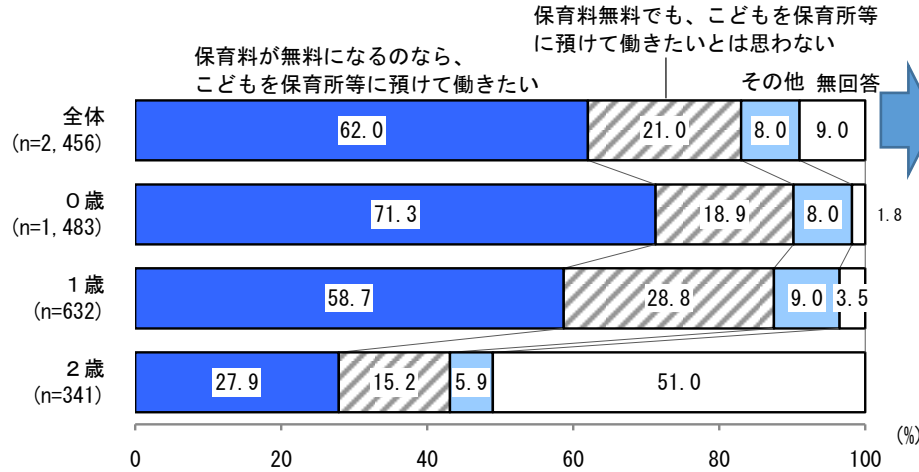
- ▶ 「働かずにこどもの面倒をみているため、利用する必要はない」が全体で39.5%で最も多く、次いで「こどもがまだ小さいため」が23.6%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」が17.8%となっている。
- ▶ 前回と比べ、「働かずにこどもの面倒をみているため、利用する必要はない」が全体で7.1%減っており、全ての年齢でも減っている。

【参考】平成30年調査



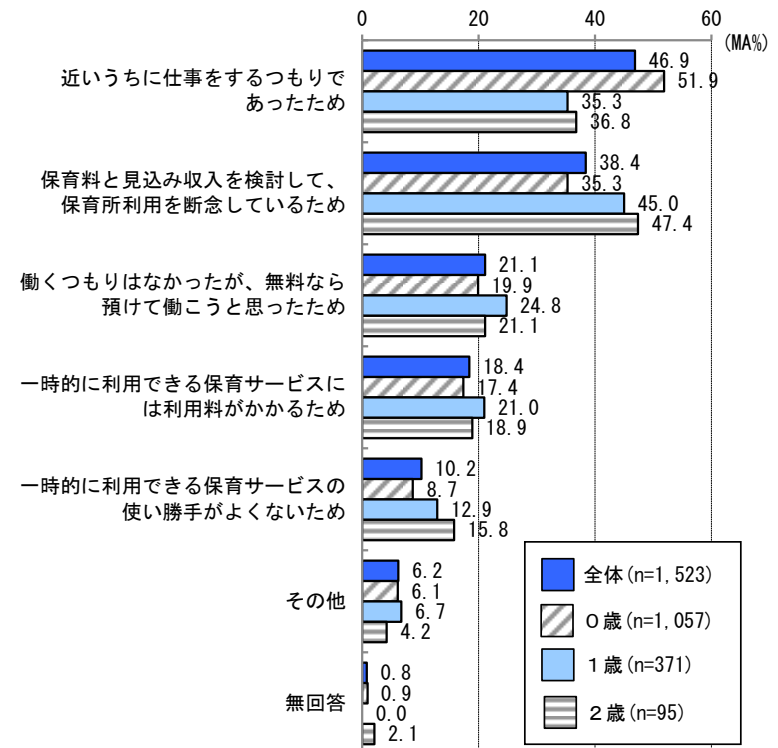
新 保育所、認定こども園などの保育料が無料になるとした場合の利用希望【問12-5】

- ▶ 第1子で年齢が0歳から2歳の方にたずねたところ、全体で「保育料が無料になるのなら、こどもを保育所等に預けて働きたい」が62.0%で最も多く、次いで「保育料が無料でも、こどもを保育所等に預けて働きたいと思わない」が21.0%となっている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「保育料が無料になるのなら、こどもを保育所等に預けて働きたい」は0歳で71.3%と割合が高くなっている。



保育料が無料になるのなら、こどもを保育所などに預けて働きたい理由【問12-6】 ※複数回答あり

- ▶ 全体で「近いうちに仕事するつもりであったため」が46.9%で「働くつもりはなかったが、無料なら預けて働こうと思ったため」が21.1%となっている。



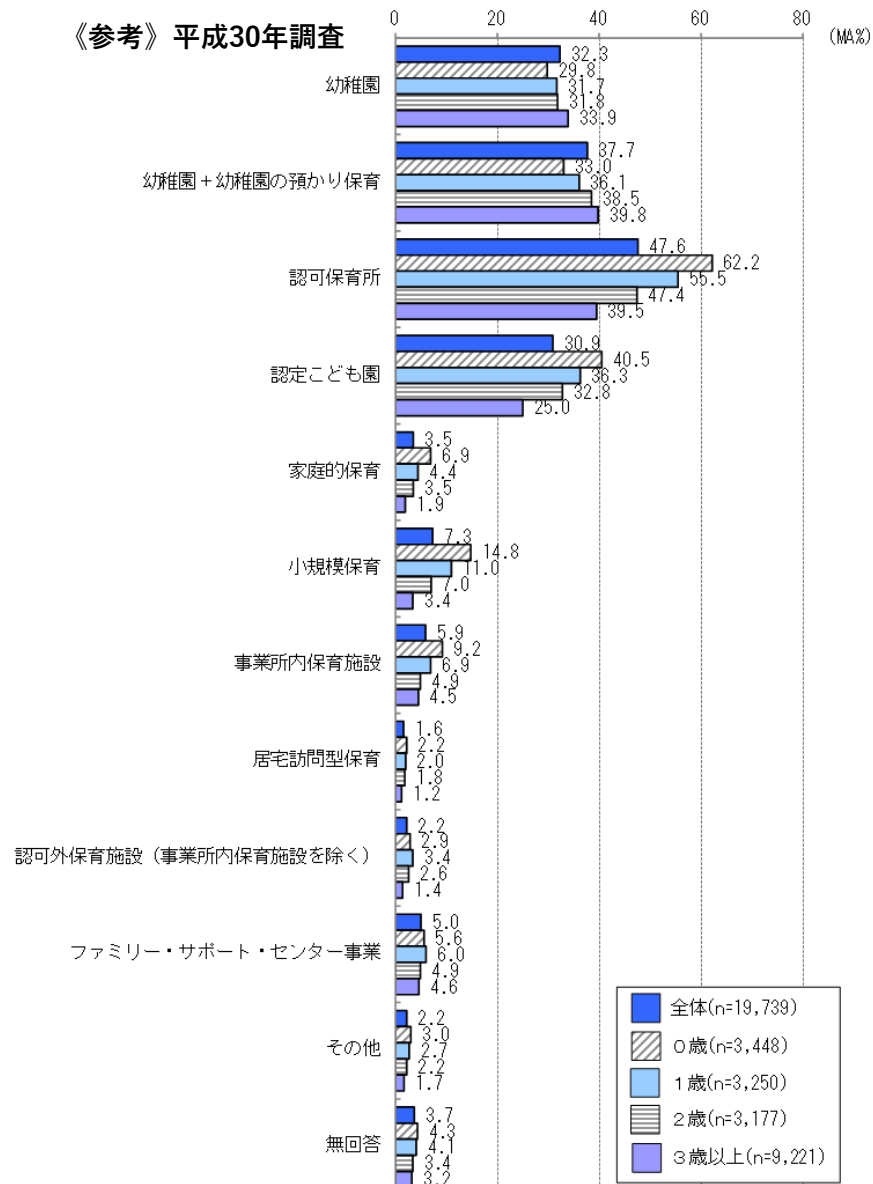
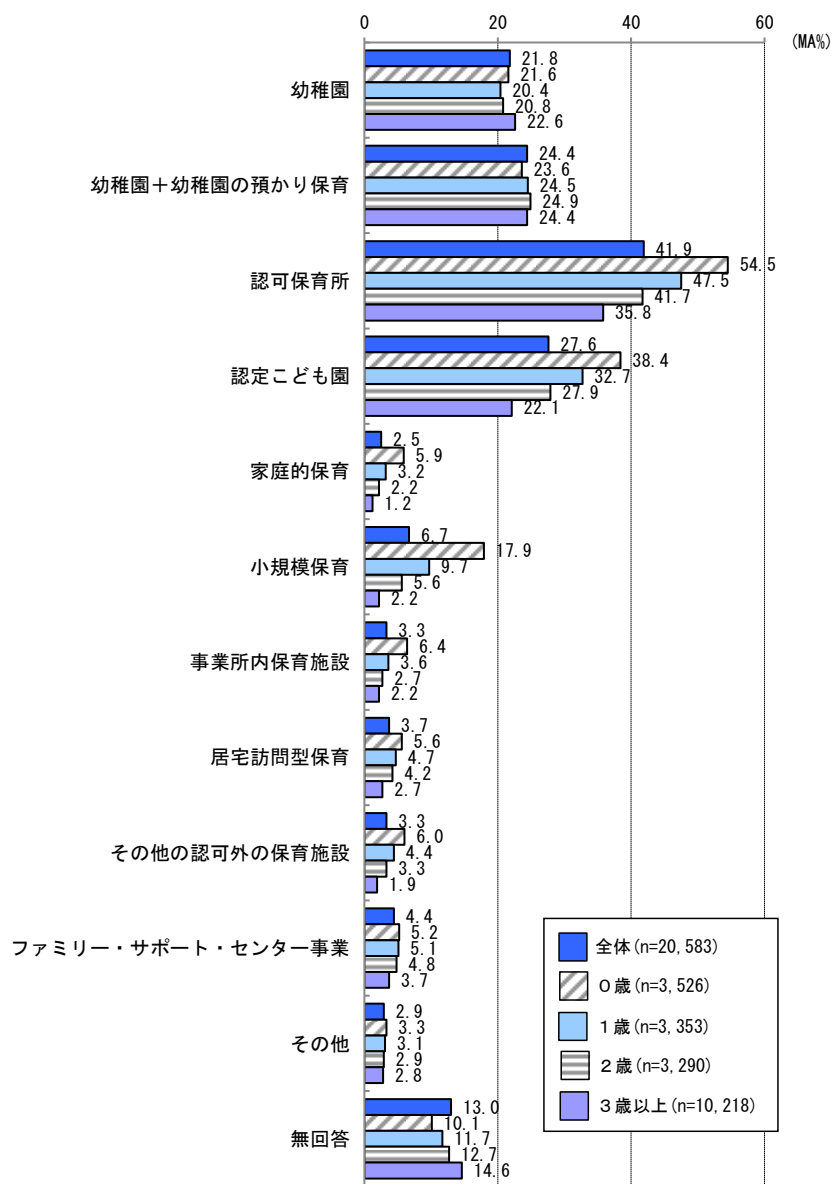
※注釈

上記表の年齢区分（令和5年4月1日時点）の2歳については、調査票配付時点（令和5年11月30日）で3歳に到達している方が一定数あるため、無回答が多くなっていると考えられる。（こどもの年齢【問3】参照）

子どもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用希望【問13】※複数回答あり

- ▶ 平日の定期的な利用希望については、全体で「認可保育所」が41.9%で最も多く、次いで「認定子ども園」が27.6%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が24.4%となっており、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」では前回より13.3%減っている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、「認可保育所」、「認定子ども園」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。

《参考》平成30年調査



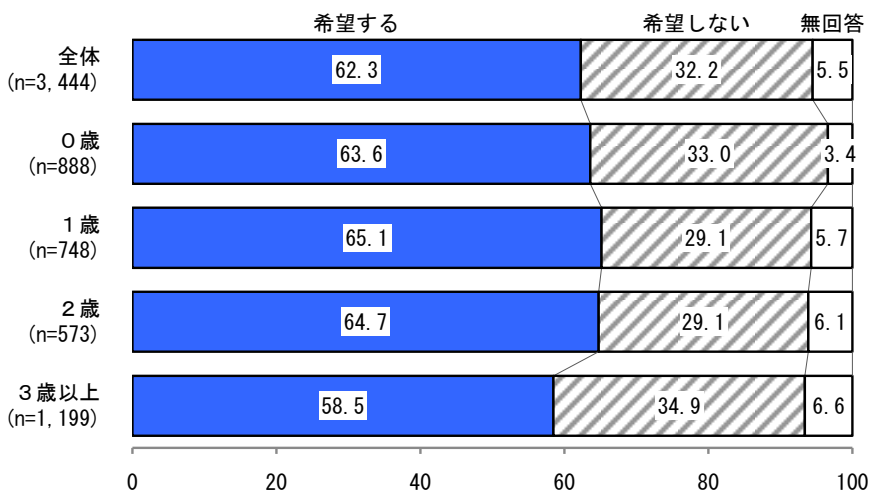
こどもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用希望【問13②】

こどもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用希望で『幼稚園』と他のサービスも希望された方 3,444人 (16.9%) 【前回】 5,478人 (27.8%)

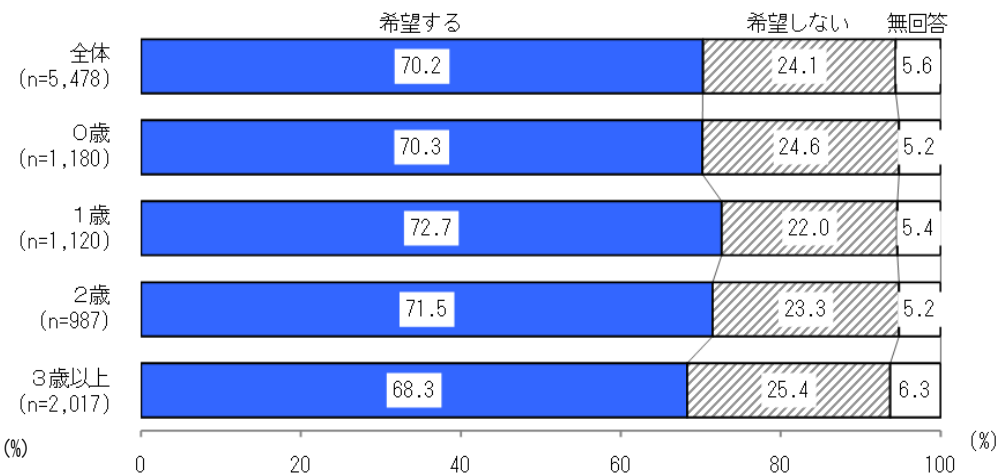


幼稚園の強い利用希望の有無【問13-1】

- ▶ 特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「希望する」が62.3%、「希望しない」が32.2%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「希望する」は7.9%減っており、特に「3歳以上」で9.8%減っている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「希望する」は「1歳」が65.1%で最も高く、次いで2歳が64.7%となっている。

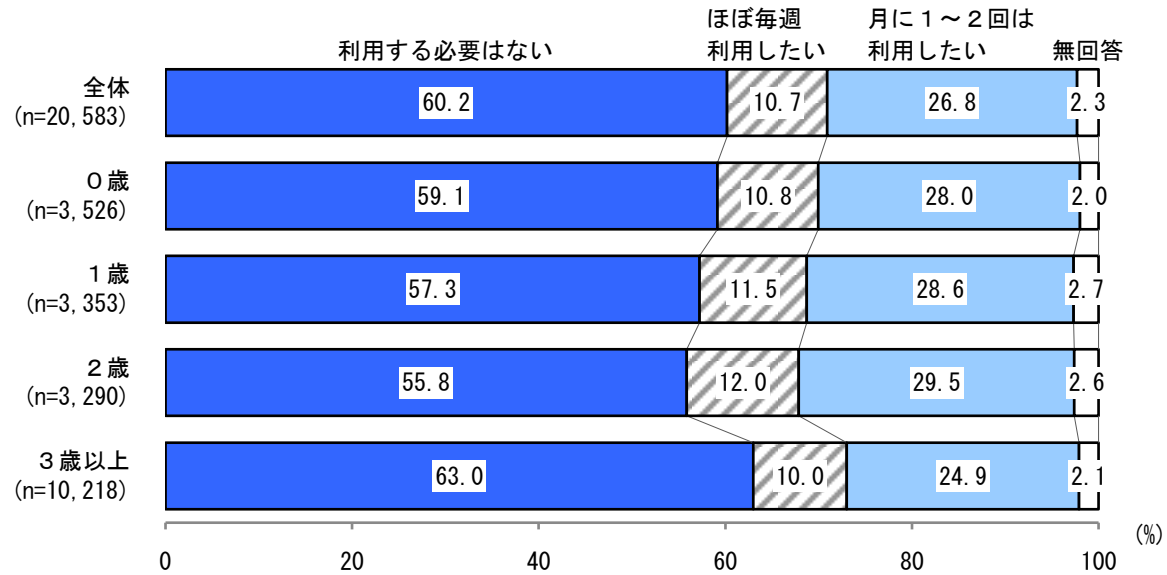


《参考》平成30年調査

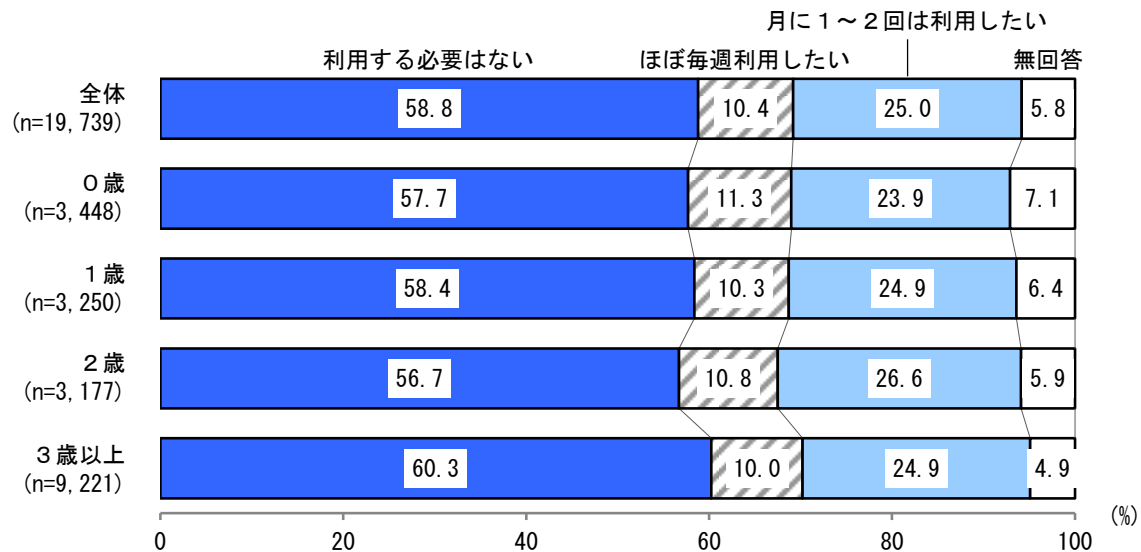


幼稚園や保育所などの土曜日の利用希望【問14①】

- 土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が60.2%で最も多く、「ほぼ毎週利用したい」が10.7%と「月に1～2回は利用したい」(26.8%)をあわせた『利用したい』は37.5%となっている。
- 前回と比べ、「0～2歳」で『利用したい』は高くなっているが、3歳以上では同様の傾向である。
- こどもの年齢別でみると、『利用したい』は「2歳」で41.5%と最も高くなっている。

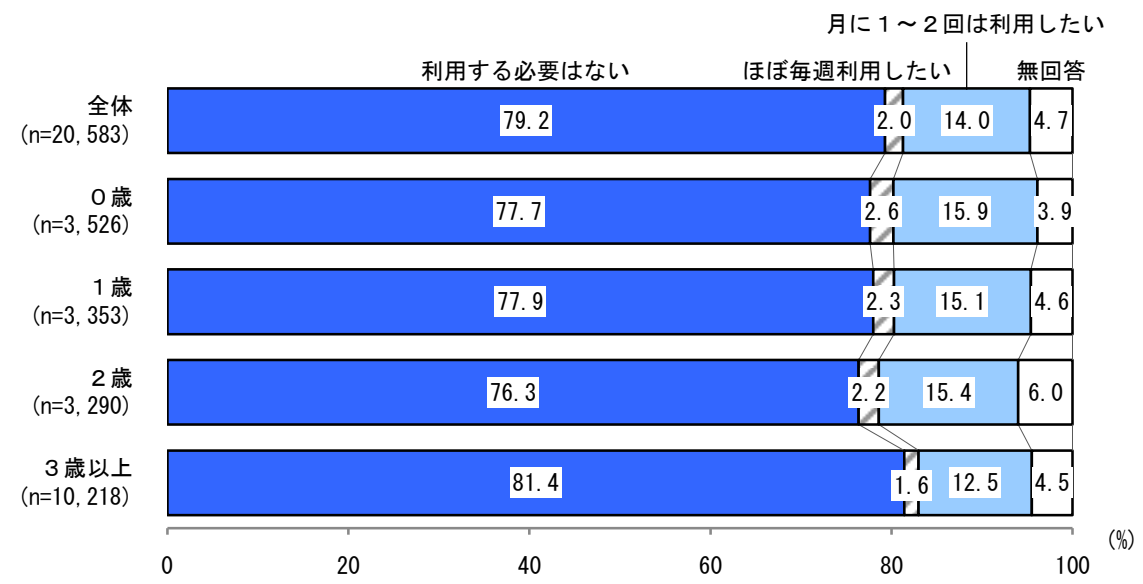


《参考》平成30年調査

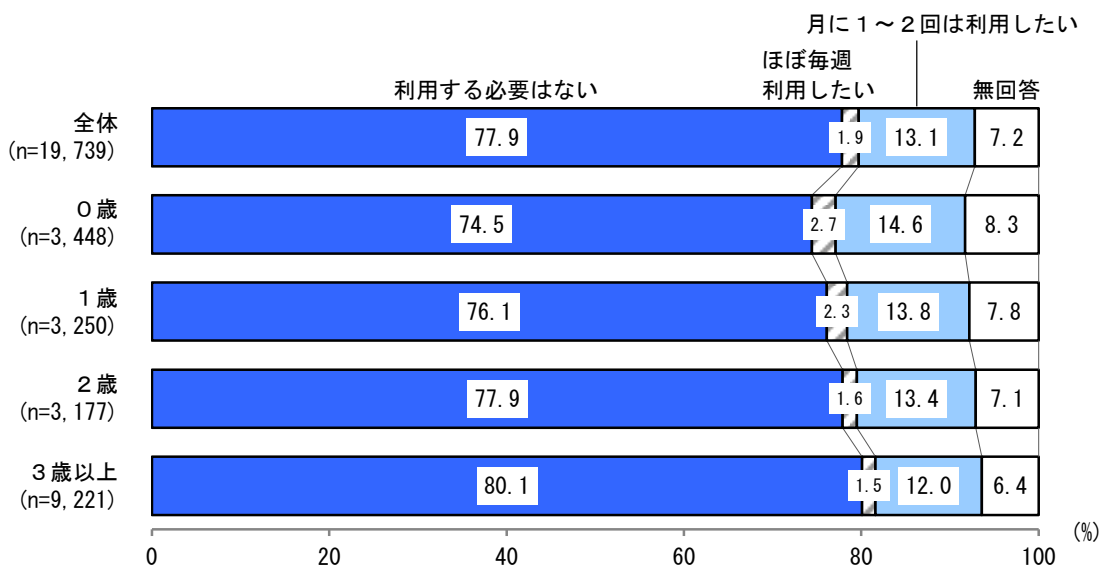


幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用希望【問14②】

- 日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が79.2%で最も多く、「ほぼ毎週利用したい」2.0%と「月に1～2回は利用したい」14.0%を合わせた『利用したい』は16.0%となっている。
- 前回と比べ、全ての年齢で『利用したい』は増えており、全体で1.0%、特に「2歳」は2.6%増えている。
- こどもの年齢別でみると、『利用したい』は「0歳」が18.5%で最も高くなっている

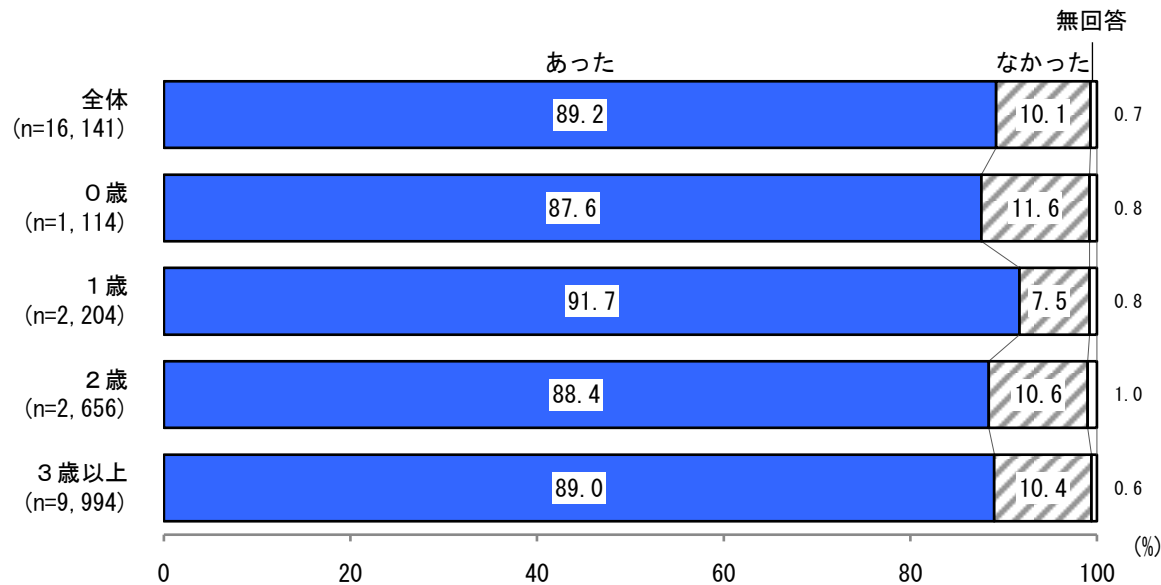


《参考》平成30年調査

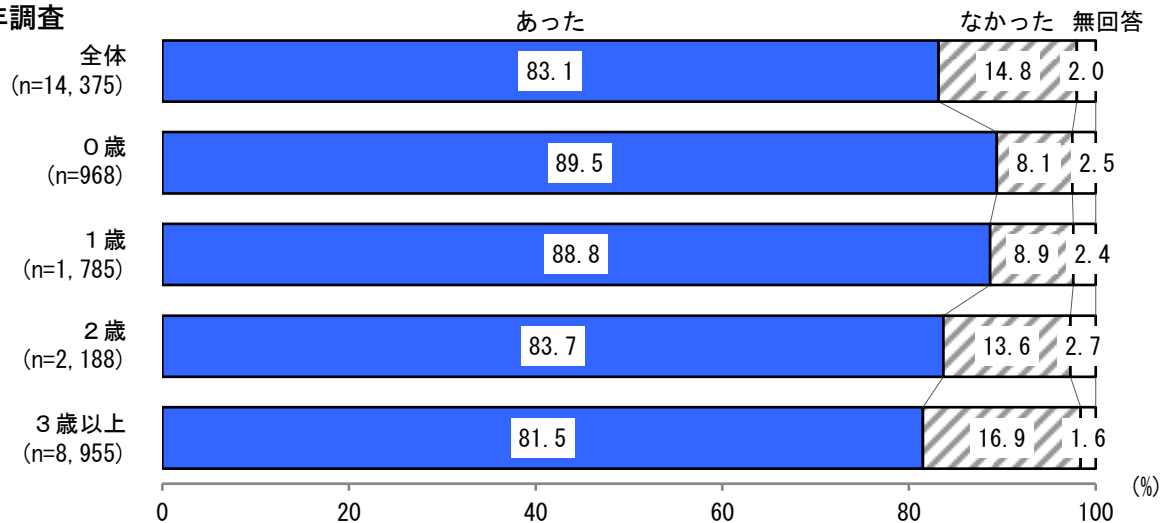


こどもが病気等で幼稚園や保育所などを利用できなかったことの有無【問16】

- ▶ こどもが病気等で幼稚園や保育所などを利用できなかったことの有無については、「あった」が89.2%、「なかった」が10.1%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「あった」が6.1%増えており、特に「3歳以上」で7.5%増えている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「あった」は「1歳」で91.7%と最も高くなっている。

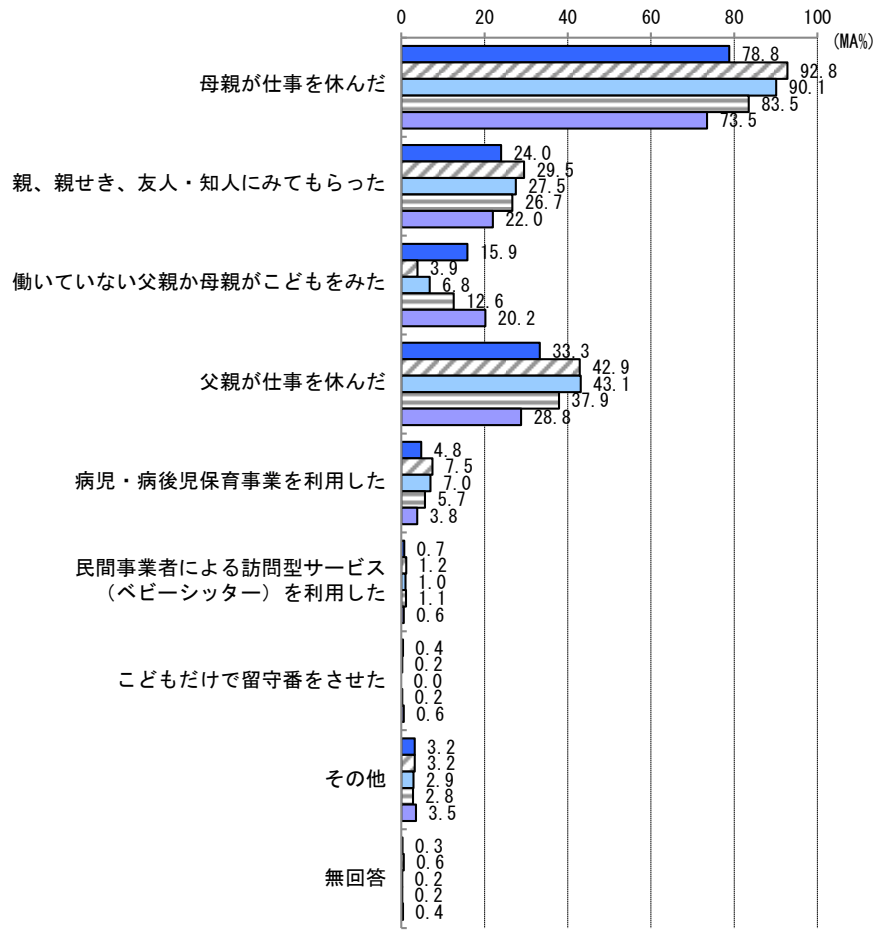


《参考》平成30年調査

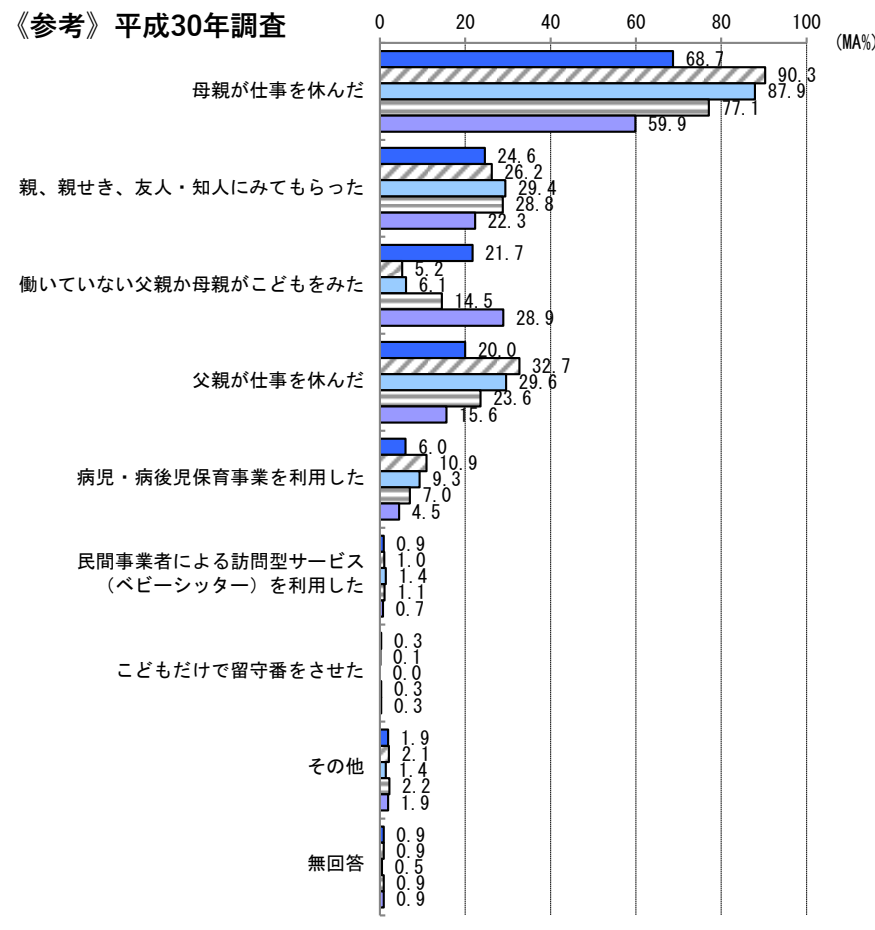


病気等で幼稚園や保育所などが利用できなかったときの対処方法【問16-1】※複数回答あり

- こどもが病気等で幼稚園や保育所などを利用できなかったことがあったと回答した人に、そのときの対処方法についてたずねると、「母親が仕事を休んだ」が78.8%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が33.3%、「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が24.0%となっている。
- 前回と比べ、「母親が仕事を休んだ」は10.1%、「父親が仕事を休んだ」が13.3%増えており、「働いていない父親か母親がこどもをみた」は5.8%減っている。
- こどもの年齢別で見ると、「母親が仕事を休んだ」、「父親が仕事を休んだ」、「病児・病後児保育事業を利用した」は「0・1歳」で特に高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。



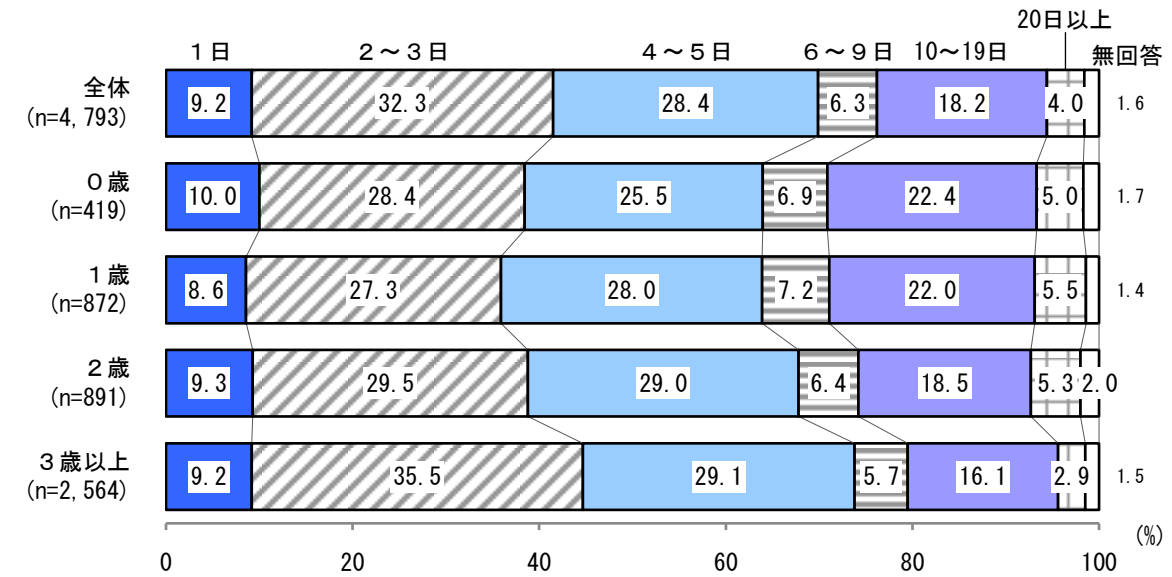
■ 全体 (n=14,398) ▨ 0歳 (n=976) ■ 1歳 (n=2,022) ▨ 2歳 (n=2,348) ■ 3歳以上 (n=8,897)



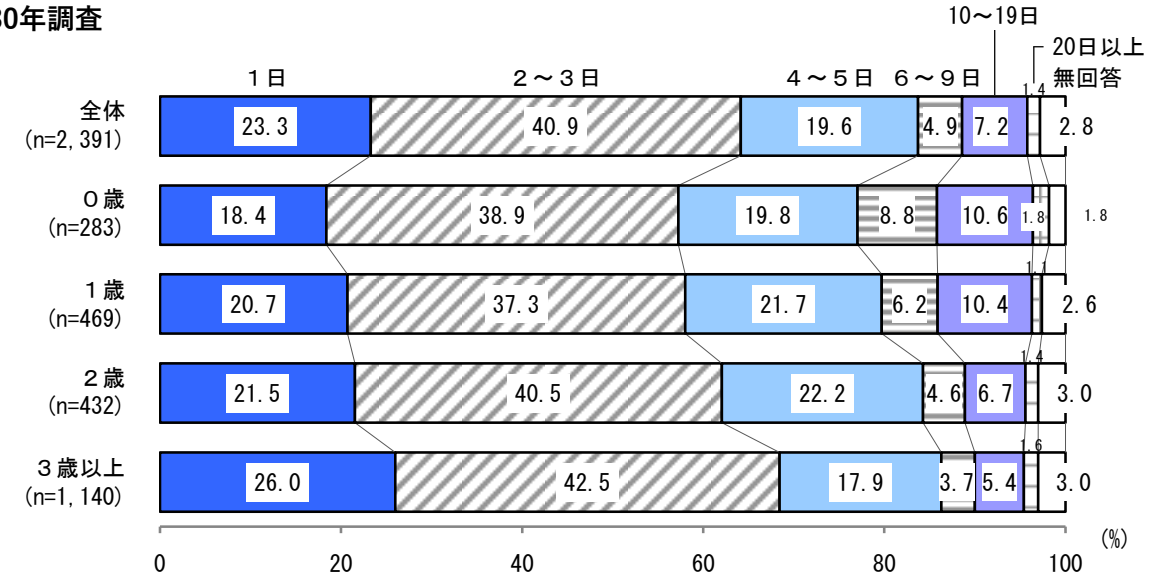
■ 全体 (n=11,950) ▨ 0歳 (n=866) ■ 1歳 (n=1,585) ▨ 2歳 (n=1,832) ■ 3歳以上 (n=7,294)

父親が仕事を休んだ日数【問16-1】

- 父親が仕事を休んだ日数は、全体で「2～3日」が32.3%で最も多く、次いで「4～5日」が28.4%、「10～19日」が18.2%となっている。
- 前回と比べ、全体で「4日～5日」以上の日数が23.8%増えている。（R5：56.9%、H30：33.1%）
- こどもの年齢別で見ると、「10～19日」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。

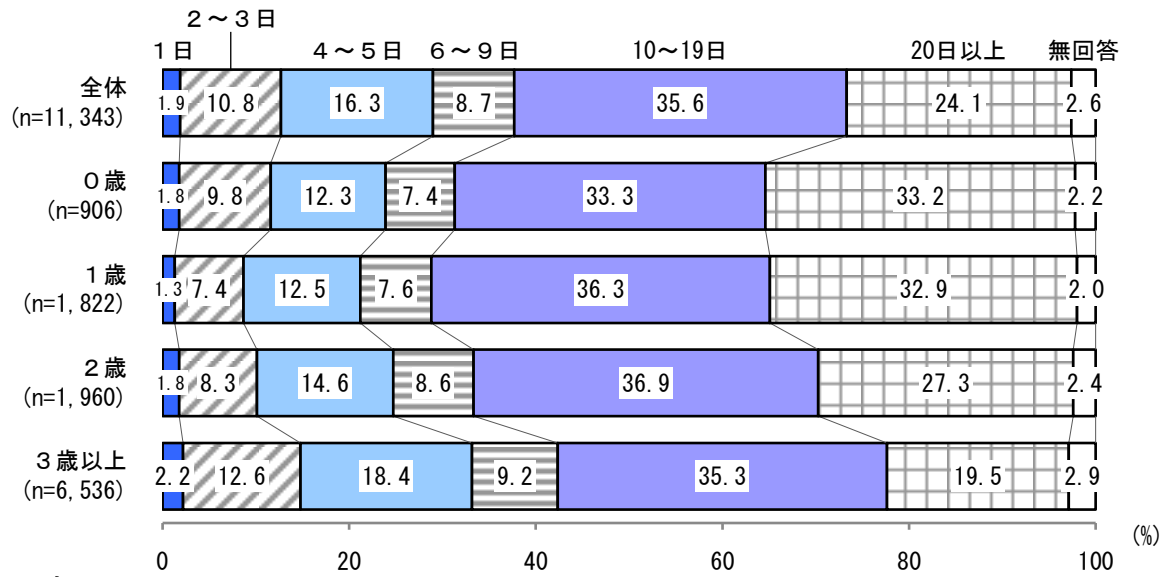


《参考》平成30年調査

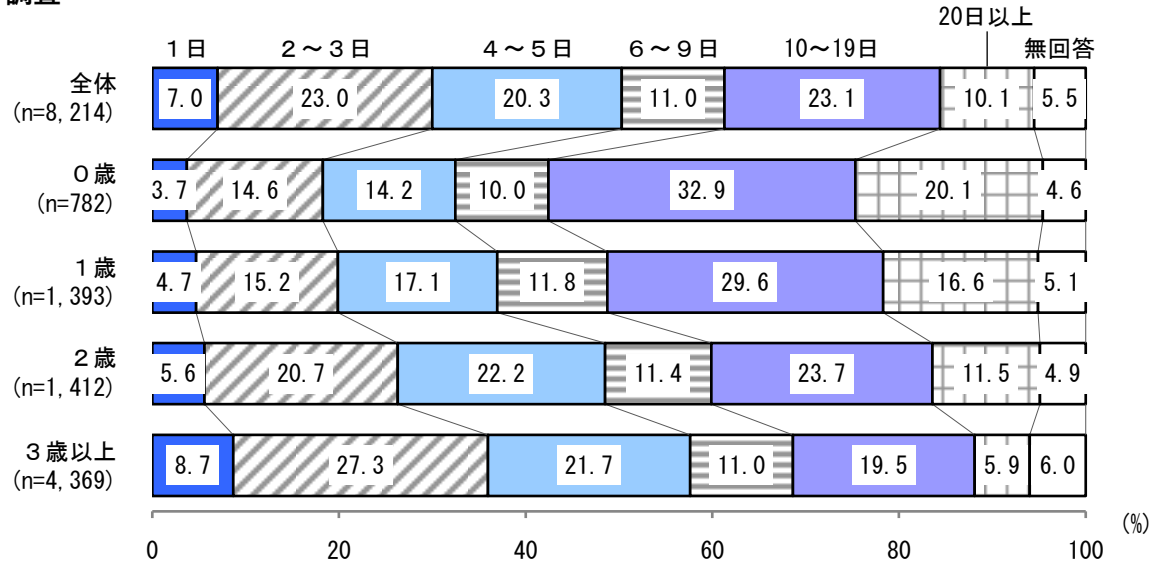


母親が仕事を休んだ日数【問16-1】

- 母親が仕事を休んだ日数は、全体で「10～19日」が35.6%で最も多く、次いで「20日以上」が24.1%、「4～5日」が16.3%となっている。
- 前回と比べ、全体で「10～19日」以上の日数が26.5%増えている。（R5：59.7%、H30：33.2%）
- こどもの年齢別でみると、「20日以上」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。

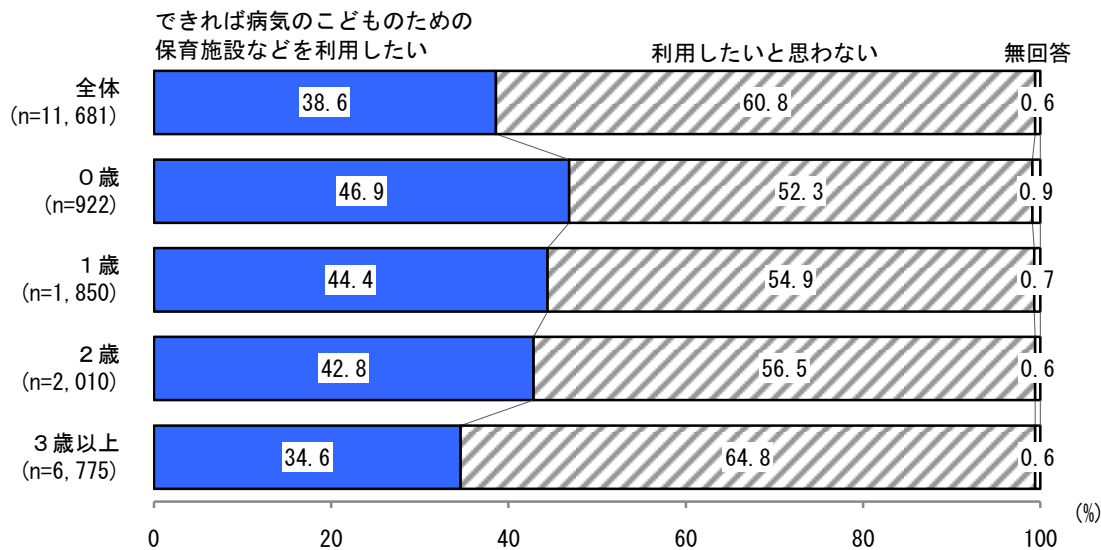


《参考》平成30年調査

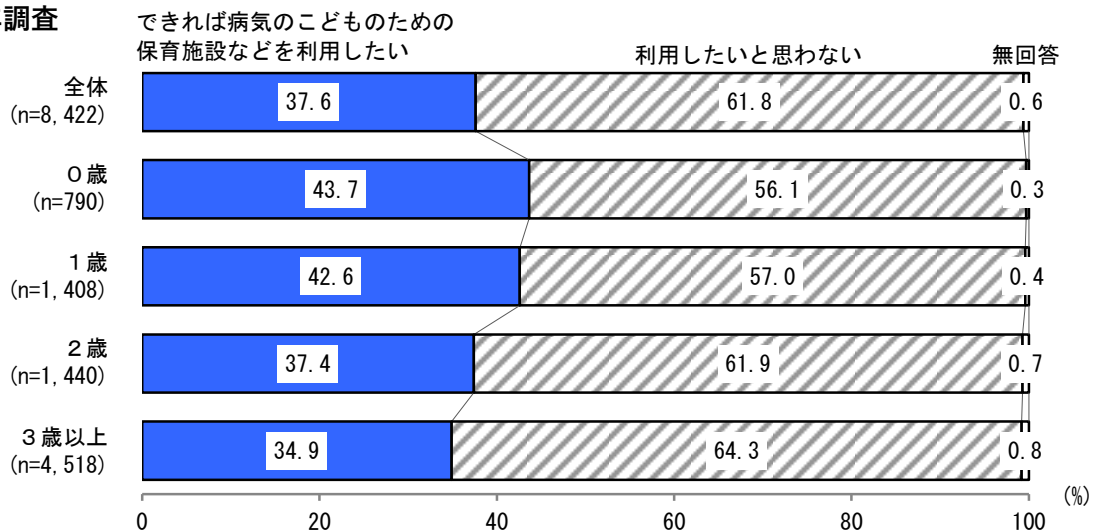


病気のこどものための保育施設などの利用希望【問16-2】

- こどもの病気等のために父親または母親が仕事を休んだと回答した人に、病気のこどものための保育施設などの利用希望についてたずねると、「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」が38.6%、「利用したいと思わない」が60.8%となっている。
- 前回と比べ、全体で「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」が1.0%増えている。
- こどもの年齢別でみると、「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」は「0歳」が46.9%で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。



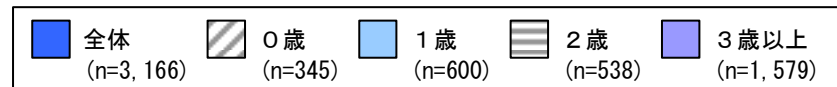
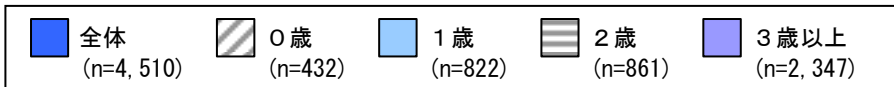
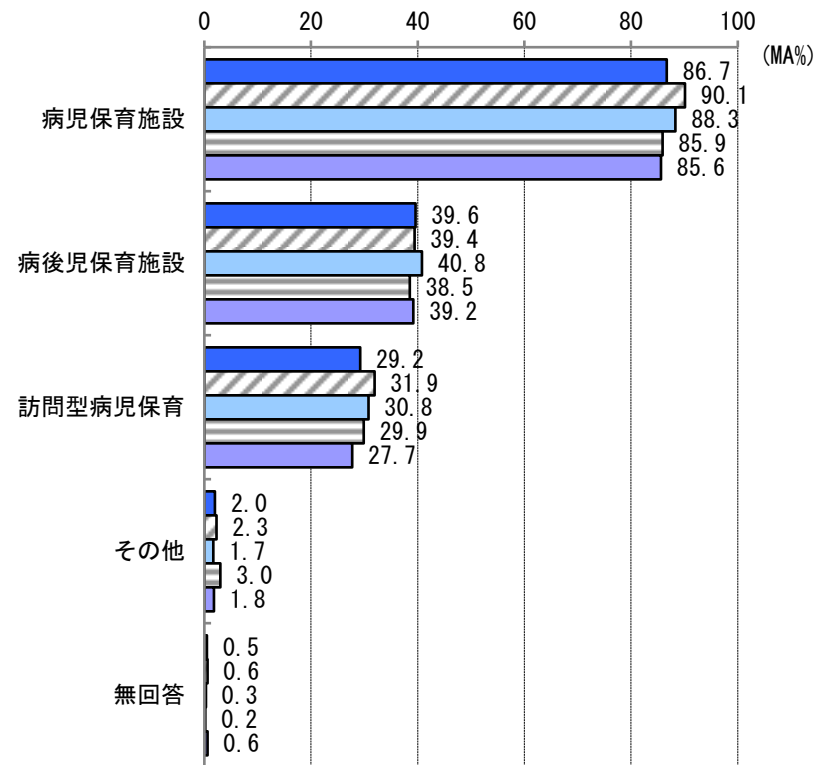
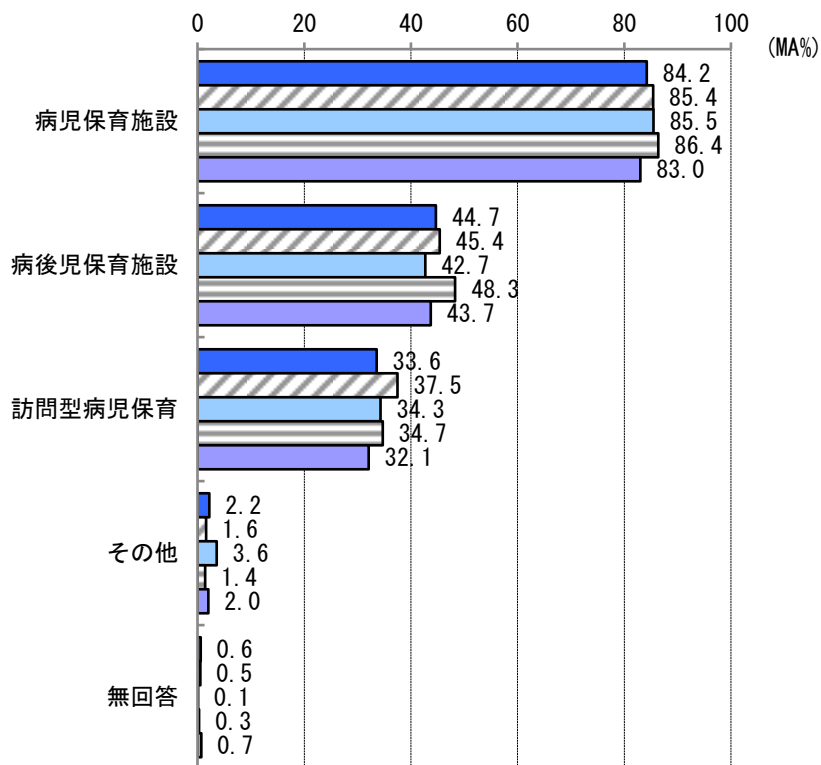
《参考》平成30年調査



病気のこどものための保育施設などで希望するサービス【問16-3】※複数回答あり

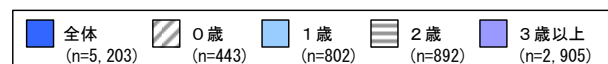
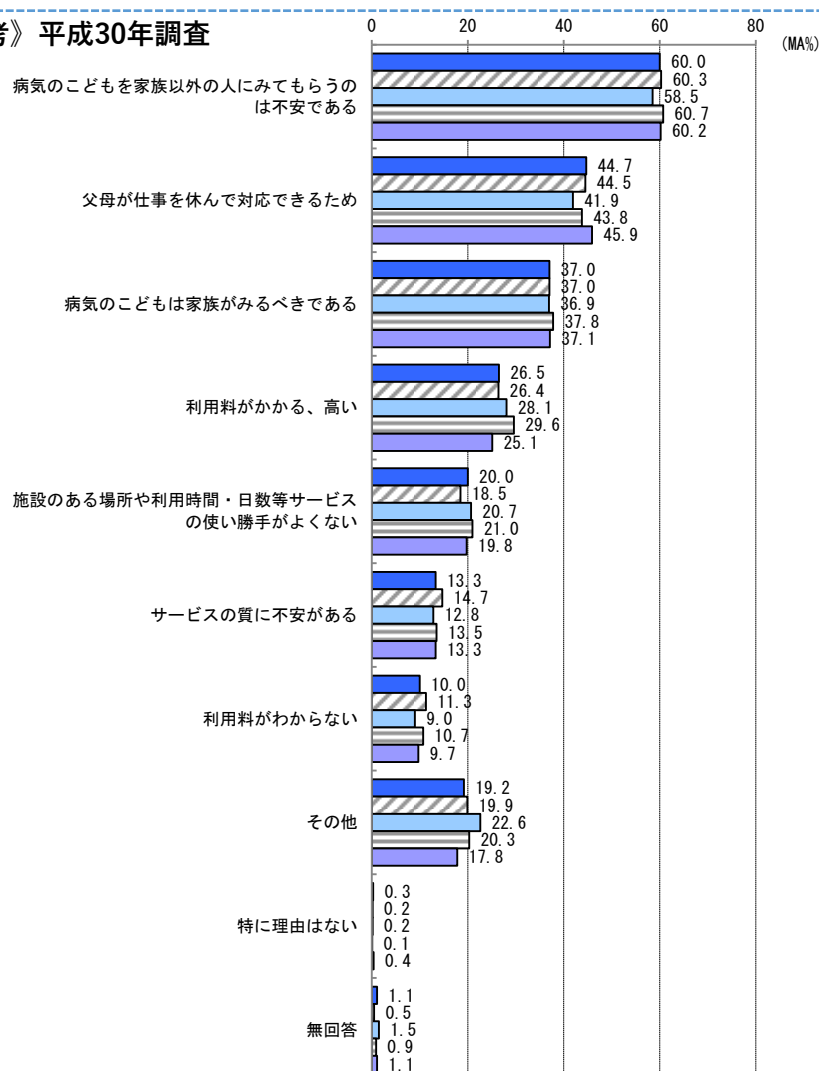
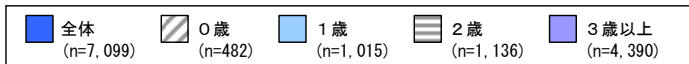
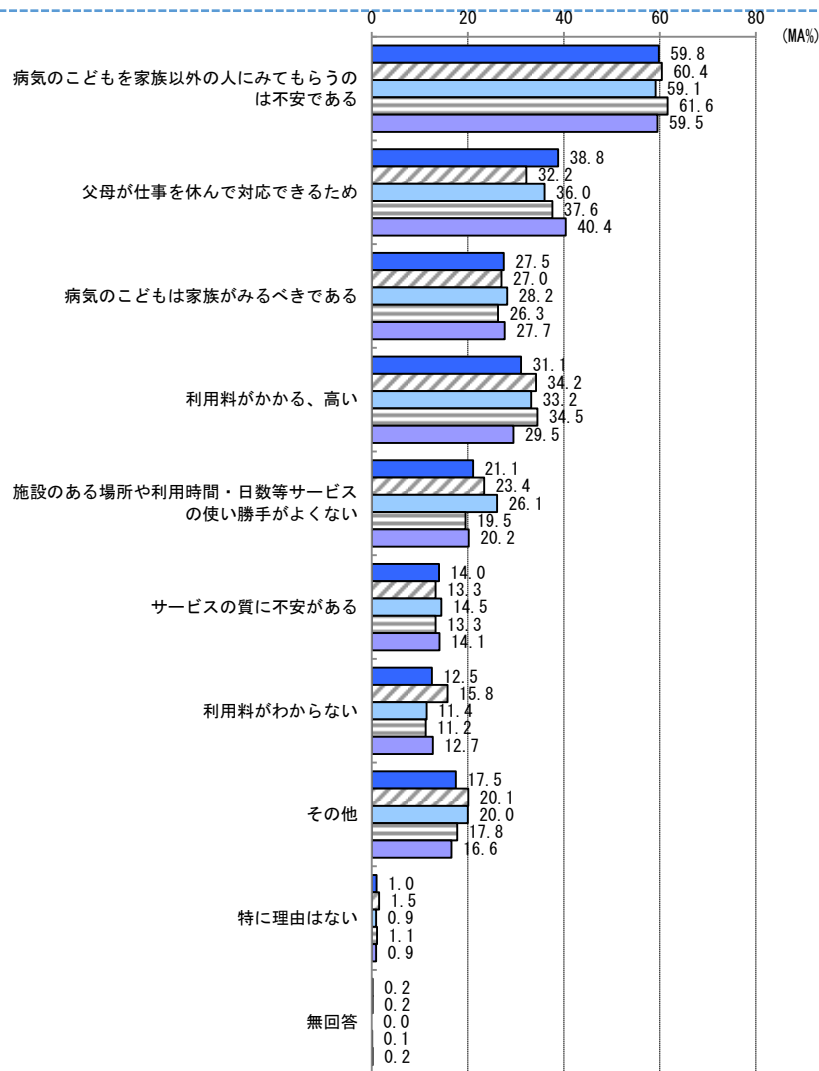
- 病気のこどものための保育施設などで希望するサービスについては、「病児保育施設」が84.2%で最も多く、次いで「病後児保育施設」が44.7%、「訪問型病児保育」が33.6%となっている。
- 前回と比べ、全体で「病児保育施設」は2.5%減っているが、「病後児保育施設」は5.1%、「訪問型病児保育」が4.4%増えている。

《参考》平成30年調査



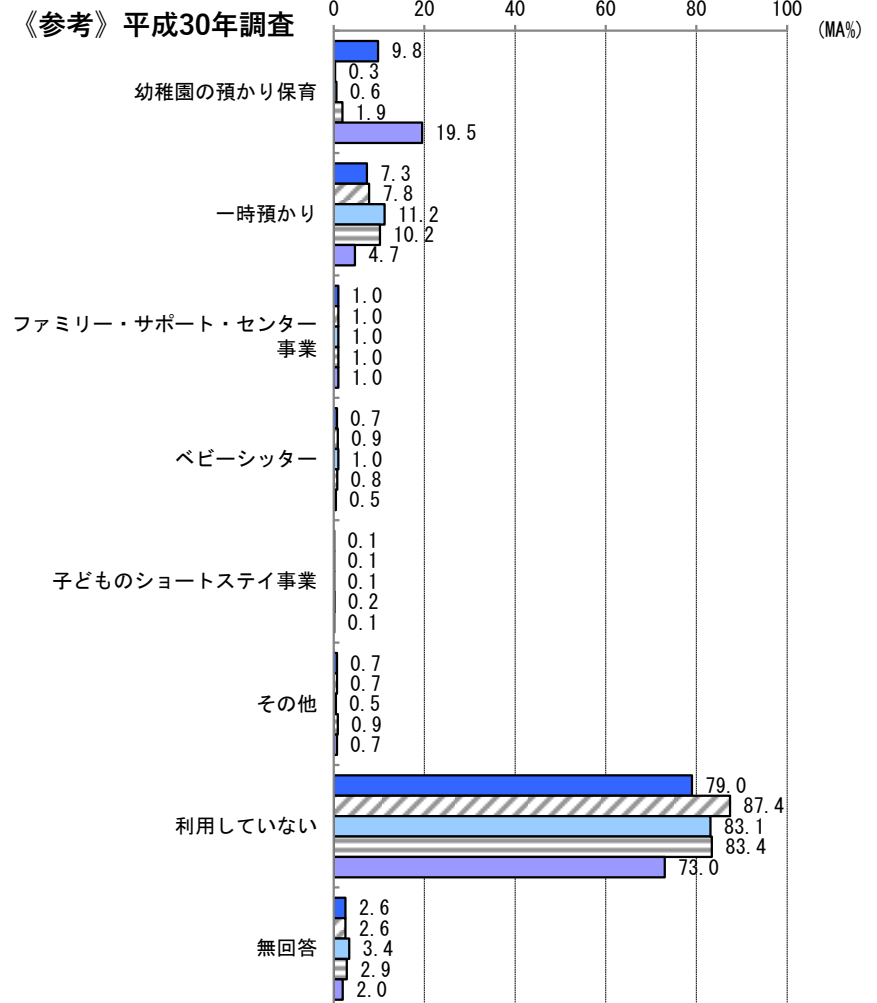
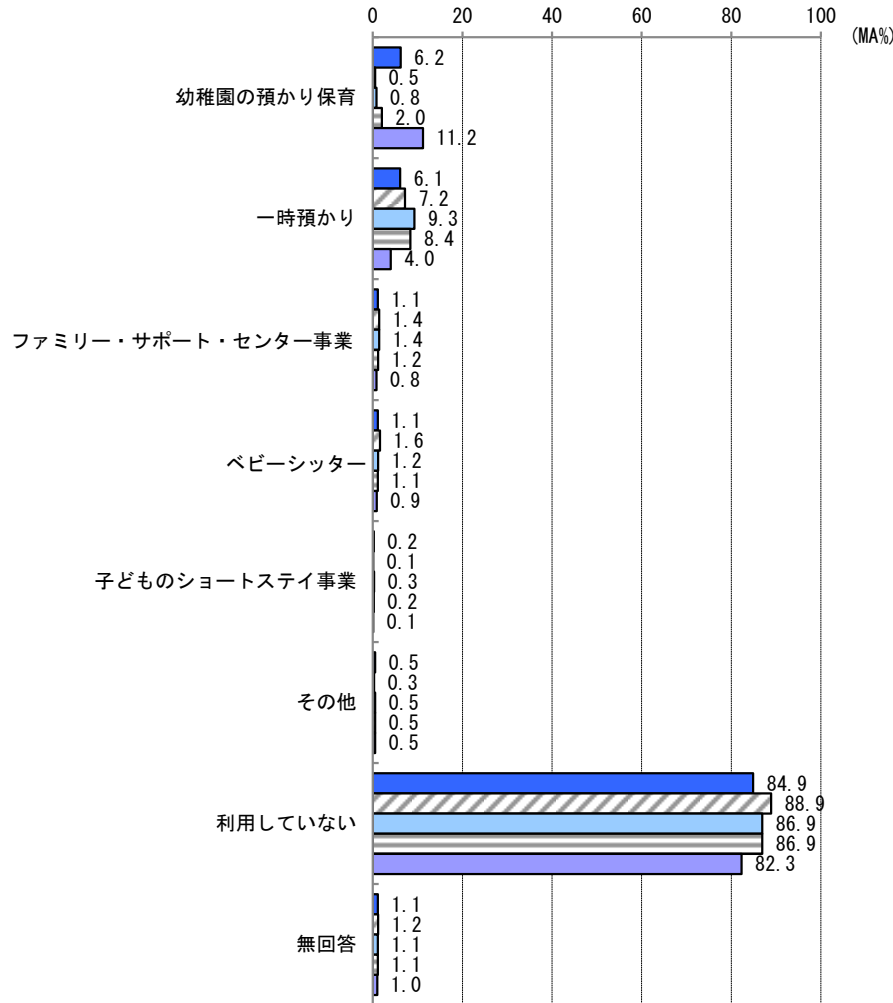
病気のこどものための保育施設などを利用したいと思わない理由【問16-4】※複数回答あり

- ▶ 病気のこどものための保育施設などを利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、全体で「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が59.8%で最も多く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」が38.8%、「利用料がかかる、高い」が31.1%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「父母が仕事を休んで対応できるため」が5.9%減っており、「利用料がかかる、高い」は4.6%増えている。



こどもを預かる施設やサービスの不定期な利用状況【問17】 ※複数回答あり

- ▶ 一時預かり等のサービスの利用状況については、「利用していない」が84.9%で最も多いが、利用した人では「幼稚園の預かり保育」が6.2%で最も多く、次いで「一時預かり」が6.1%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「幼稚園の預かり保育」は3.6%、「一時預かり」が1.2%減り、「利用していない」が5.9%増えている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、「幼稚園の預かり保育」は「3歳以上」で11.2%と最も高く、「一時預かり」は「1・2歳」で8%強となっている。



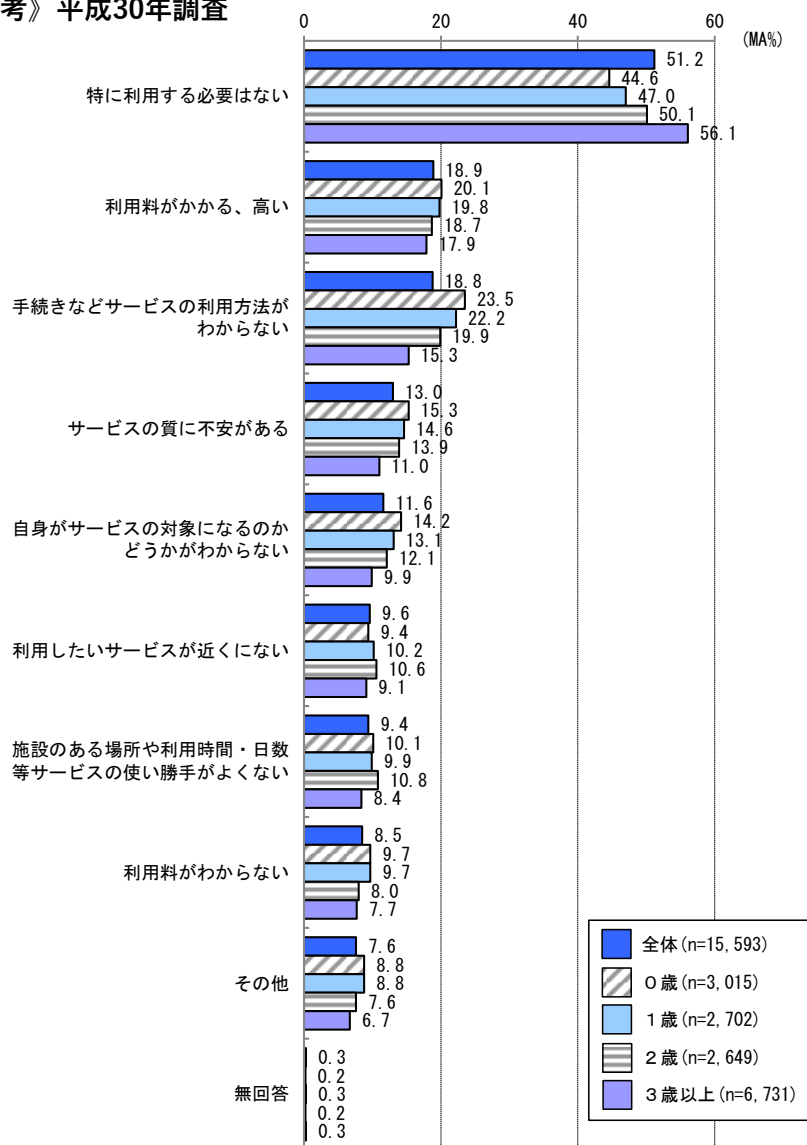
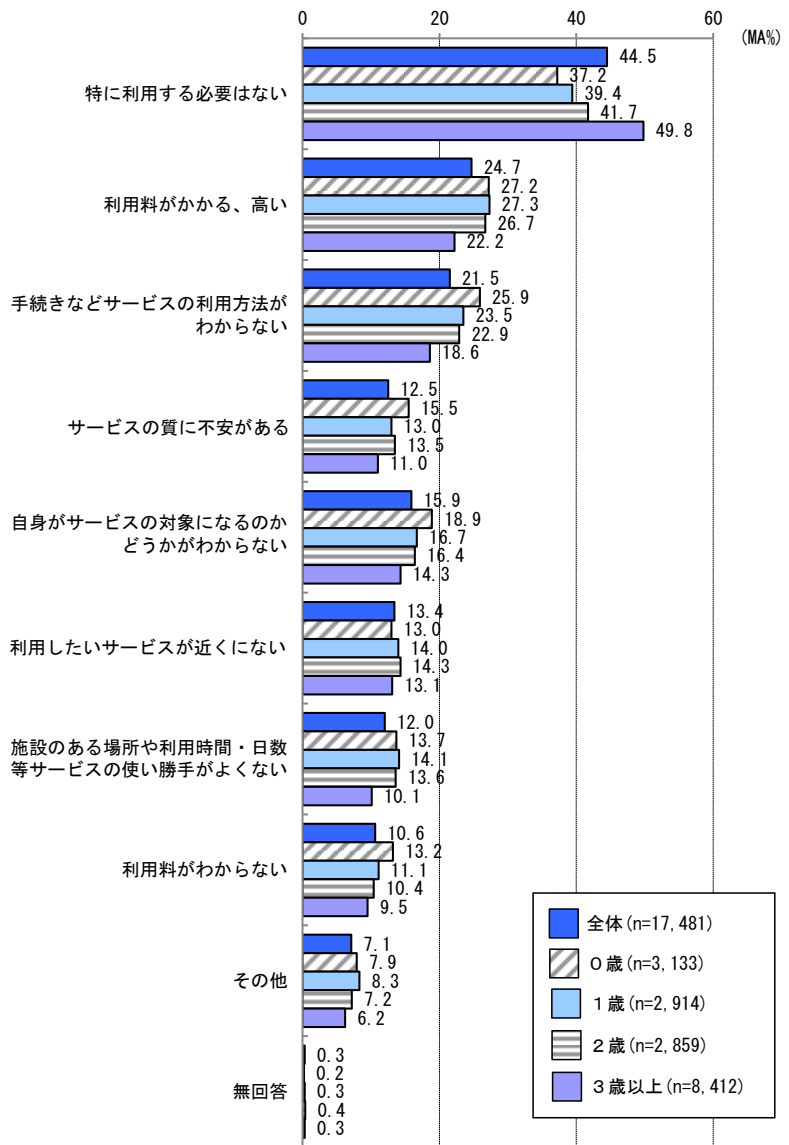
■ 全体 (n=20,583)
 ■ 0歳 (n=3,526)
 ■ 1歳 (n=3,353)
 ■ 2歳 (n=3,290)
 ■ 3歳以上 (n=10,218)

■ 全体 (n=19,739)
 ■ 0歳 (n=3,448)
 ■ 1歳 (n=3,250)
 ■ 2歳 (n=3,177)
 ■ 3歳以上 (n=9,221)

一時預かり等のサービスを利用していない理由【問17-1】 ※複数回答あり

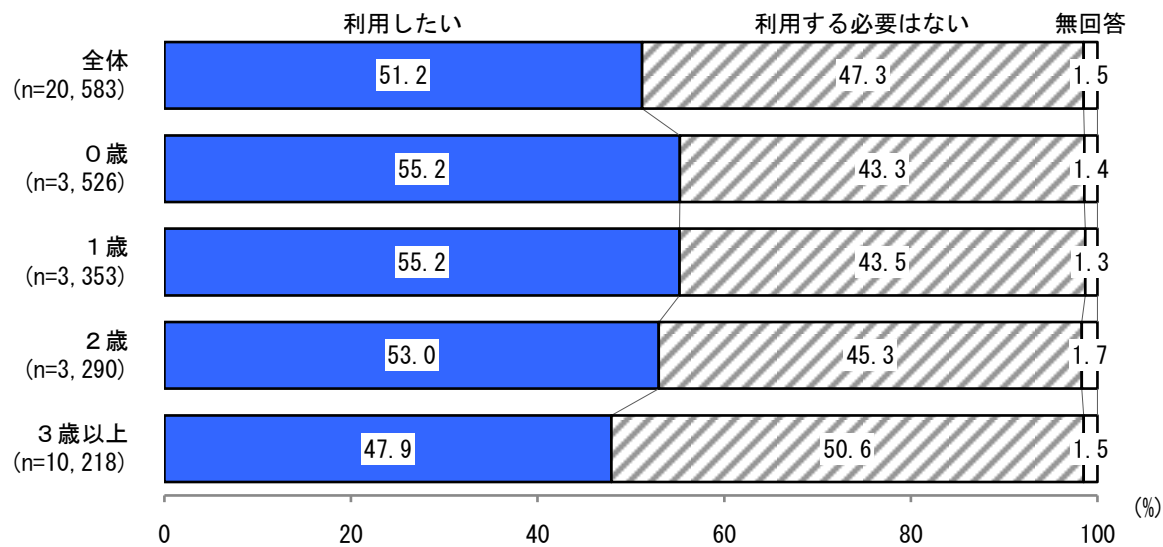
- ▶ 一時預かり等のサービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「特に利用する必要はない」が44.5%で最も多く、次いで「利用料がかかる、高い」が24.7%、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」が21.5%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「特に利用する必要はない」は6.7%減っており、「利用料がかかる、高い」は5.8%、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」が2.7%増えている。

《参考》平成30年調査

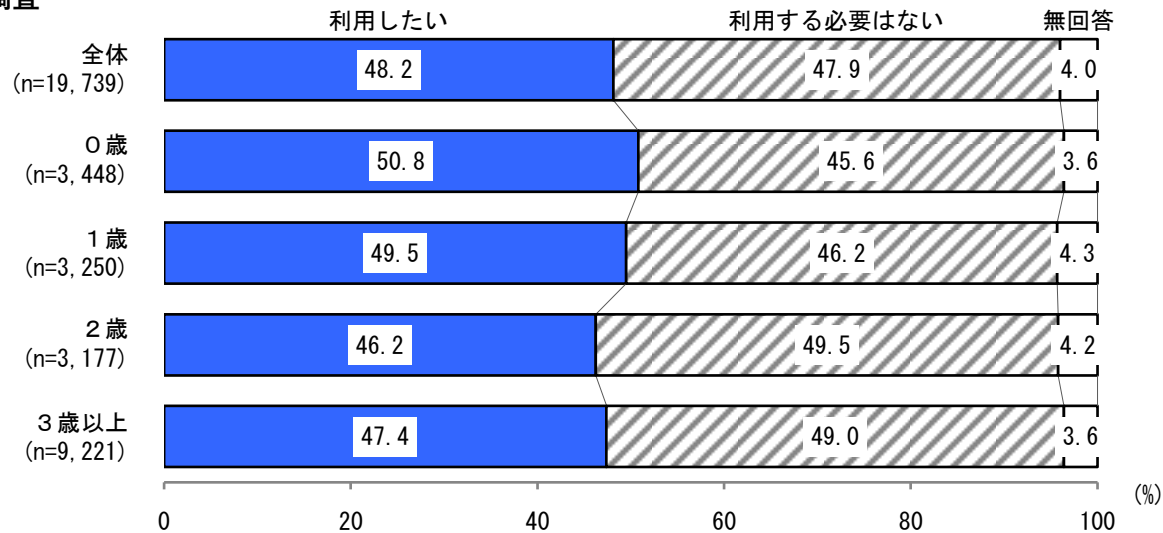


一時預かり施設の利用希望【問18】

- 一時預かり施設の利用希望については、「利用したい」が51.2%、「利用する必要はない」が47.3%となっている。
- 前回と比べ、全ての年齢で「利用したい」が増えており、全体で3.0%、特に「2歳」では6.8%増えている。
- こどもの年齢別でみると、「利用したい」は「0・1歳」55.2%と最も高くなっている。

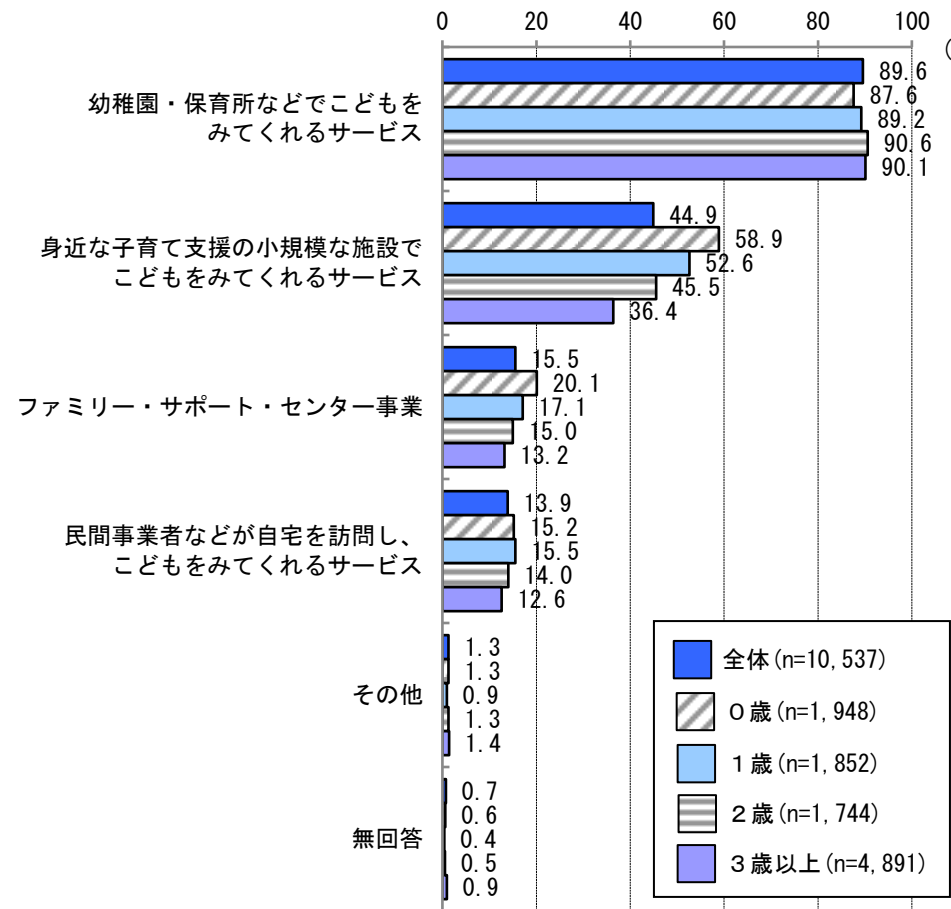


《参考》平成30年調査

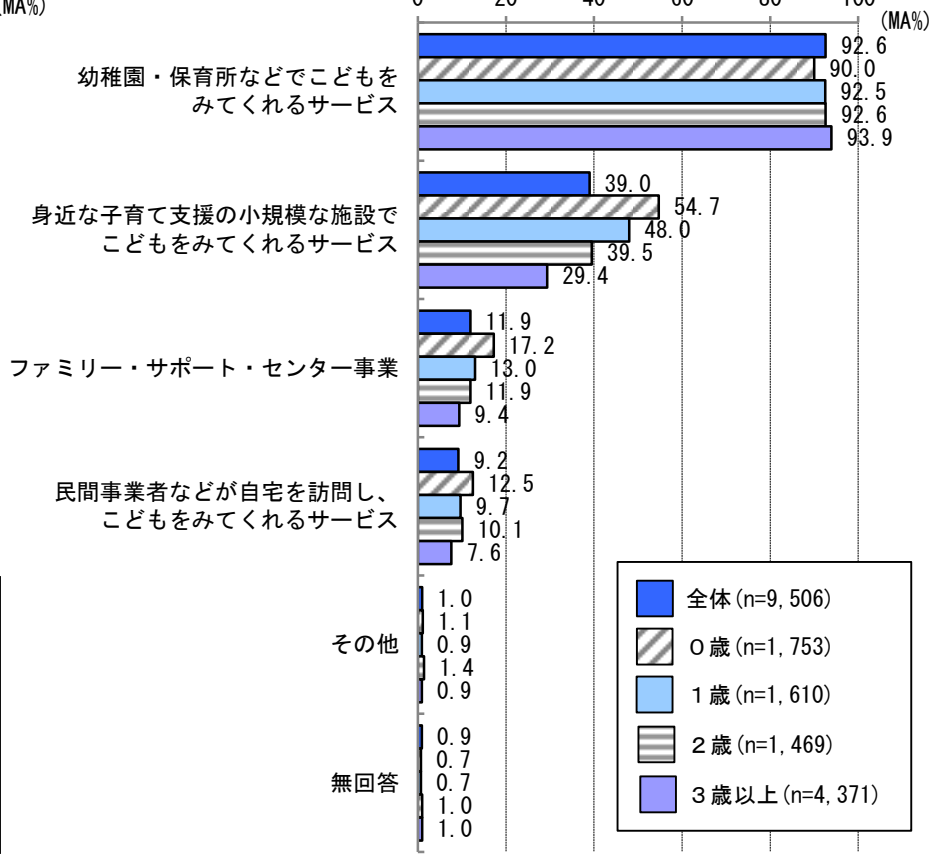


利用したい一時預かりサービス【問18-1】 ※複数回答あり

- 利用したい一時預かりサービスについては、「幼稚園・保育所などで子どもをみてるサービス」が89.6%で最も多く、次いで「身近な子育て支援の小規模な施設で子どもをみてるサービス」が44.9%となっている。
- 前回と比べ、全体で「身近な子育て支援の小規模な施設で子どもをみてるサービス」は5.9%、ファミリー・サポート・センター事業」が3.6%増えている。
- こどもの年齢別でみると、「身近な子育て支援の小規模な施設で子どもをみてるサービス」、「ファミリー・サポート・センター事業」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。

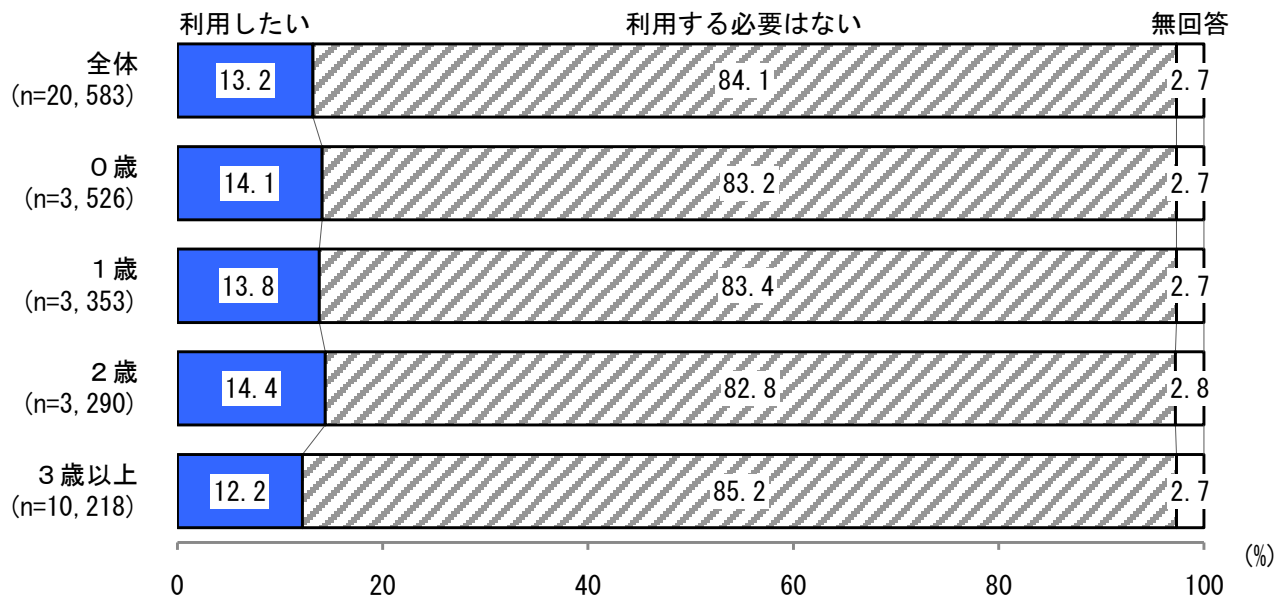


《参考》平成30年調査



新 こどもを「泊りがけ」で預かるサービスの利用希望【問19】

- ▶ こどもを「泊りがけ」で預かるサービスの利用希望について、「利用したい」が13.2%で、「利用する必要はない」が84.1%となっている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、0～2歳で同じ傾向であったが、3歳以上では、「利用したい」の割合が少し低くなっている。

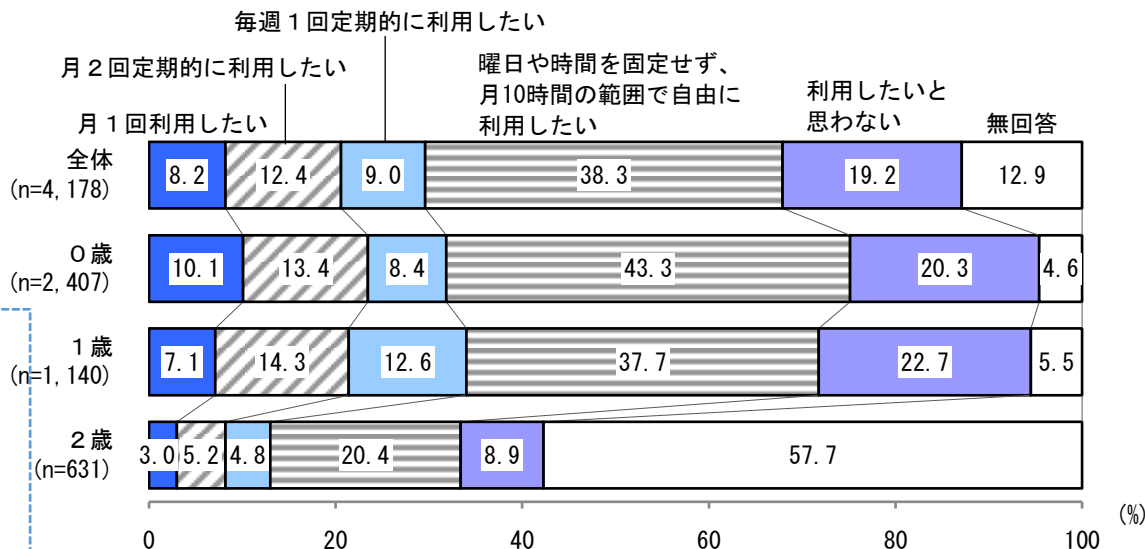


新 「こども誰でも通園制度」の利用希望と利用したい時間帯【問20】

①利用希望

- 「こども誰でも通園制度」の利用希望について、全体で「曜日や時間を固定せず月10時間の範囲で自由に利用したい」が38.3%で最も多かった。
- こどもの年齢別で見ると、「1歳」で「利用したいと思わない」が少し多くなっている。

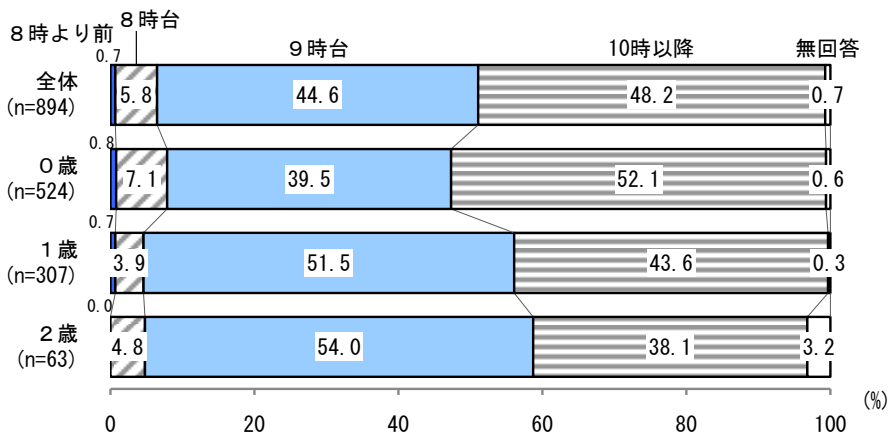
※注釈
右記表の年齢区分（令和5年4月1日時点）の2歳については、調査票配付時点（令和5年11月30日）で3歳に到達している方が一定数あるため、無回答が多くなっていると考えられる。（こどもの年齢【問3】参照）



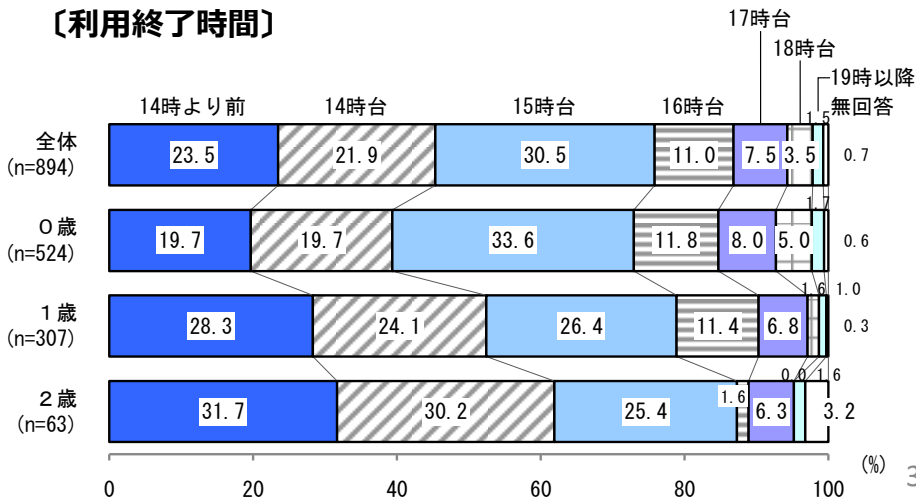
②利用開始時間・終了時間（月2回定期的に利用したい又は毎週1回定期的に利用したいと回答された方を対象）

- 利用開始時間は全体で「10時以降」が48.2%で最も多く、次いで「9時台」が44.6%となっている。
- 利用終了時間は全体で「15時台」が30.5%で最も多く、次いで「14時より前」の23.5%となっている。
- こどもの年齢別で見ると、「0歳」の利用開始時間は「10時以降」が多く、利用終了時間が「15時台」が多かった。

〔利用開始時間〕



〔利用終了時間〕

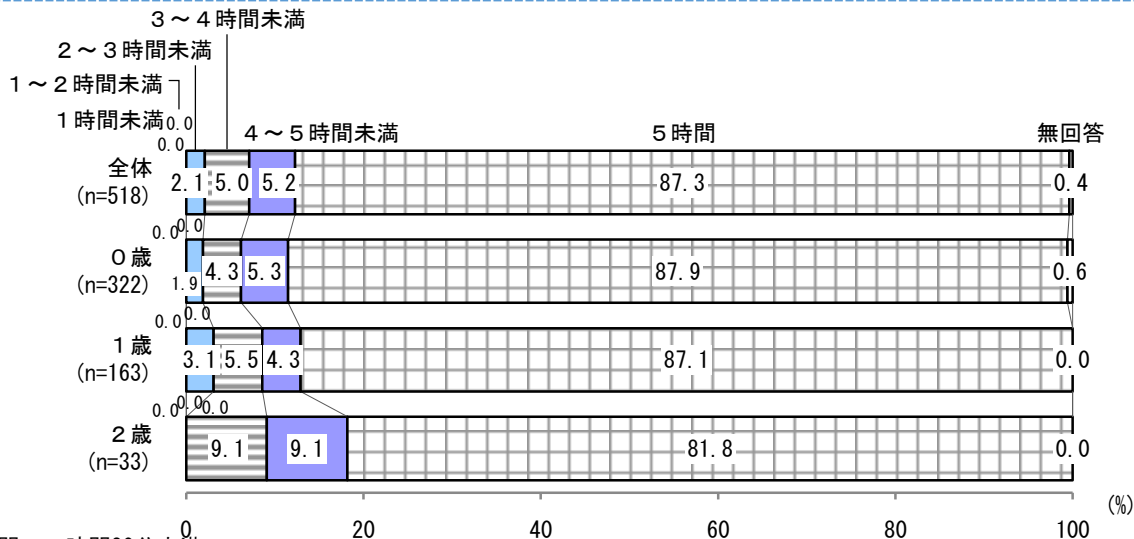


「こども誰でも通園制度」の利用希望と利用したい時間帯【問20】

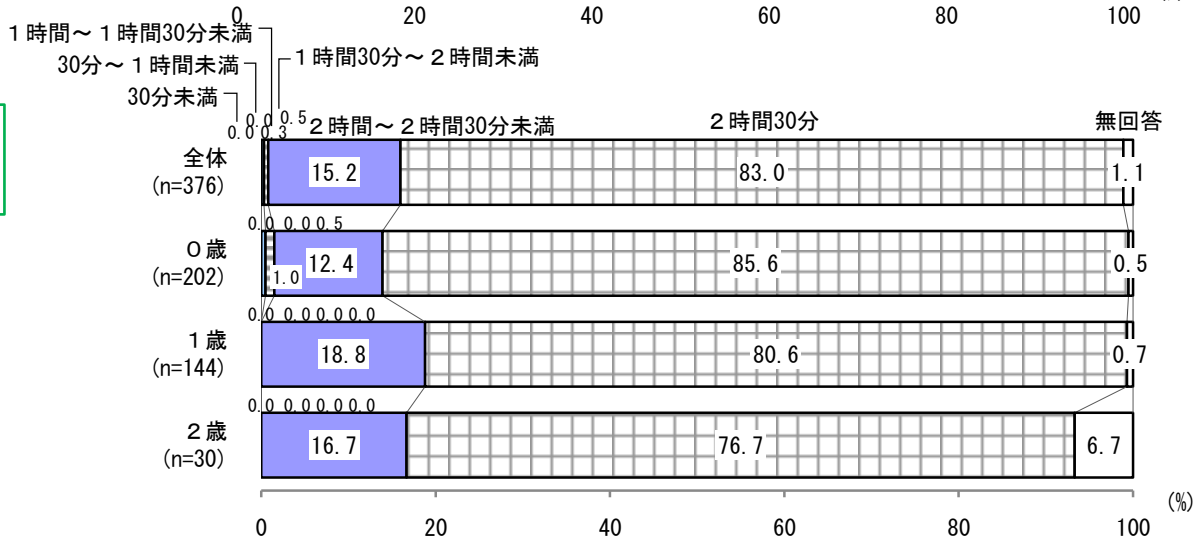
③利用したい時間帯（月2回定期的に利用したい又は毎週1回定期的に利用したいと回答された方を対象）

- 月2回定期的に利用したい場合の利用時間帯は、全体で「5時間」が87.3%で最も多く、次いで「4～5時間未満」の5.2%となっている。
- 毎週1回定期的に利用したい場合の利用時間帯は、全体で「2時間30分」が83.0%で最も多く、次いで「2時間～2時間30分未満」が15.2%となっている

月2回定期的に
利用したい



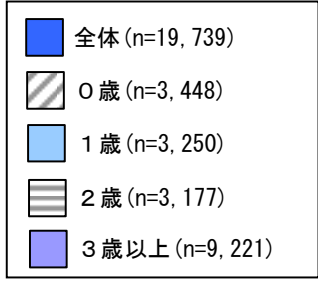
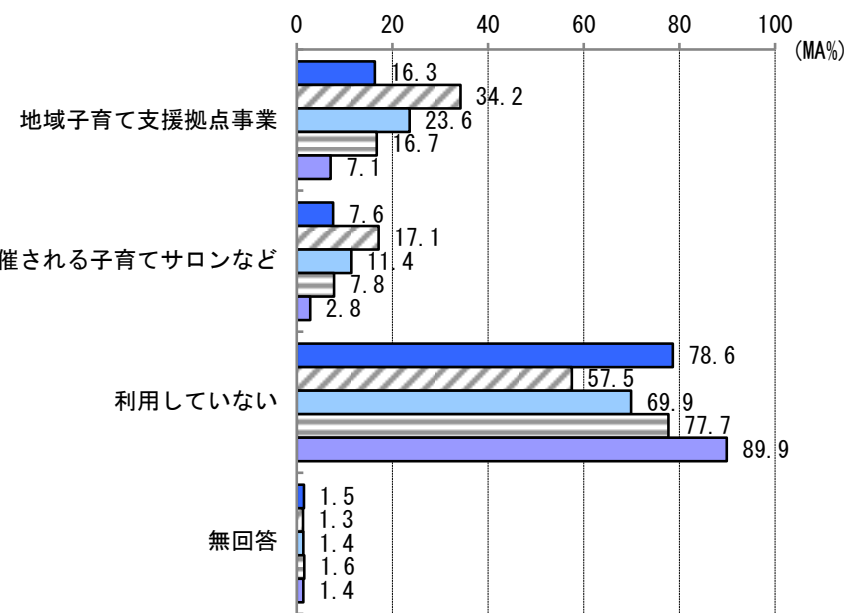
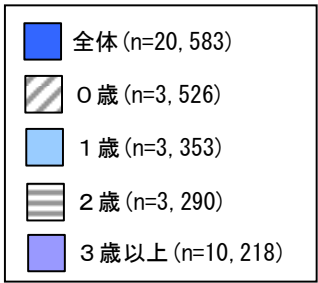
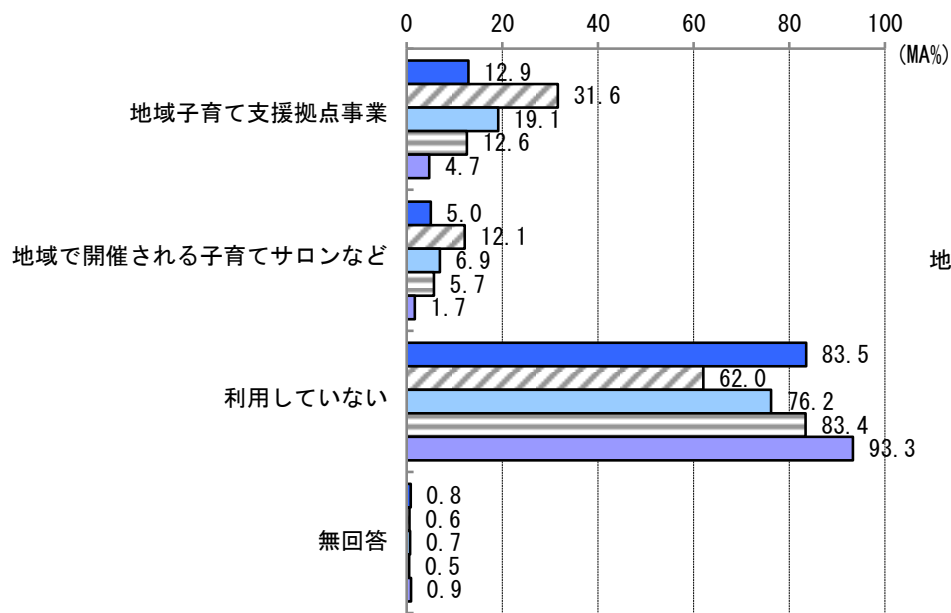
毎週1回定期的に
利用したい



地域子育て支援拠点事業などの利用状況【問21】 ※複数回答あり

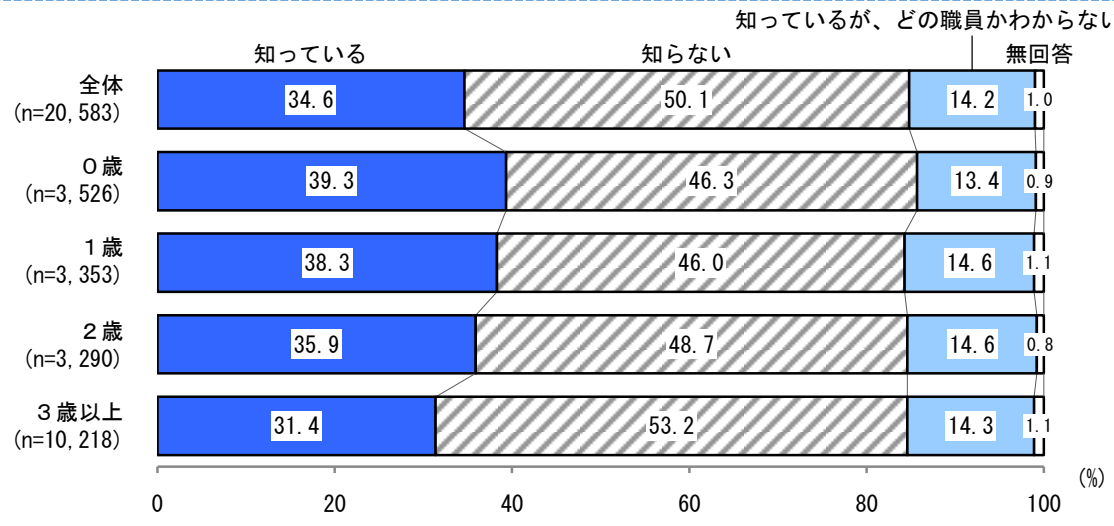
- ▶ 地域子育て支援拠点事業などの利用状況については、全体で「利用していない」が83.5%で最も多く、利用している人では「地域子育て支援拠点事業」が12.9%、「地域で開催される子育てサロンなど」が5.0%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「利用していない」が4.9%増えており、「地域子育て支援拠点事業」が3.4%減っている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、「地域子育て支援拠点事業」、「地域で開催される子育てサロンなど」とも「0歳」が最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。「利用していない」は逆に年齢が上がるほど割合が高くなっている。

《参考》平成30年調査

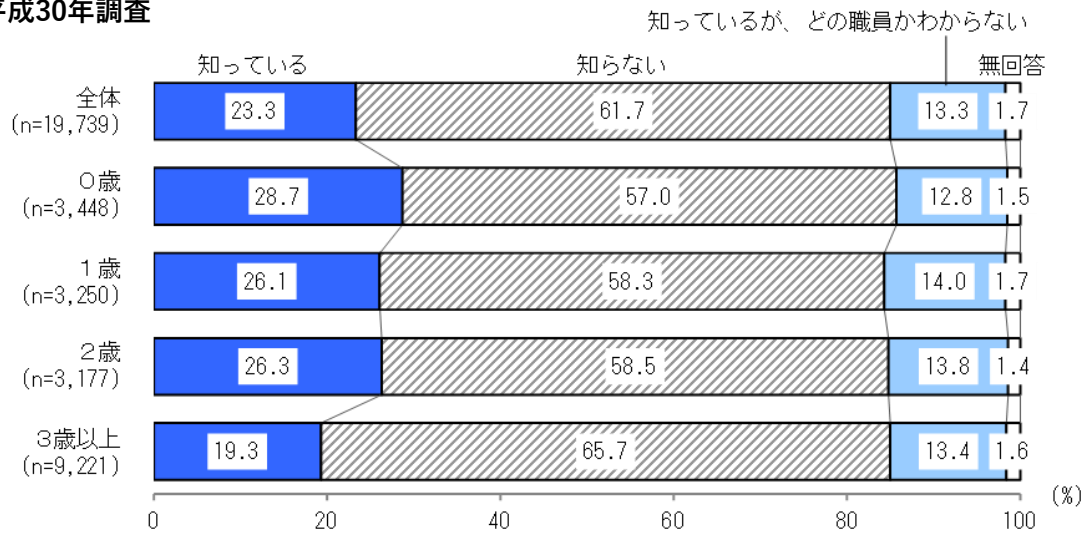


利用者支援専門員の認知【問23】

- 利用者支援専門員の認知状況については、全体で「知らない」が50.1%で最も多く、次いで「知っている」が34.6%、「知っているが、どの職員かわからない」が14.2%となっている。
- 前回と比べて、全体で「知っている」が11.3%増えている。
- こどもの年齢別でみると、「知っている」は「0歳」で39.3%と最も高く、「3歳以上」で31.4%で最も低くなっている。



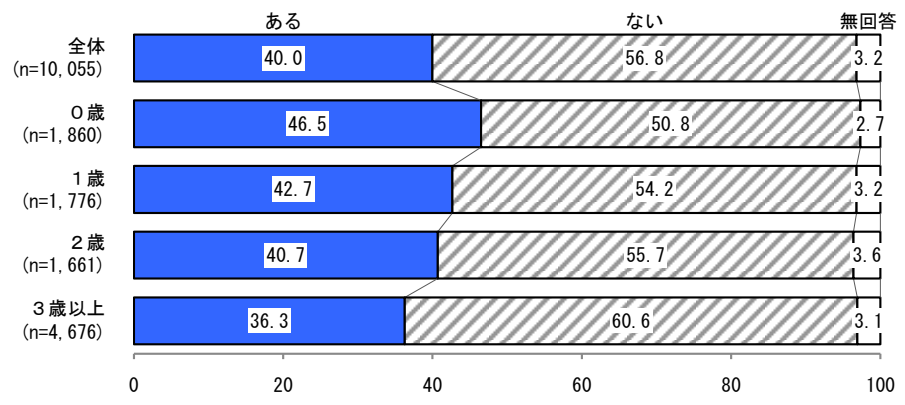
《参考》平成30年調査



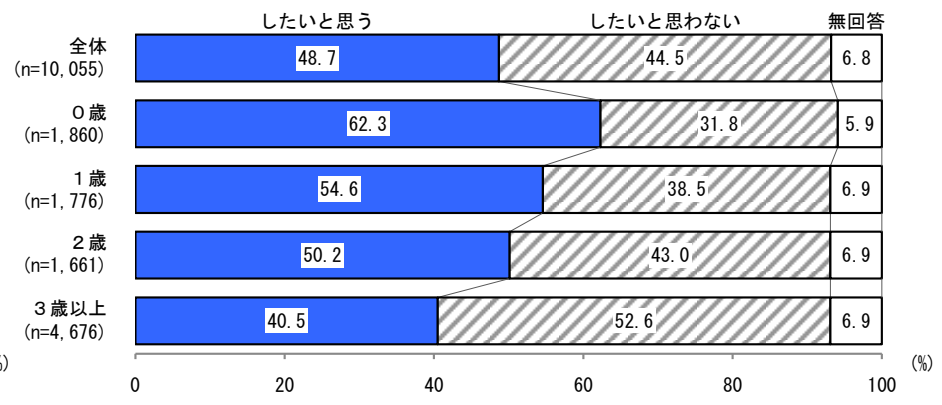
利用者支援専門員の利用状況・利用希望【問23-1】

- ▶ 利用者支援専門員を知っていると回答した人に、利用支援専門員に相談したり情報提供を受けたりしたことの有無についてたずねると、全体で「ある」が40.0%、「ない」が56.8%となっており、前回と比べて、「ある」が2.6%増えている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「ある」は「0歳」で46.5%と最も高く、「0～2歳」で40%台を占めている。
- ▶ 今後、利用支援専門員に相談したり情報提供を受けたりする希望については、全体で「したいと思う」が48.7%、「したいと思わない」が44.5%となっており、前回と比べて、「したいと思う」が3.0%減っている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「したいと思う」は「0歳」で62.3%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。

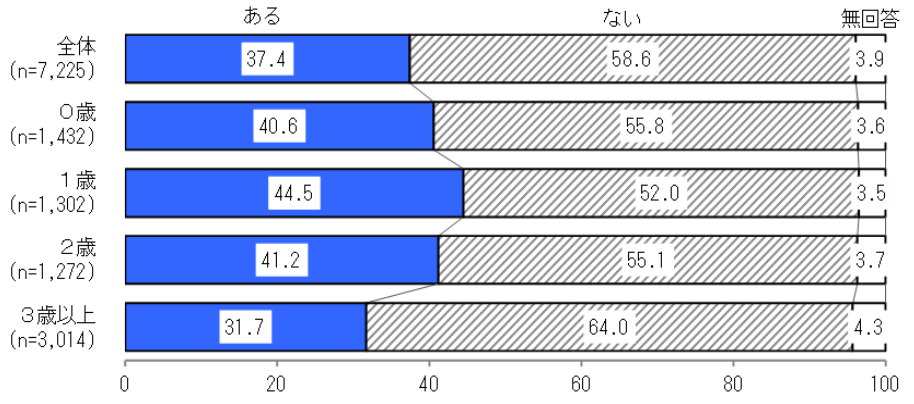
<利用状況>



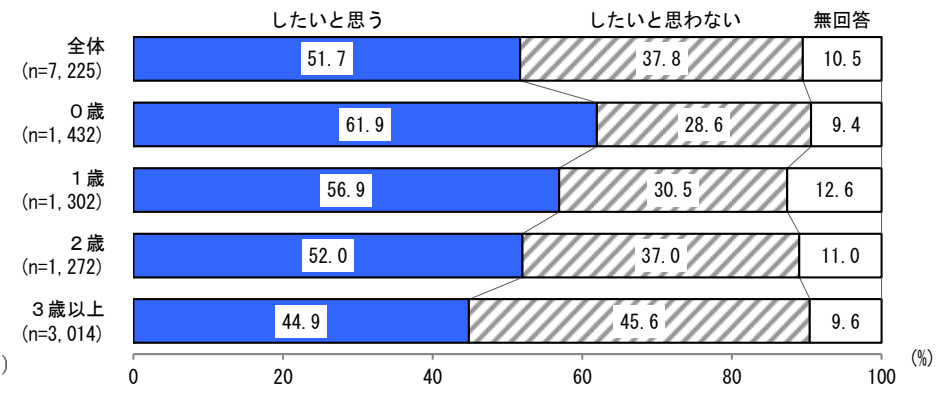
<利用希望>



《参考》平成30年調査



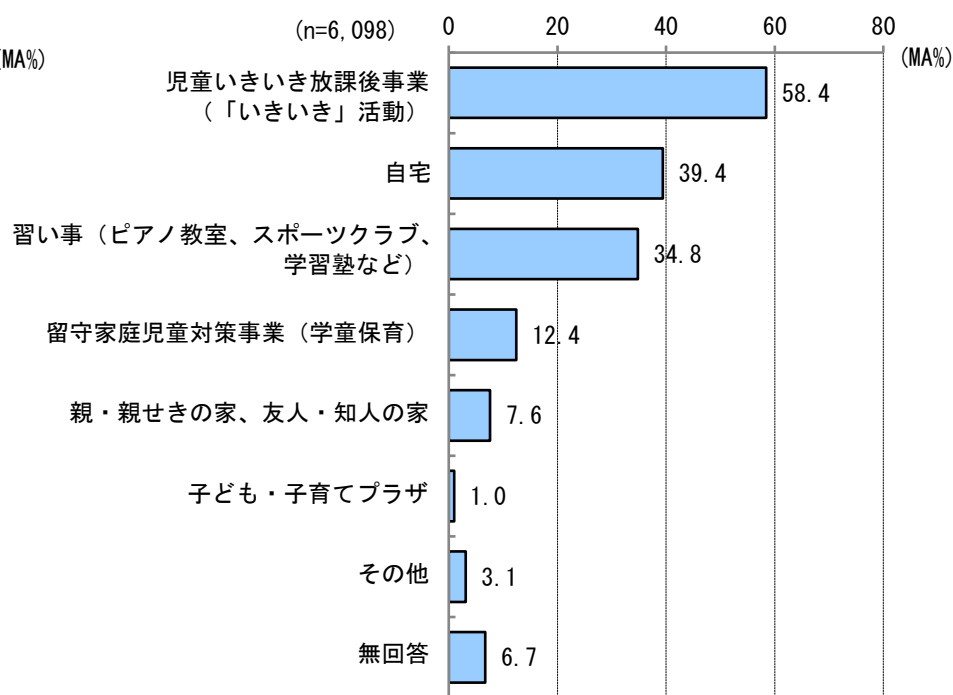
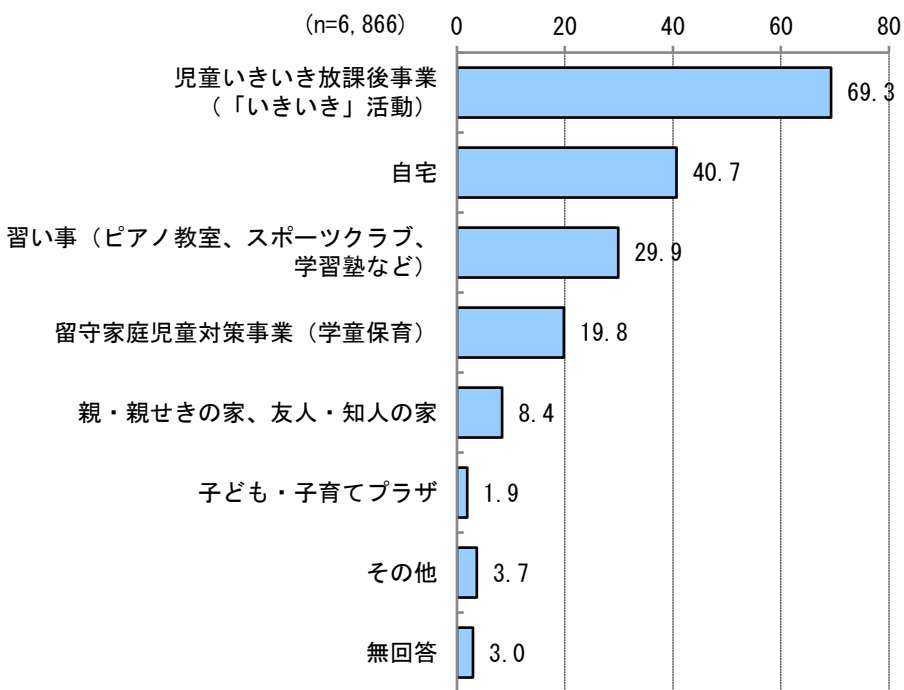
《参考》平成30年調査



こどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所【問25】※複数回答あり

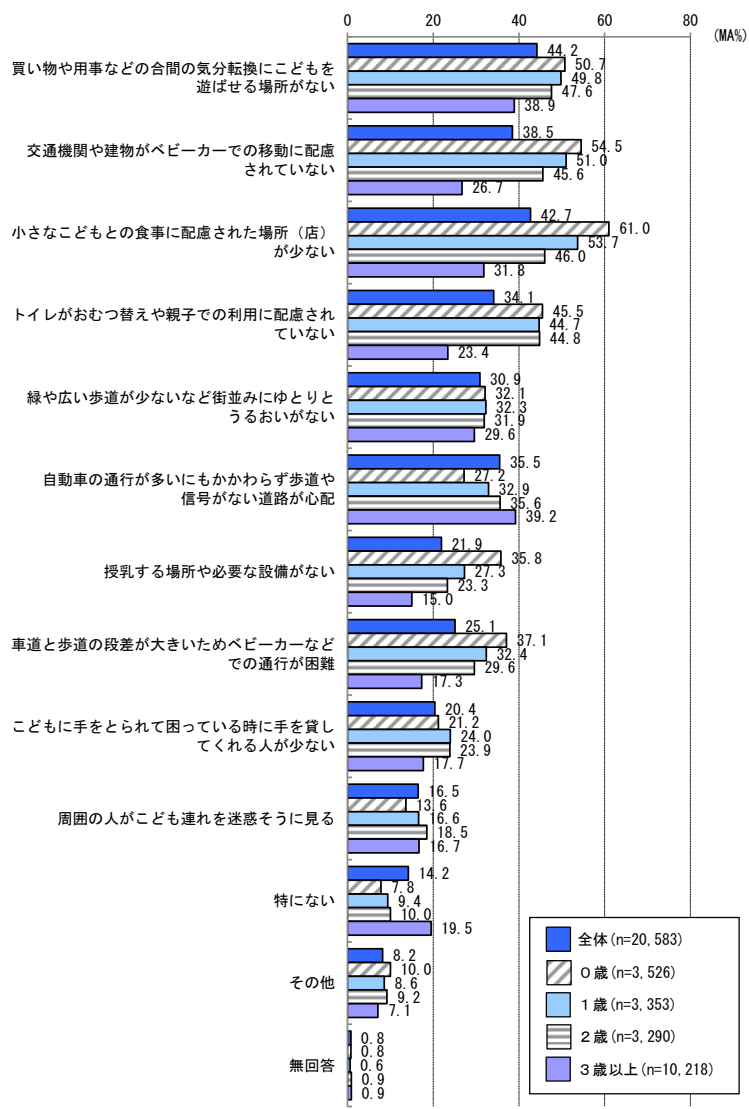
- 4歳以上のこどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所については、「児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）」が69.3%で最も多く、次いで「自宅」が40.7%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が29.9%となっている。
- 前回と比べ、「児童いきいき放課後事業」が10.9%、「留守家庭児童対策事業（学童保育）」が7.4%増えており、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」は4.9%減っている。

《参考》平成30年調査

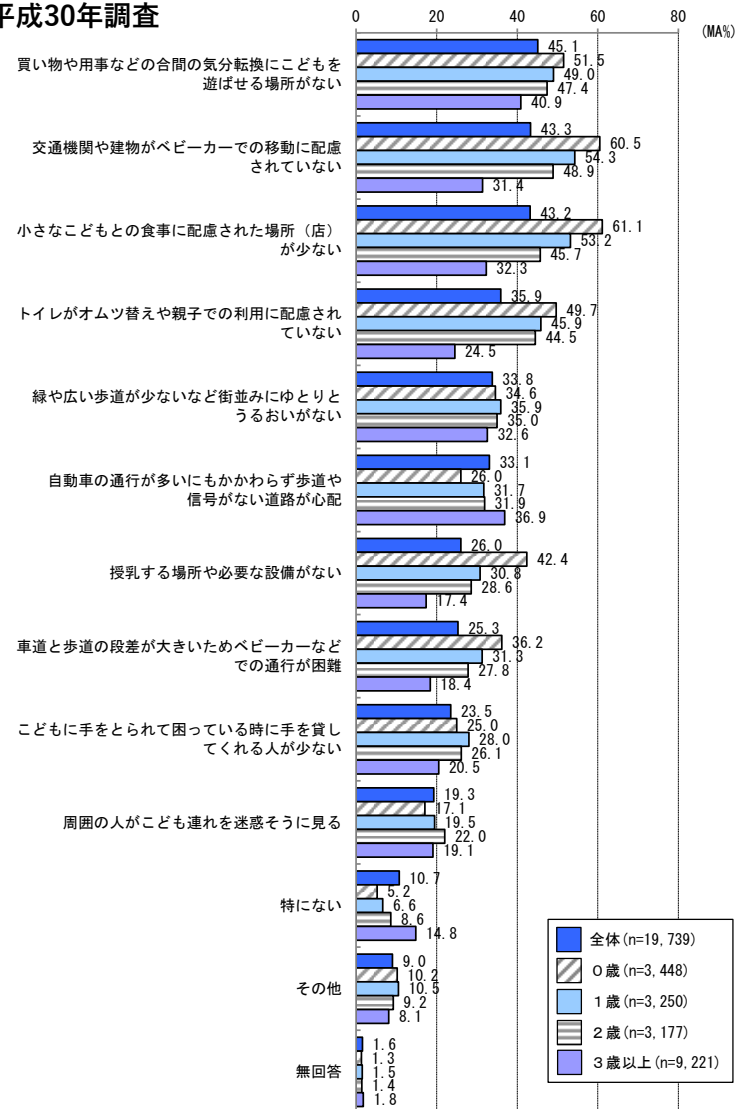


こどもとの外出時に困ること【問26】 ※複数回答あり

- ▶ こどもとの外出時に困ることについては、全体で「買い物や用事などの合間の気分転換にこどもを遊ばせる場所がない」が44.2%で最も多く、次いで「小さなこどもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が42.7%、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が38.5%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が4.8%、「授乳する場所や必要な設備がない」が4.1%減っている。

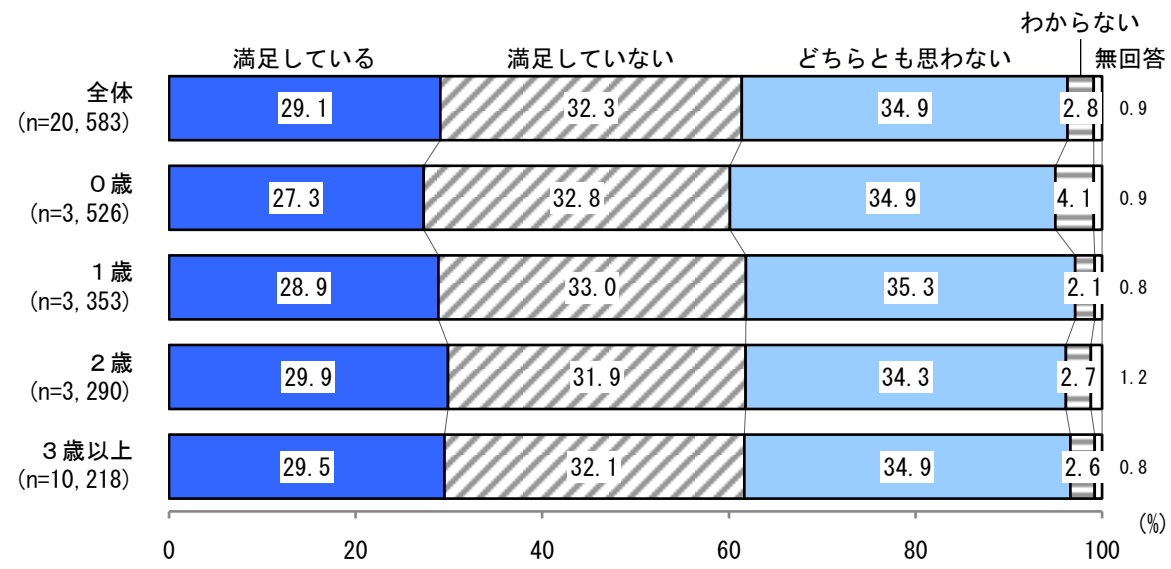


《参考》平成30年調査

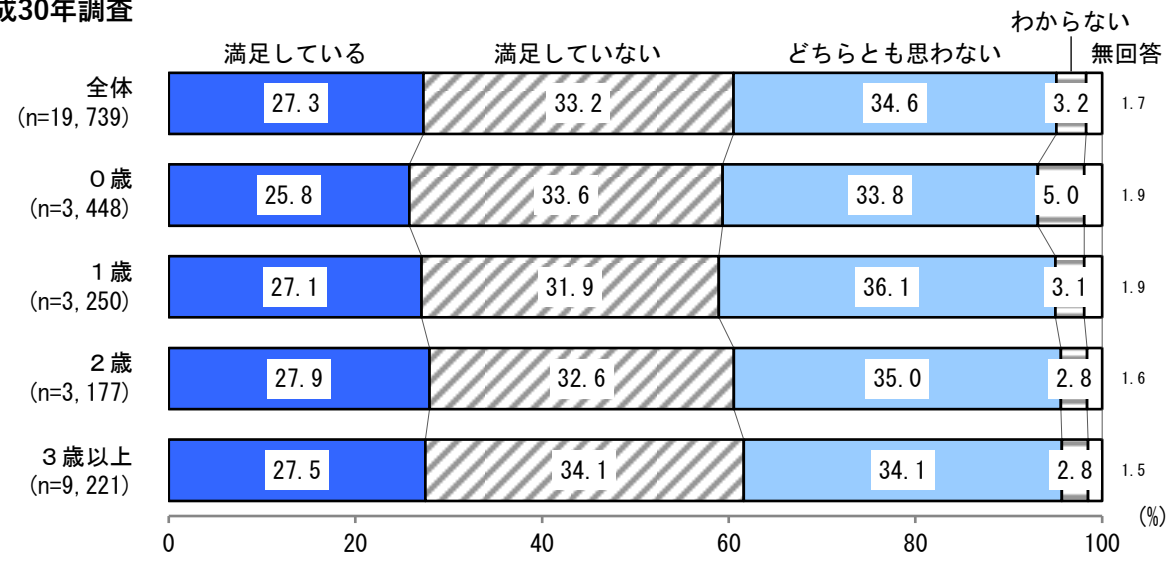


こどもの遊び場に関する満足度【問27】

- こどもの遊び場に関する満足度については、全体で「満足している」が29.1%、「満足していない」が32.3%となっている。
- 前回と比べ、全体で「満足している」が1.8%と増えている。
- こどもの年齢別でも、全ての年齢で同様の傾向となっている。

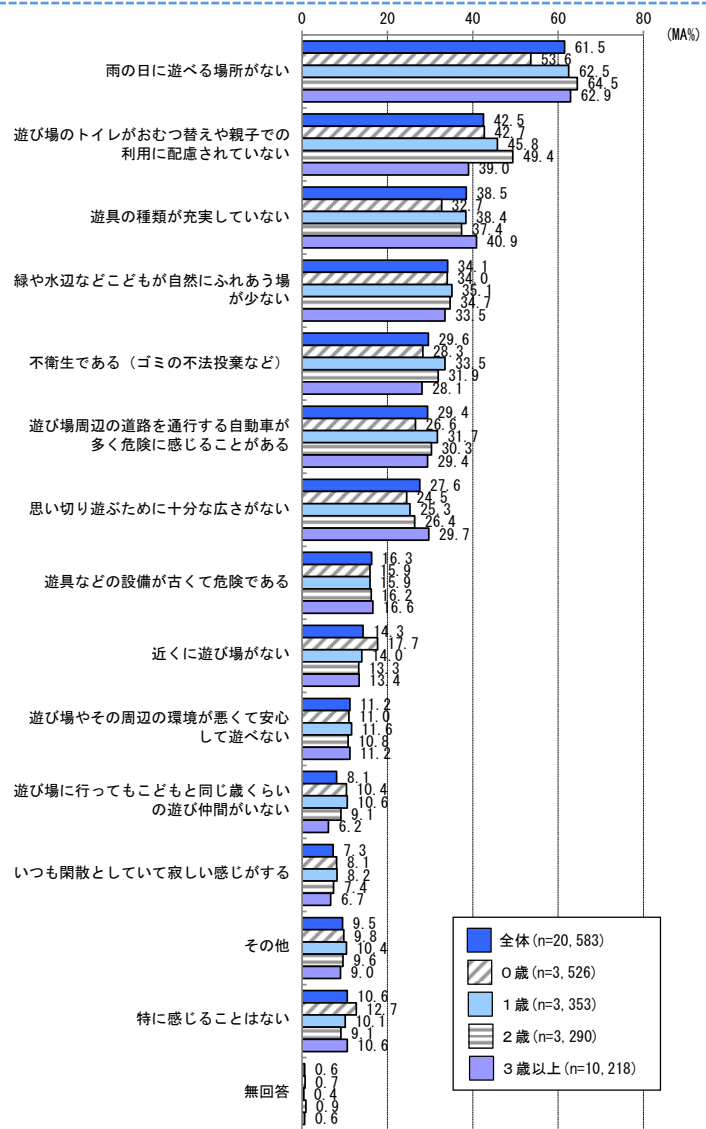


《参考》平成30年調査

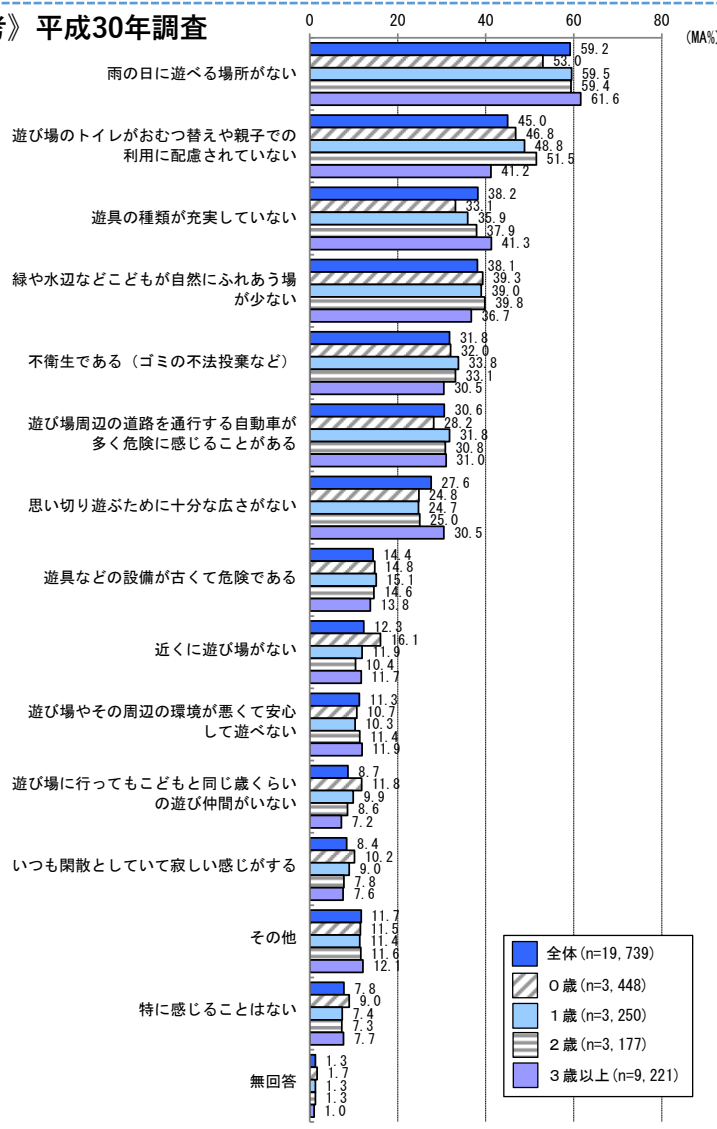


こどもの遊び場について日ごろ感じること【問28】 ※複数回答あり

- ▶ こどもの遊び場を感じることは、全体で「雨の日に遊べる場所がない」が61.5%で最も多く、次いで「遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が42.5%、「遊具の種類が充実していない」が38.5%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「雨の日に遊べる場所がない」は2.3%増えており、「緑や水辺などこどもが自然にふれあう場が少ない」は4.0%減っている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、「遊具の種類が充実していない」、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」は「3歳以上」が最も高くなっている。

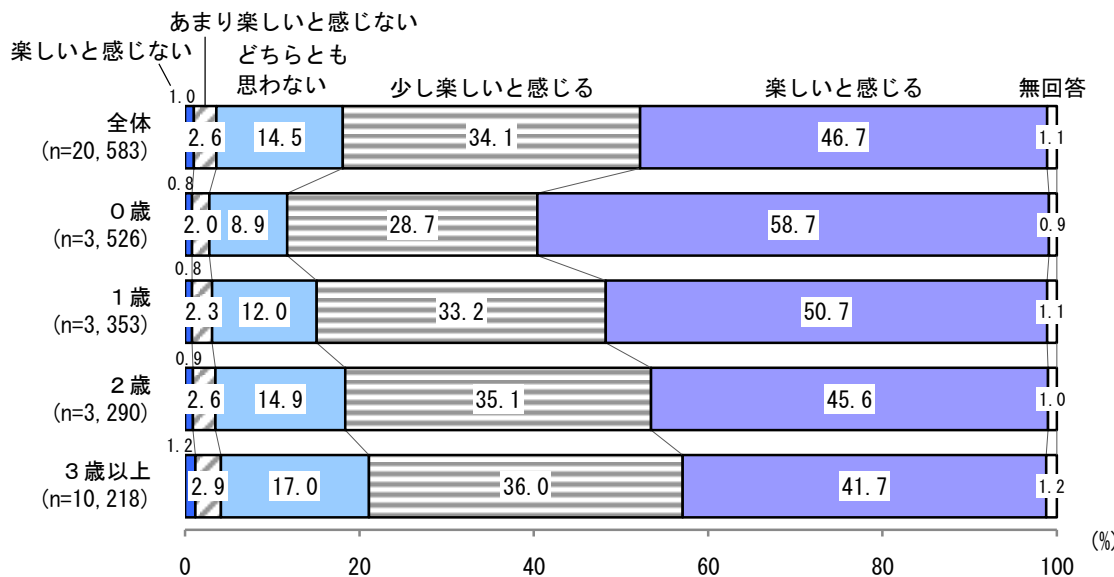


《参考》平成30年調査

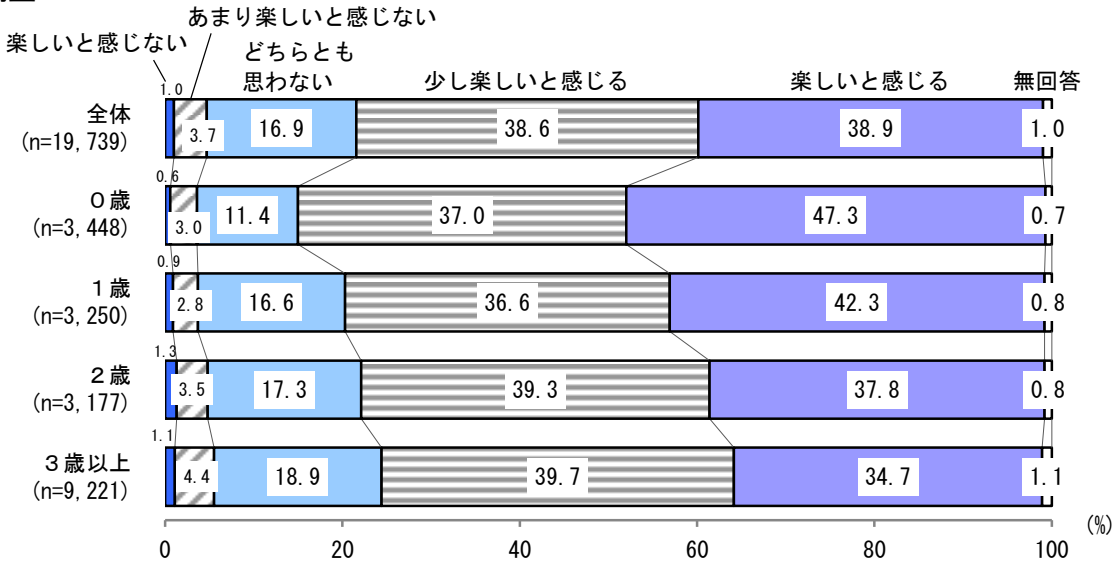


子育てを楽しんでいるか【問29A】

- ▶ 子育てを楽しんでいるかについては、全体で「楽しいと感じる」が46.7%で最も多く、次いで「少し楽しいと感じる」が34.1%で、両者をあわせた『楽しいと感じる』は80.8%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全ての年齢で『楽しいと感じる』割合が増え、全体で3.3%増えている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、『楽しいと感じる』は「0歳」で87.4%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。

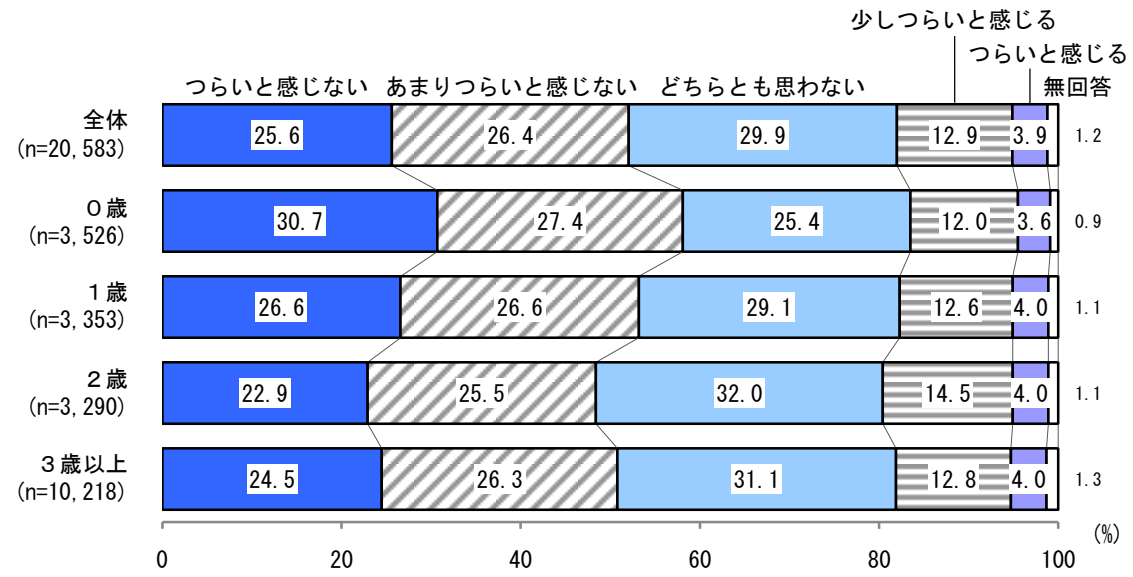


《参考》平成30年調査

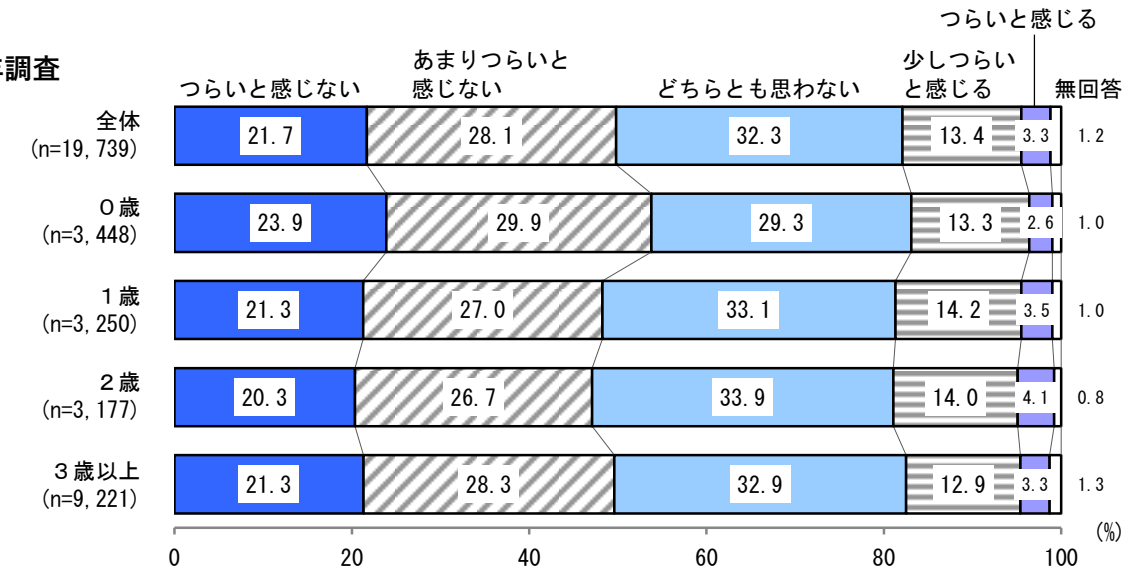


子育てをつらいと感じるか【問29B】

- 子育てをつらいと感じるかについては、全体で「どちらとも思わない」が29.9%で最も多く、次いで「あまりつらいと感じない」が26.4%で、「つらいと感じない」が25.6%と「あまりつらいと感じない」をあわせた『つらいと感じない』は52.0%となっている。
- 前回と比べて、全ての年齢で『つらいと感じない』が増えており、全体で2.2%増えている。(R5：52.0%、H30：49.8%)
- こどもの年齢別でみると、『つらいと感じない』は0歳(58.1%)が最も高く、いずれの年齢も50%を超えている。

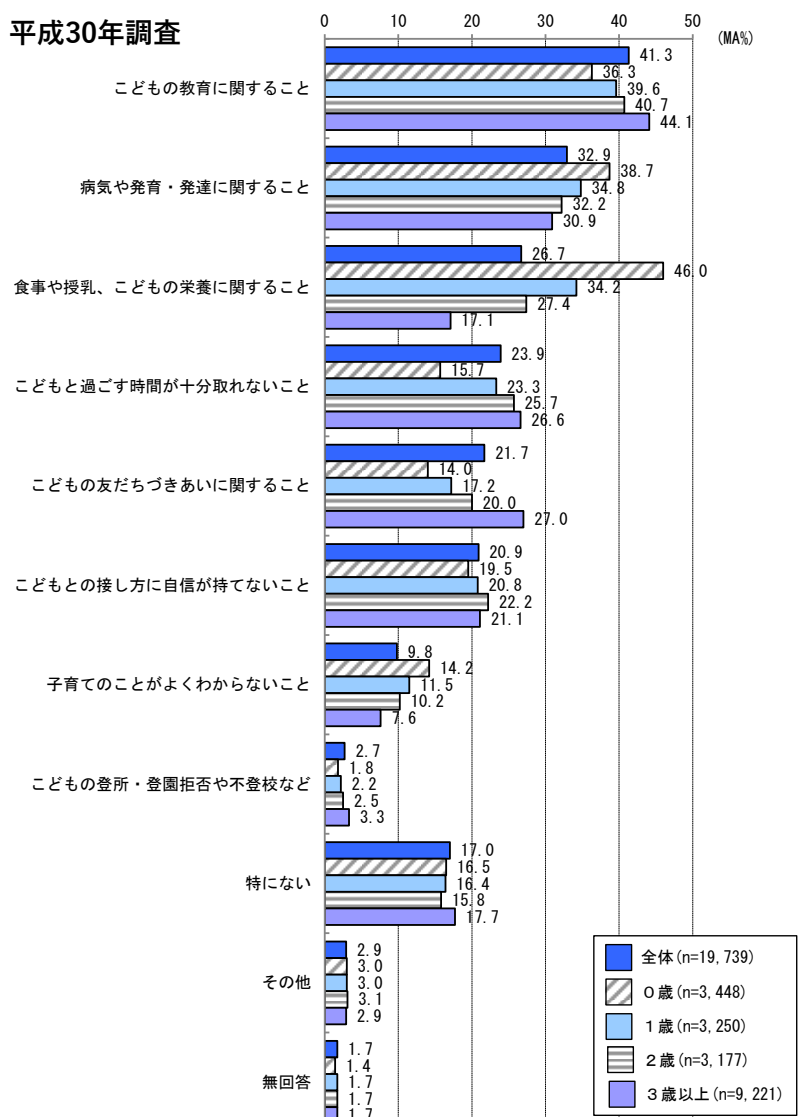
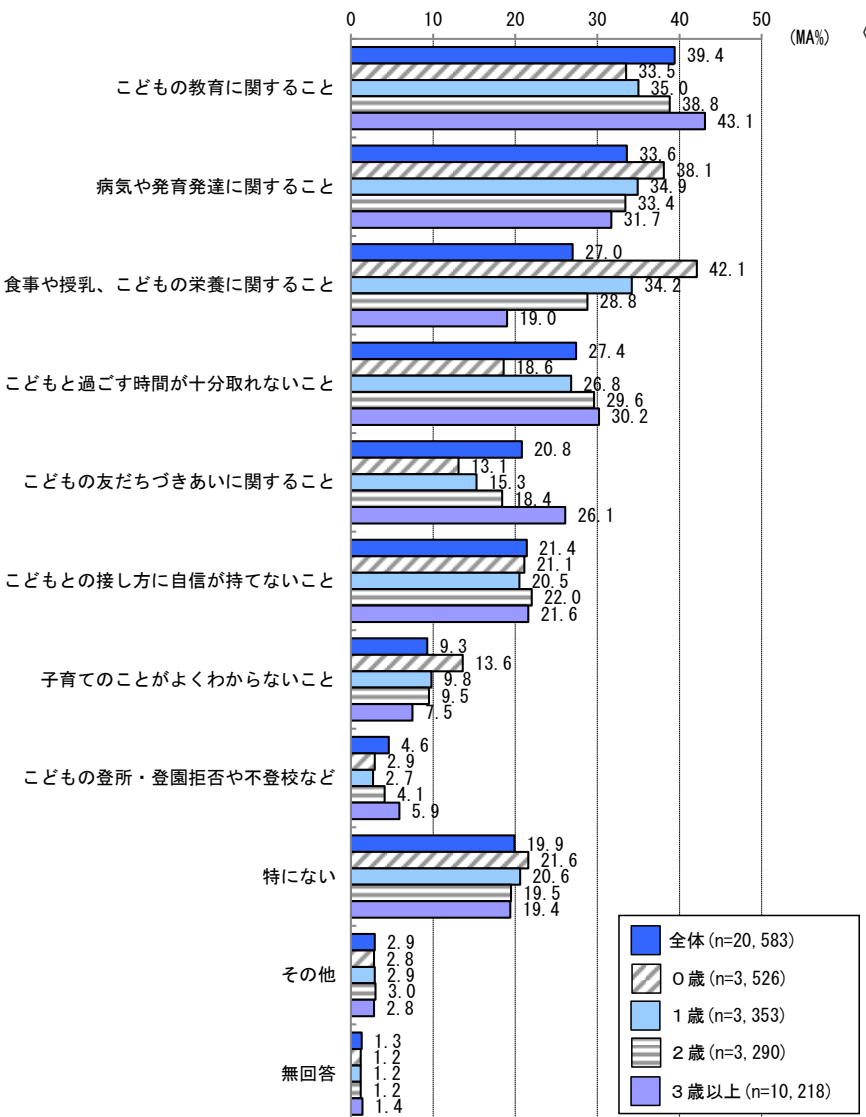


《参考》平成30年調査



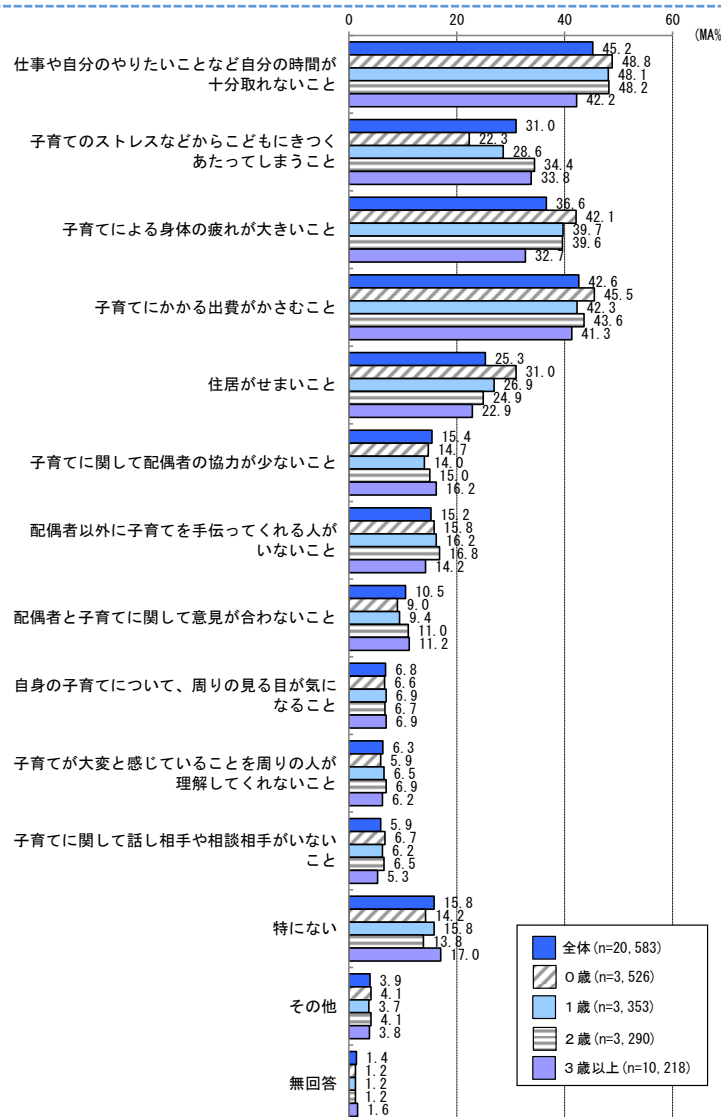
子育てに関する悩み（こどもに関すること）【問30（1）】※複数回答あり

- ▶ こどもに関する悩みについては、全体で「こどもの教育に関すること」が39.4%で最も多く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が33.6%、「こどもと過ごす時間が十分に取れないこと」が27.4%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「こどもと過ごす時間が十分に取れないこと」は3.5%増えている。
- ▶ こどもの年齢別でみると、「0歳」は「食事や授乳、こどもの栄養に関すること」が42.1%で最も多く、「3歳以上」は「こどもの教育に関すること」が最も多くなっている。

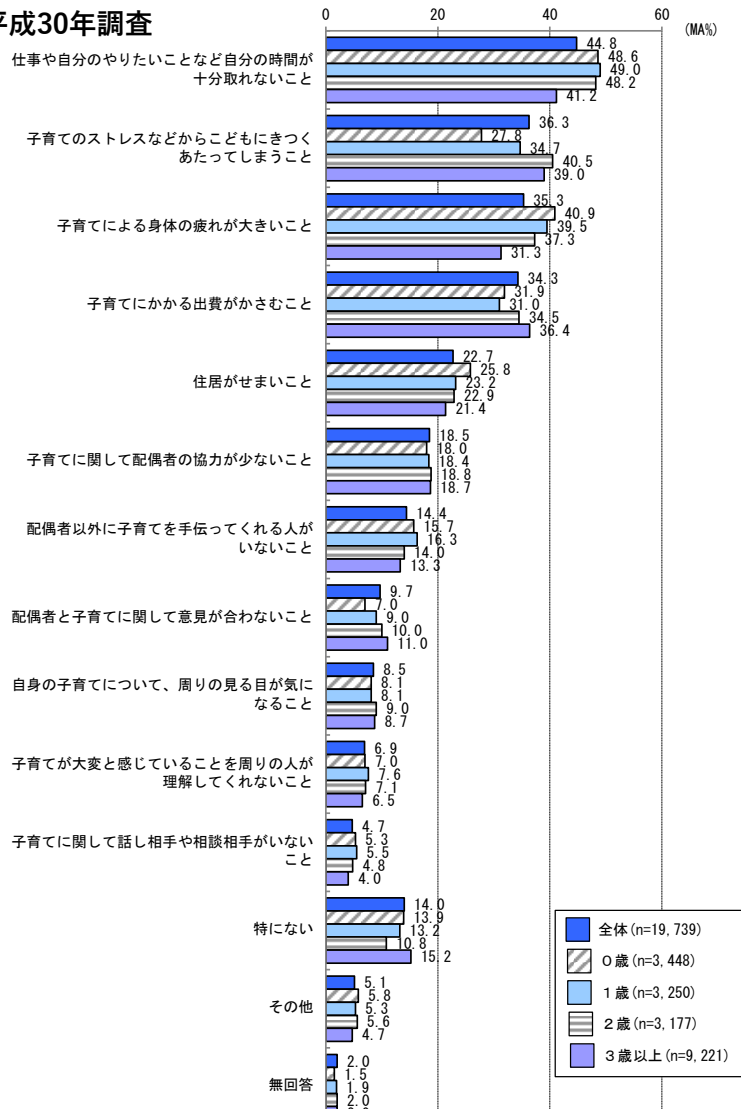


子育てに関する悩み（保護者自身に関すること）【問30（2）】※複数回答あり

- ▶ 全体で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が45.2%で最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が42.6%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が36.6%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「子育てにかかる出費がかさむこと」が8.3%増えており、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」は5.3%、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」が3.1%減っている。
- ▶ こどもの年齢別で見ると、全体で「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」は減っているが、「2歳」「3歳以上」で割合が高くなっている。

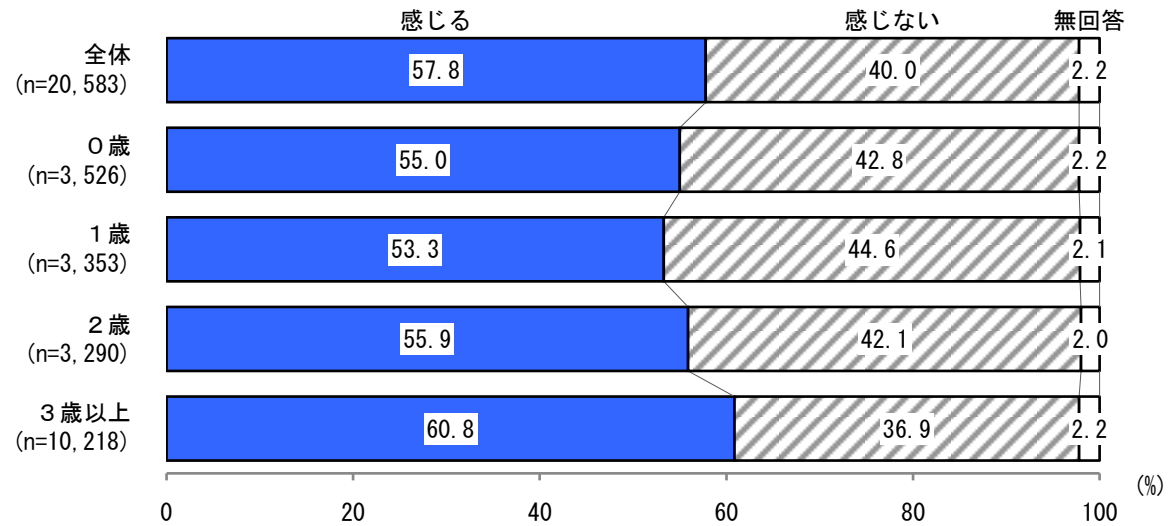


《参考》平成30年調査

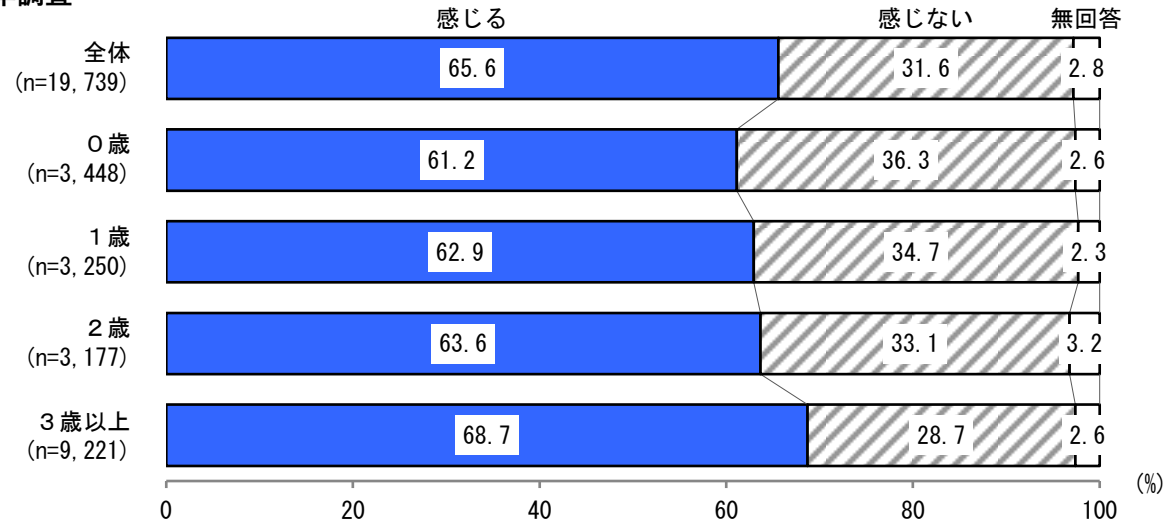


子育てが地域の人や社会から支えられていると感じるか【問3 1A】

- ▶ 子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が57.8%、「感じない」が40.0%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全ての年齢で「感じる」が減り、全体で7.8%減っている。

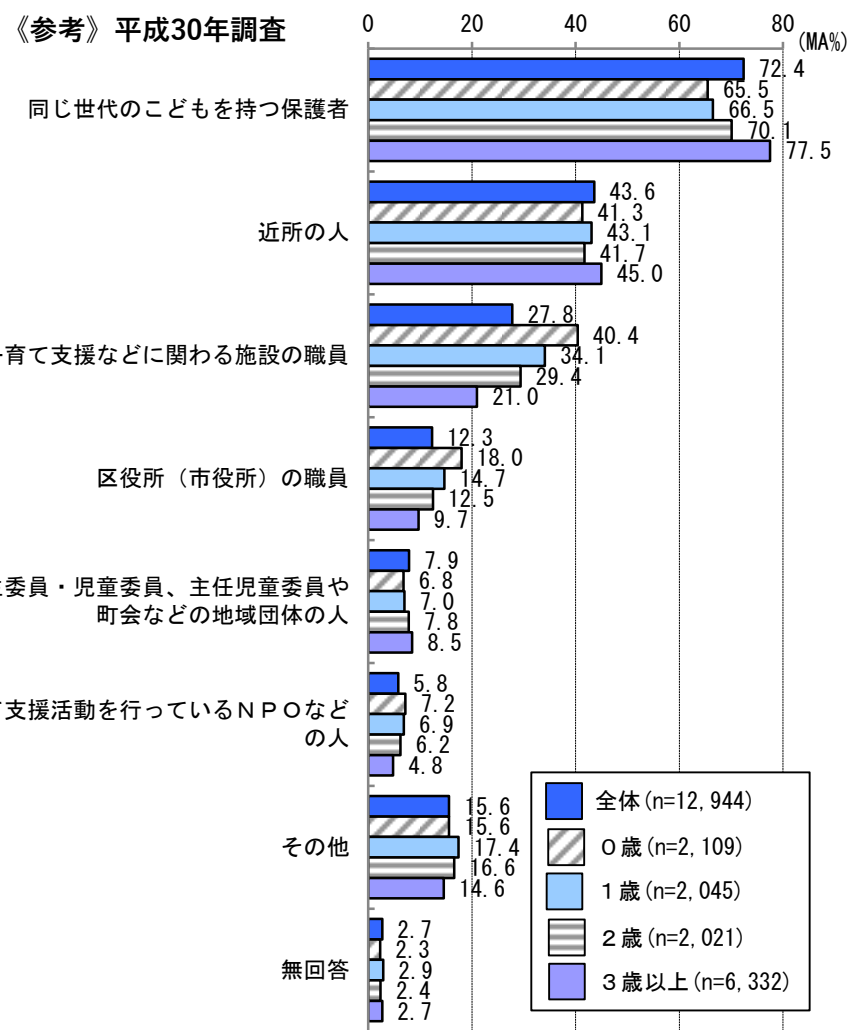
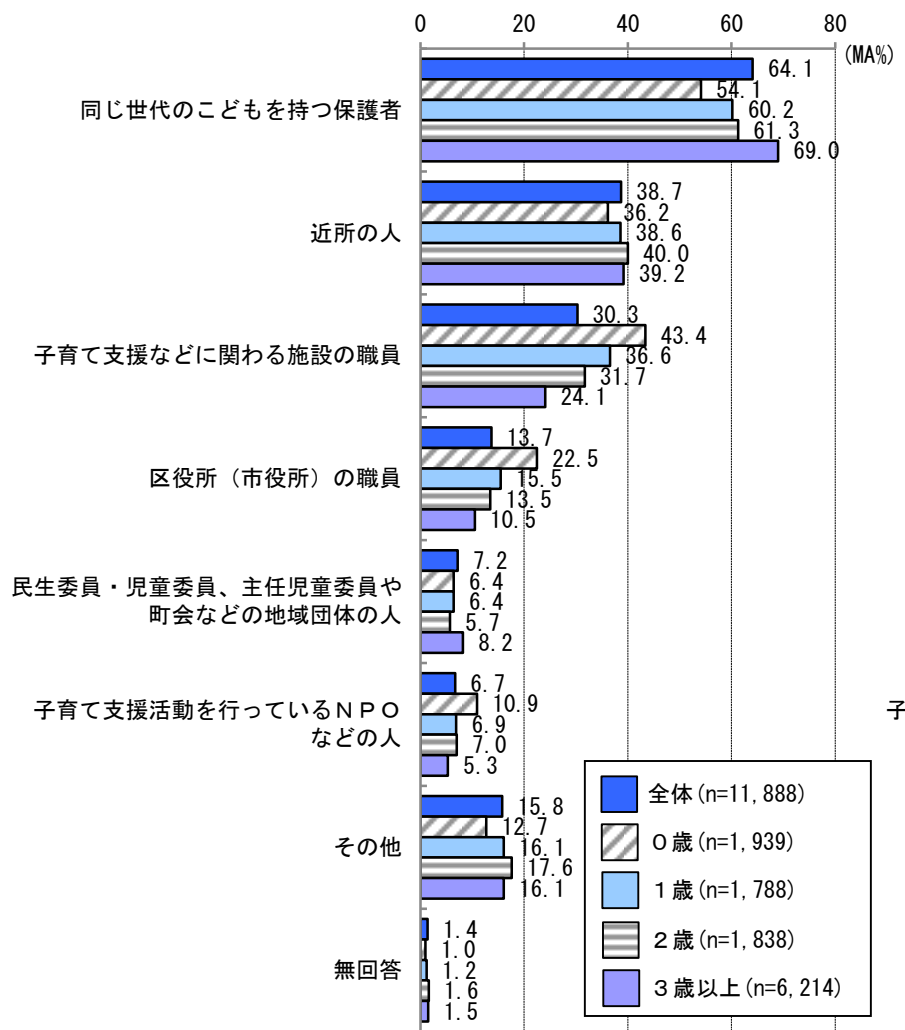


《参考》平成30年調査



子育てが誰に支えられていると感じるか【問3 1B】※複数回答あり

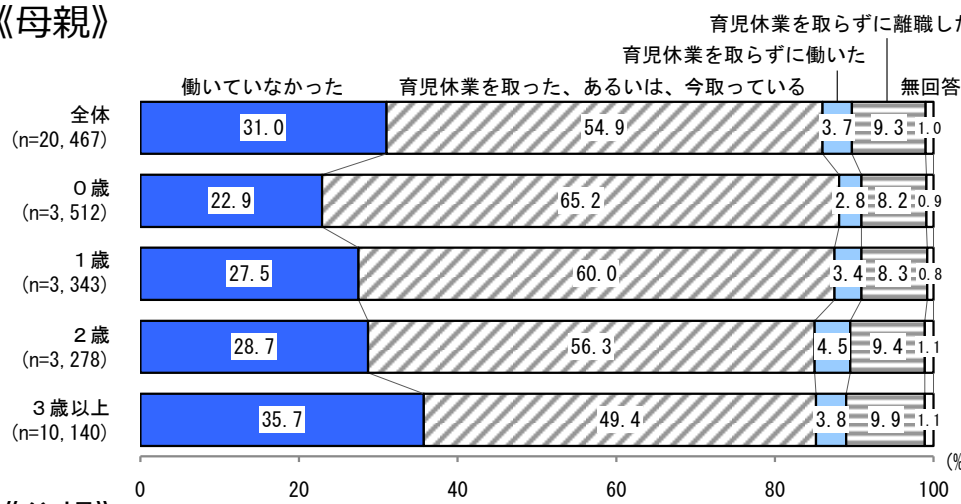
- 誰に支えられていると感じるかについては、全体で「同じ世代の子どもを持つ保護者」が64.1%で最も多く、次いで「近所の人」が38.7%、「子育て支援などに関わる施設の職員」が30.3%となっている。
- 前回と比べ、全体で「同じ世代の子どもを持つ保護者」は8.3%、「近所の人」が4.9%減っており、「子育て支援などに関わる施設の職員」は2.5%、「区役所（市役所）の職員」が1.4%増えている。
- こどもの年齢別でみると、全ての年齢で「同じ世代の子どもを持つ保護者」が最も多いが、前回と同様に年齢が上がるほど割合が高くなっている。



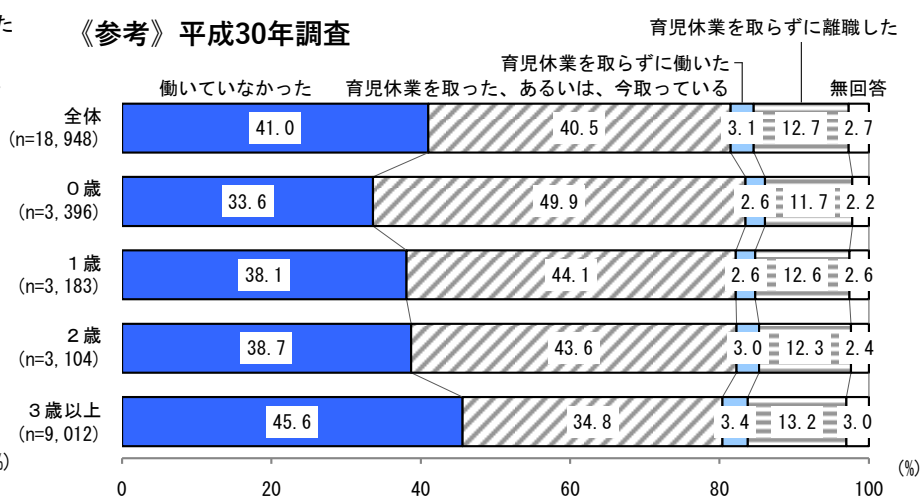
育児休業の取得状況【問32】

- 母親の育児休業の取得状況は、全体で「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が54.9%で最も多く、次いで「働いていなかった」が31.0%、「育児休業を取らずに離職した」が3.7%となっている。
- 父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が83.1%で最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が11.6%となっている。
- 前回と比べ、母親は、全体で「働いていなかった」が10%減っており、「育児休業を取った、あるいは今取っている」が14.4%増えている。父親は、全体で「育児休業を取った、あるいは今取っている」が9.0%増えている。

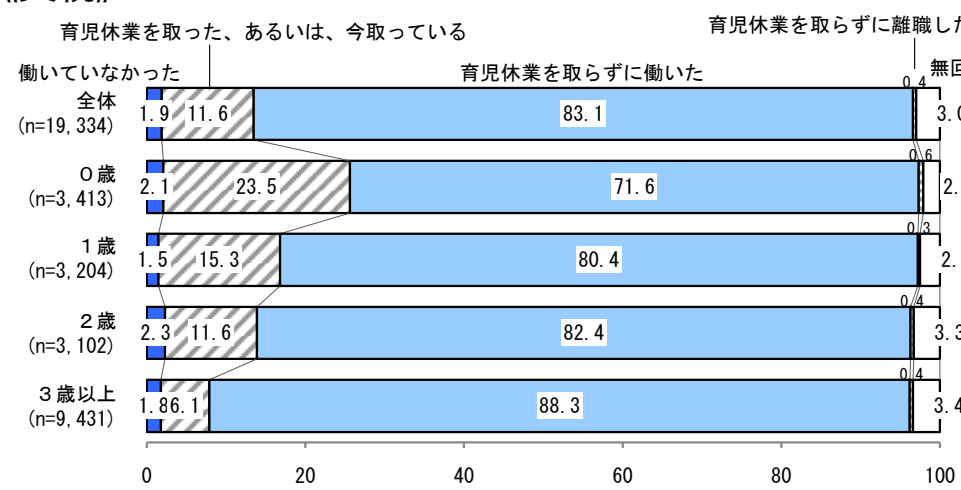
《母親》



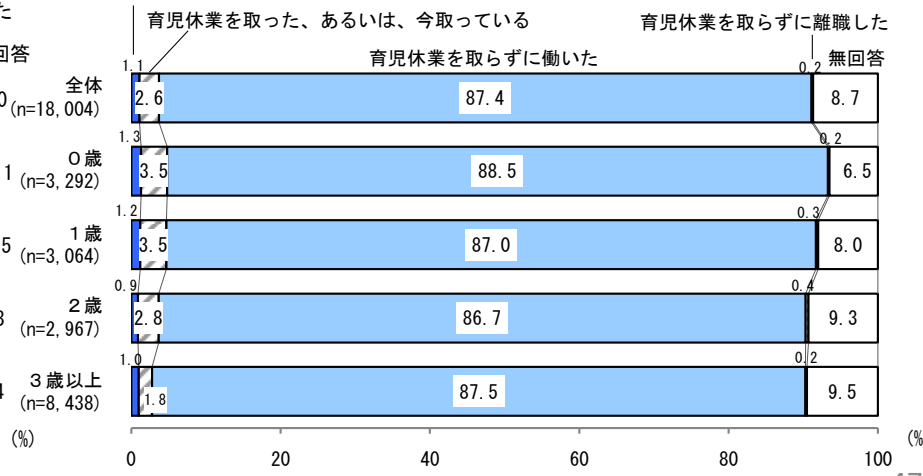
《参考》平成30年調査



《父親》

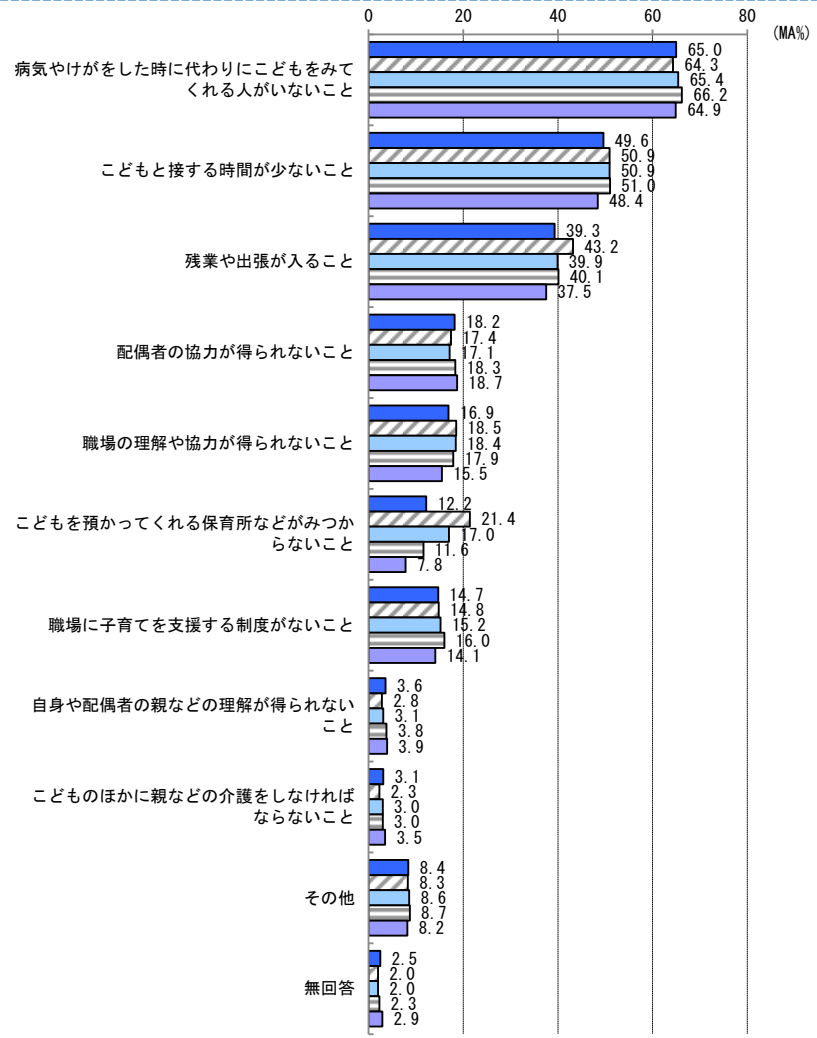


働いていなかった

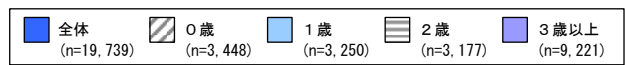
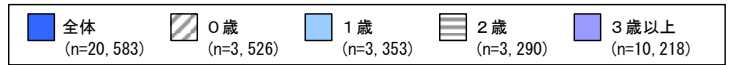
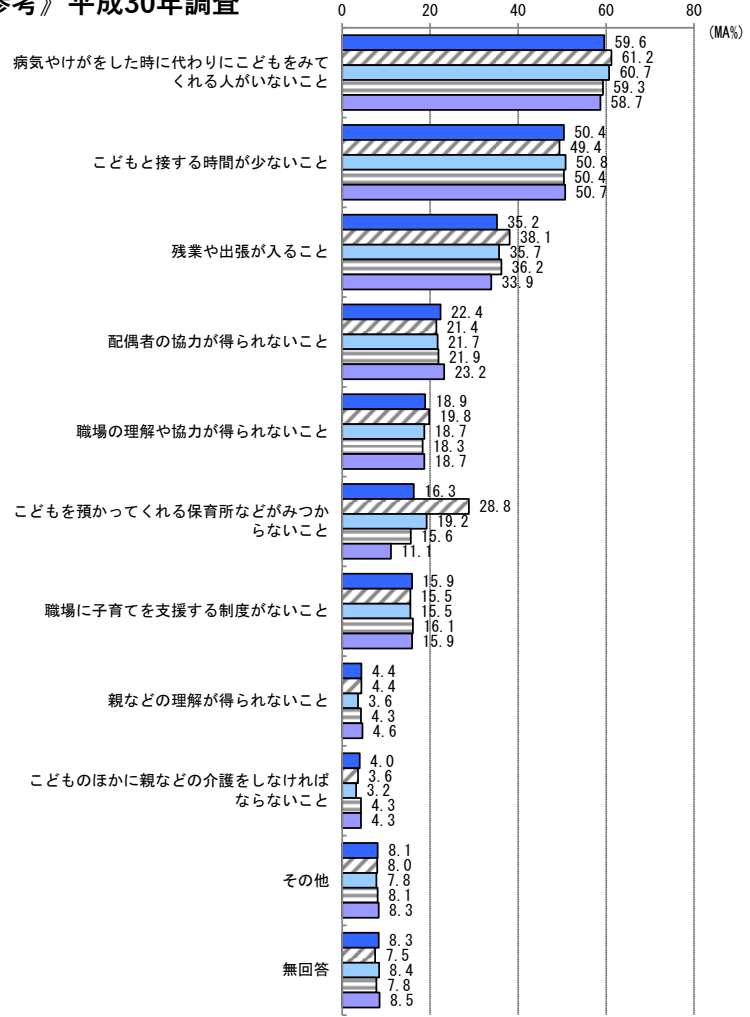


仕事と子育てを両立させる上で大変なこと【問35】※複数回答あり

- ▶ 仕事と子育てを両立させる上で大変なことは、全体で「病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が65.0%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が49.6%、「残業や出張が入ること」が39.3%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が5.4%増えており、「子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと」が4.1%減っている。
- ▶ 子どもの年齢別で見ると、「子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。

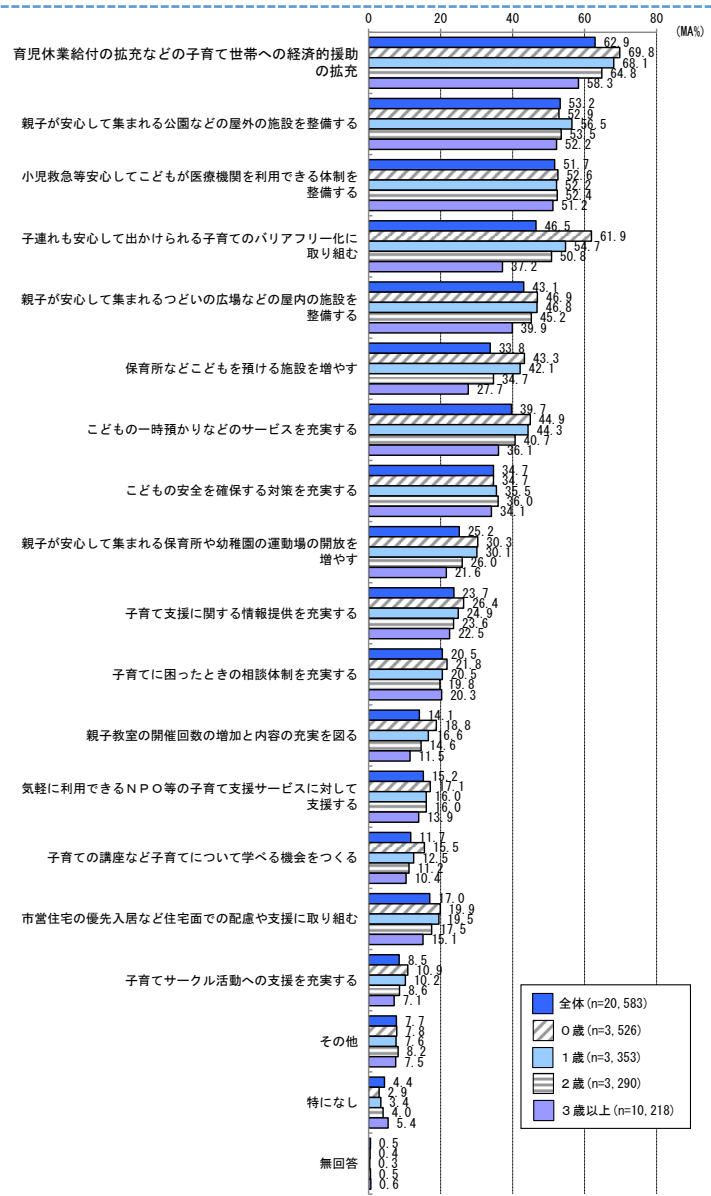


《参考》平成30年調査



市・区に対して充実してほしい子育て支援サービス【問36】※複数回答あり

- ▶ 市・区に対して充実してほしい子育て支援サービスは、全体で「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が62.9%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が53.2%、「小児救急等安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が51.7%となっている。
- ▶ 前回と比べ、全体で「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が5.7%増えており、「保育所などこどもを預ける施設を増やす」が5.8%減っている。



《参考》平成30年調査

